

TSPL/TSPL2 プログラミング言語

TSC バーコードプリンタシリーズ

プログラミングマニュアル
Rev.1.2 Feb 22, 2018

目次

本書の見方.....	VI
本書記載の書式について.....	VII
オブジェクト外位置の計算.....	VIII
プリンタ型式リスト.....	X
セッティング & システムコマンド	1
● SIZE.....	1
● GAP.....	2
● GAPDETECT.....	4
● BLINEDTECT.....	5
● AUTODETECT	6
● BLINE	7
● OFFSET.....	8
● SPEED	9
● DENSITY.....	10
● DIRECTION(ミラーイメージ)	11
● REFERENCE.....	12
● SHIFT	13
● COUNTRY.....	15
● CODEPAGE	16
● CLS.....	18
● FEED.....	19
● BACKFEED & BACKUP.....	20
● FORMFEED	21
● HOME.....	22
● PRINT	23
● SOUND	24
● CUT	25
● LIMITFEED.....	26
● SELFTEST	27
● EOI	29
● DELAY	30
● DISPLAY.....	31
● INITIALPRINTER.....	33
● MENU.....	34
ラベルフォーマットコマンド	36
● BAR.....	36
● BARCODE.....	37
● TLC39	43
● BITMAP.....	44
● BOX.....	46
● CIRCLE.....	47
● ELLIPSE.....	48
● CODABLOCK F MODE.....	49
● DMATRIX.....	51
● ERASE	53
● MAXICODE	54
● PDF417.....	57
● AZTEC	60
● MPDF417.....	61
● PUTBMP.....	62
● PUTPCX.....	64
● QRCODE.....	66
● RSS.....	71

● REVERSE.....	75
● DIAGONAL	76
● TEXT.....	77
● BLOCK	80
ステータス・リットコマンド & イレクトコマンド	83
● <ESC>! ?.....	83
● <ESC>! C.....	84
● <ESC>! D.....	85
● <ESC>! O.....	86
● <ESC>! P.....	87
● <ESC>! Q.....	88
● <ESC>! R.....	89
● <ESC>! S.....	90
● <ESC>! F.....	92
● <ESC>!	93
● ~!@.....	94
● ~!A.....	95
● ~!C.....	96
● ~!D.....	97
● ~!E.....	98
● ~!F.....	99
● ~!I.....	100
● ~!T.....	101
● <ESC> Y.....	102
● <ESC> Z.....	103
メッセージ・トランスミッション・プロトコル	104
● ~#	104
Windowsドライバコマンド	105
● !B	105
● !J	106
● !N	107
ファイルマネージメントコマンド	108
● DOWNLOAD	108
● EOP	110
● FILES	111
● KILL.....	112
● MOVE.....	113
● RUN.....	114
BASIC コマンド	115
● ABS()	115
● ASC()	116
● CHR\$()	117
● XOR\$()	118
● END.....	119
● EOF()	120
● OPEN.....	121
● CLOSE	122
● WRITE	123
● READ.....	124
● SEEK.....	125
● LOF()	126
● LOC()	127
● FREAD\$()	128
● PUT	129
● GET	130

● COPY.....	131
● FOR...NEXT LOOP.....	132
● WHILE...WEND	133
● DO...LOOP.....	134
● IF...THEN...ELSE...ENDIF	137
● GOSUB...RETURN.....	140
● GOTO.....	141
● INP\$().....	142
● INP().....	143
● LOB().....	144
● INPUT	145
● PREINPUT	146
● POSTINPUT.....	147
● SET FILTER ON/OFF.....	148
● REM.....	149
● OUT	150
● OUTR.....	151
● GETKEY().....	152
● INT().....	153
● LEFT\$().....	154
● LEN().....	155
● MID\$().....	156
● RIGHT\$().....	157
● STR\$().....	158
● STRCOMP().....	159
● INSTR().....	160
● TRIM\$().....	161
● LTRIM\$().....	162
● RTRIM\$().....	163
● TEXTPIXEL().....	164
● BARCODEPIXEL().....	165
● VAL().....	166
● BEEP.....	167
● NOW\$().....	168
● NOW.....	169
● FORMAT\$().....	170
● DATEADD().....	173
● FSEARCH().....	175
● TOUCHPRESS().....	176
● RECORDSET\$().....	177
● LABELRATIO	179
デバ`イソソフイグ レ`ソヨソソソソト`	180
● SET COUNTER	180
● SET CUTTER.....	181
● SET PARTIAL_CUTTER.....	182
● SET BACK.....	183
● SET KEYn.....	184
● SET LEDn.....	186
● SET PEEL.....	188
● SET REWIND.....	189
● SET TEAR & SET STRIPER.....	190
● SET GAP.....	191
● SET BLINE	193
● SET HEAD.....	194
● SET RIBBON.....	195

● SET ENCODER	196
● SET RIBBONEND.....	197
● SET COM1.....	198
● SET PRINTKEY	199
● SET REPRINT	200
● SET FEED_LEN	201
● GET SENSOR()	202
● GET SETTINGS\$ ()	204
● SET USBHOST	207
● SET RS232_REWINDER.....	208
● SET AUTORUN	209
● SET VERIFIER.....	210
● SET RESPONSE	211
● SET DAYLIGHT_SAVE	213
● PEEL.....	214
● LED1, LED2, LED3	215
● KEY1, KEY2, KEY3	216
プログラマブル変数.....	217
● @LABEL	217
● YEAR.....	218
● MONTH	219
● DATE.....	220
● WEEK.....	221
● HOUR.....	222
● MINUTE.....	223
● SECOND.....	224
● @YEAR	225
● @MONTH.....	226
● @DATE	227
● @DAY.....	228
● @HOUR	229
● @MINUTE.....	230
● @SECOND.....	231
● _MODEL\$.....	232
● _SERIAL\$	233
● _VERSION\$.....	234
外付 Wi-Fi モジュール設定マント	235
● WLAN OFF.....	235
● WLAN SSID	236
● WLAN WPA.....	237
● WLAN WEP.....	238
● WLAN DHCP	239
● WLAN IP	240
● WLAN PORT	241
内蔵イーサネット設定マント	242
● NET DHCP.....	242
● NET IP	243
● NET PORT.....	244
● NET NAME.....	245
NFC 設定マント	246
● NFC FEATURE	246
● NFC STATUS.....	247
● NFC TIMEOUT	248
● NFC READ.....	249
● NFC WRITE	250

● NFC MODE.....	251
Alpha-2R 専用設定コマンド	252
● SET PRINTQUALITY.....	252
● SET STANDBYTIME.....	253
● GETSETTING\$()	254
GPIO 設定コマンド	255
● SET GP0.....	255
● SET GPI.....	256
改訂履歴(英語原文)	1

本書の見方

● PDF417

コマンド名

説明

このコマンドは、PDF417 コードを描画します。

コマンドの説明

書式

PDF417 x,y,width,height,rotate,[option], "content"

コマンド 書式

引数	説明																				
x	ドット単位で、バーコード 描画を開始する X 座標を指定します。																				
y	ドット単位で、バーコード 描画を開始する Y 座標を指定します。																				
width	ドット単位で、描画を行いたい領域幅を指定します。																				
height	ドット単位で、描画を行いたい領域高を指定します。																				
rotate	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転																				
option	<table><tr><td>P</td><td>データ圧縮方法 0: 自動モード Auto encoding 1: バイナリモード</td></tr><tr><td>E</td><td>エラー訂正レベル (0~8)</td></tr><tr><td>M</td><td>バーコード 領域の印刷位置 0: 左上寄せで印刷 1: 中央に印刷</td></tr><tr><td>Ux,y,c</td><td>ヒューマンリーダブル x: ヒューマンリーダブルの印刷位置 X 座標 y: ヒューマンリーダブルの印刷位置 Y 座標 c: 1 行の最大桁数</td></tr><tr><td>W</td><td>ドット単位でモジュール幅を指定します。(2~9)</td></tr><tr><td>H</td><td>ドット単位でバー高を指定します。(4~99)</td></tr><tr><td>R</td><td>列の最大数を指定します。</td></tr><tr><td>C</td><td>カラムの最大数を指定します。</td></tr><tr><td>T</td><td>ターミネーション(切り詰め) 0: ターミネーション無し 1: ターミネーション有り</td></tr><tr><td>Lm</td><td>桁数 1≤m≤2048 を指定します ("は含まない)</td></tr></table>	P	データ圧縮方法 0: 自動モード Auto encoding 1: バイナリモード	E	エラー訂正レベル (0~8)	M	バーコード 領域の印刷位置 0: 左上寄せで印刷 1: 中央に印刷	Ux,y,c	ヒューマンリーダブル x: ヒューマンリーダブルの印刷位置 X 座標 y: ヒューマンリーダブルの印刷位置 Y 座標 c: 1 行の最大桁数	W	ドット単位でモジュール幅を指定します。(2~9)	H	ドット単位でバー高を指定します。(4~99)	R	列の最大数を指定します。	C	カラムの最大数を指定します。	T	ターミネーション(切り詰め) 0: ターミネーション無し 1: ターミネーション有り	Lm	桁数 1≤m≤2048 を指定します ("は含まない)
P	データ圧縮方法 0: 自動モード Auto encoding 1: バイナリモード																				
E	エラー訂正レベル (0~8)																				
M	バーコード 領域の印刷位置 0: 左上寄せで印刷 1: 中央に印刷																				
Ux,y,c	ヒューマンリーダブル x: ヒューマンリーダブルの印刷位置 X 座標 y: ヒューマンリーダブルの印刷位置 Y 座標 c: 1 行の最大桁数																				
W	ドット単位でモジュール幅を指定します。(2~9)																				
H	ドット単位でバー高を指定します。(4~99)																				
R	列の最大数を指定します。																				
C	カラムの最大数を指定します。																				
T	ターミネーション(切り詰め) 0: ターミネーション無し 1: ターミネーション有り																				
Lm	桁数 1≤m≤2048 を指定します ("は含まない)																				
content	コードするデータを指定します。 注意: 引数を使用する場合、ダブルクォーテーション(“)は不要です。																				

各引数や戻り値の詳細説明)

コマンド 記述例とその実行結果 (印刷結果)

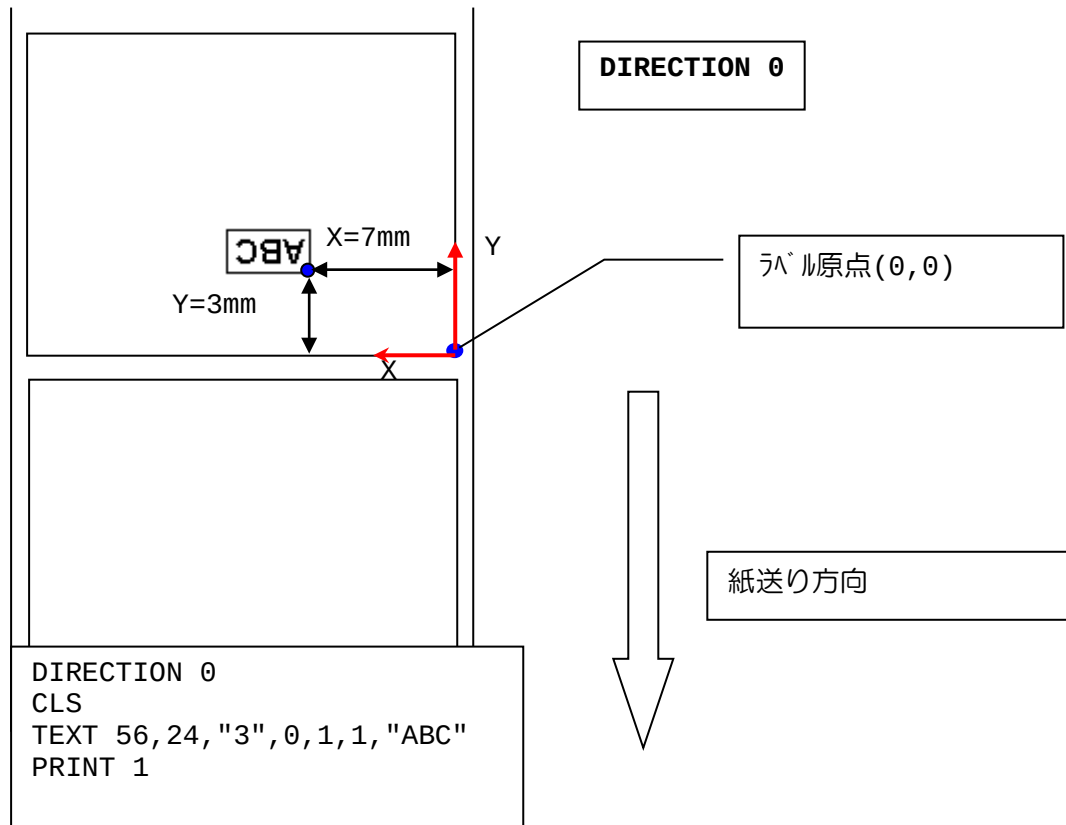
例	コマンド	結果
	SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 REM *****WITHOUR OPTIONS***** CLS PDF417 50,50,400,200,0, "Without Options" PRINT 1,1	
	SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1	

本書記載の書式について

本書では下記の規則に従った書式を用いています。

書式	説明
[オブジェクト]	[]内にはオブジェクトを記載します。最大長は 2*1024 バイトです。
<ESC>	ASCII 27 で、プリンタのステータス取得を行います。
~	ASCII 126 で、プリンタのステータス取得を行います。プリンタがレディ状態の場合にのみ有効です。
<SPC>	ASCII 32 で、コマンドライン中に存在しても無視されます。
"	ASCII 34 で、文字列の開始と終了に配置します。
<CR>, <LF>	ASCII 13, ASCII 10 でコマンドラインの終了を意味します。
<NULL>	ASCII 0 です。
注意: 203 DPI: 1 mm = 8 ポイント	太字斜体文字は、注意事項を意味します。

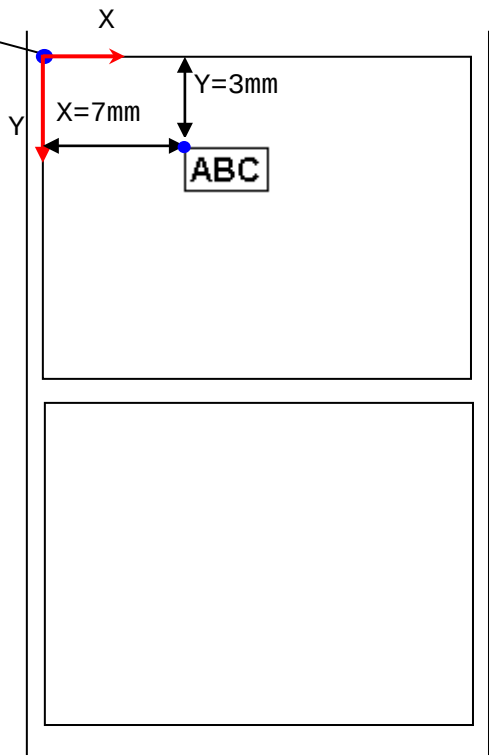
グラフィック位置の計算



注意:

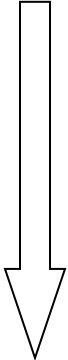
1. 203 DPI, 1mm=8 ドット ; 300 DPI, 1mm=11.8 ドット; 600 DPI, 1 mm = 24 ドット
2. 整数のみが有効です。例えば、2 mm = 23.6 ドットの場合、23 ドットとします。

原点 (0,0)



DIRECTION 1

紙送り方向



```
DIRECTION 1
CLS
TEXT 56,24,"3",0,1,1,"ABC"
PRINT 1
```

プリンタ型式リスト

プリンタ名	プリンタ型式	プリンタ言語	F/W Ver	F/W アップグレード可否
TDP-643 Plus	TDP-643 Plus	TSPL	V x.x	否
TTP-243 シリーズ	TTP-243, TTP-243E, TTP-342	TSPL	V x.x	否
TTP-244ME シリーズ	TTP-243M, TTP-244ME, TTP-342M	TSPL	V x.x	否
TDP-245 シリーズ	TDP-245, TDP-245G	TSPL2	V x.x	否
TTP-245 シリーズ	TTP-245, TTP-245G, TTP-343	TSPL2	V x.x	否
TTP-246M シリーズ	TTP-246M, TTP-246G, TTP-344M	TSPL2	V x.x	否
TTP-248M シリーズ	TTP-248M	TSPL2	V x.x	否
TDP-643R Plus	TDP-643R Plus	TSPL	V x.x	否
TTP-243 Plus シリーズ	TTP-243 Plus, TTP-243E Plus, TTP-342 Plus	TSPL	V x.x	否
TTP-244ME Plus	TTP-244ME Plus, TTP-342M Plus	TSPL	V x.x	否
TTP-2410M シリーズ	TTP-2410M, TTP-346M, TTP-644M	TSPL2	V x.x	否
TTP-246M Plus シリーズ	TTP-246M Plus, TTP-344M Plus	TSPL2	V x.x	否
TTP-244 シリーズ	TTP-244	TSPL2	V x.x	否
M23 シリーズ	M23	TSPL2	V x.x	否
TTP-244 Plus シリーズ	TTP-244 Plus	TSPL2	V x.x	否
TA200 シリーズ	TA200, TA300	TSPL2	V x.x	否
TTP-245C シリーズ	TTP-245C, TTP-343C	TSPL2	V x.x	否
TTP-2410M Pro シリーズ	TTP-2410M Pro, TTP-346M Pro, TTP-644M Pro	TSPL2	V x.x	否
TTP-268M シリーズ	TTP-268M, TTP-366M	TSPL2	V x.x	否
TTP-384M シリーズ	TTP-384M	TSPL2	V x.x	否
TTP-243 Pro シリーズ	TTP-243 Pro, TTP-243E Pro, TTP-342 Pro	TSPL	V x.x	可
TTP-244 Pro シリーズ	TTP-244 Pro	TSPL2	V x.x	可
TDP-247 シリーズ	TDP-245 Plus, TDP-244, TDP-247, TDP-345	TSPL2	V x.x	可
DA200 シリーズ	DA200, DA300	TSPL2	A x.x	可
TTP-247 シリーズ	TTP-245 Plus, TTP-343 Plus, TTP-247, TTP-345	TSPL2	V x.x	可
TE200 シリーズ	TE200, TE300	TSPL2	A x.x	可
TX200 シリーズ	TX200, TX300, TX600	TSPL2	A x.x	可
TDP-225 シリーズ	TDP-225, TDP-324, TDP-225W, TDP-324W	TSPL2	V x.x	可
TTP-225 シリーズ	TTP-225, TTP-323	TSPL2	V x.x	可
TTP-244CE	TTP-244CE	TSPL2	V x.x	可
TC200 シリーズ	TC200, TC300, TC210, TC310	TSPL2	A x.x	可
TA210 シリーズ	TA210, TA310	TSPL2	V x.x	可
TTP-244M Pro シリーズ	TTP-244M Pro, TTP-244ME Pro, TTP-342M Pro, TTP-342ME Pro	TSPL2	V x.x	可
ME240 シリーズ	ME240, ME340	TSPL2	V x.x	可
TTP-246M Pro シリーズ	TTP-246M Pro, TTP-344M Pro	TSPL2	V x.x	可
TTP-2410MU シリーズ	TTP-2410MU, TTP-346MU, TTP-644MU, TTP-2410MT, TTP-346MT, TTP-644MT	TSPL2	A x.x	可
MX240 シリーズ	MX240, MX340, MX640	TSPL2	A x.x	可
MX240P シリーズ	MX240P, MX340P, MX640P	TSPL2	A x.x	可
MH240 シリーズ	MH240, MH340, MH640, MH240T, MH340T, MH640T, MH240P, MH340P, MH640P	TSPL2	A x.x	可
TTP-2610M シリーズ	TTP-2610MT, TTP-368MT	TSPL2	A x.x	可
TTP-286MT シリーズ	TTP-286MT, TTP-384MT	TSPL2	A x.x	可
Alpha-2R シリーズ	Alpha-2R	TSPL2	A x.x	可
Alpha-3R シリーズ	Alpha-3R	TSPL2	V x.x	可
Alpha-4L シリーズ	Alpha-4L	TSPL2	V x.x	可

TSPL2 プリンタ言語マニュアルに記載されているコマンドは、全プリンタファームウェアに含まれています。但し、プリンタが仕様上その機能を有していない場合は、対応するコマンドもサポートしていません。

セッアップ° & システムコマント°

● SIZE

説明

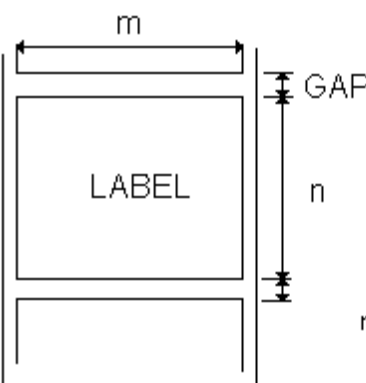
ラベルの幅・高さ(長さ)を設定します。

書式

SIZE m,n	インチ単位で指定します。
SIZE m mm,n mm	ミリ単位で指定します。
SIZE m dot,n dot	ドット単位で指定します。 この書式は、V6.27 EZ 以降でサポートしています。

引数	説明
M	ラベル幅 (inch/mm/dot)
N	ラベル高さ (inch/mm/dot)
注意 :	
• 200 DPI : 1 mm = 8 dots	
• 300 DPI : 1 mm = 12 dots	
• 600 DPI : 1 mm = 24 dots	
• シリ及びドット単位で定義する場合は、数値の後ろに単位を指定する必要があります。	

例

サッポロト°	結果
インチ単位: SIZE 3.5,3.00	 m: Label Width n: Label Height
ミリ単位: SIZE 100 mm,100 mm	

参考項目

GAP, BLINE

● GAP

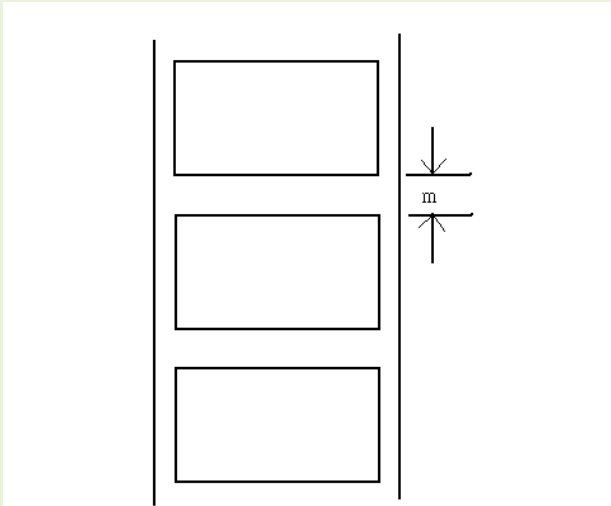
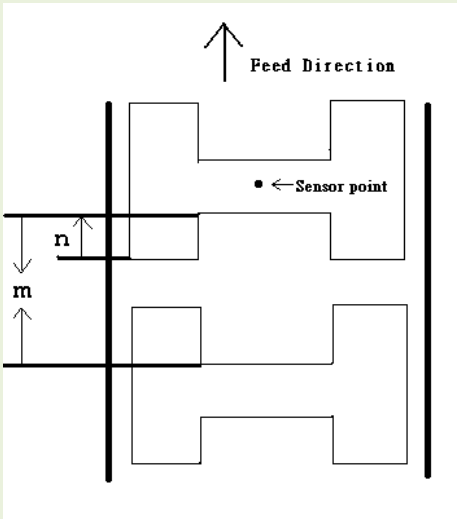
説明

2つのラベル間のギャップ（距離）を設定します。

書式

GAP m, n	インチ単位で指定します。
GAP m mm, n mm	ミリ単位で指定します。
GAP m dot, n dot	ドット単位で指定します。 この書式は、V6.27 EZ以降でサポートしています。

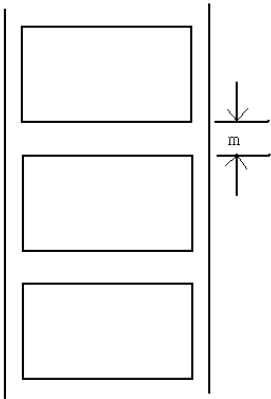
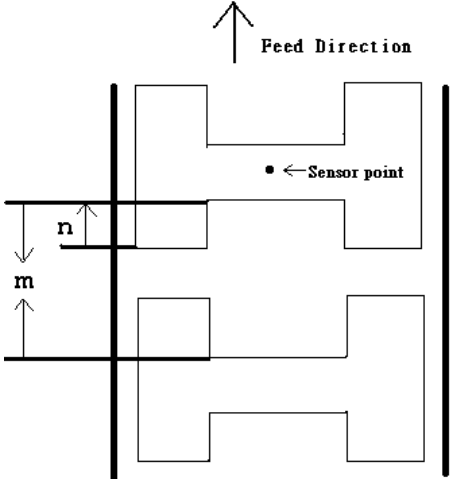
引数	説明
M	2つのラベル間のギャップ（距離） $0 \leq m \leq 1$ (inch), $0 \leq m \leq 25.4$ (mm) $0 \leq m \leq 5$ (inch), $0 \leq m \leq 127$ (mm) / V6.21 EZ以降のファームウェア
N	ギャップのオフセット（距離） $n \leq$ ラベルの高さ（長さ）(inch 又は mm)
0, 0	連続紙

注意：

- 200 DPI : 1 mm = 8 dots
- 300 DPI : 1 mm = 12 dots
- 600 DPI : 1 mm = 24 dots
- ミリ及びドット単位で定義する場合は、数値の後ろに単位が必要です。
- センサタイプをブラックマークからギャップに変更した場合は、まずGAPコマンドをプリンタに送信してください。

例

サンプルコード	結果
一般的なギャップ インチ: GAP 0.12, 0 ミリ: GAP 3 mm, 0 mm 連続紙: GAP 0, 0	一般的なギャップ 
変則的なギャップ インチ: GAP 0.30, 0.10 ミリ: GAP 7.62 mm, 2.54 mm	変則的なギャップ 

参考項目

SIZE, BLINE

● GAPDETECT

説明

このコマンドは、ハーフをフィードさせて、ギャップセンサーを通して、ハーフサイズとギャップサイズの決定を試みます。このコマンドは、ユーザーが指定した概算寸法を参照し、それが実際のサイズと異なる場合は、正しく動作しません。このキャリブレーション方法は、予め町や文字が印刷されているパネルに適用できます。

書式

GAPDETECT [x,y]

引数	説明
X	ドット単位でハーフ長を指定します
Y	ドット単位でギャップサイズを指定します。
注意: 引数 x, y が無視された場合、プリンタは自動的にキャリブレーション及びハーフ長とギャップサイズの決定を行います。	

参考項目

GAP, SIZE, BLINEDTECT, AUTODETECT

● BLINEDETECT

説明

このコマンドは、A°-B°-をフィードさせて、ブラックマ-ケツサ-を通して、A°-B°-サイズとブラックマ-ケツサ-の決定を試みます。
このコマンドは、ユーザーが指定した概算寸法を参照し、それが実際のサイズと異なる場合は、正しく動作しません。
このキャリブレーション方法は、予め町や文字が印刷されている用紙に適用できます。

書式

BLINEDETECT [x,y]

引数	説明
x	ドット単位でA°-B°-長を指定します
y	ドット単位でブラックマ-ケツサ-サイズを指定します。

注意:

引数 x, y が無視された場合、プリンタは自動的にキャリブレーション及びA°-B°-長とブラックマ-ケツサ-の決定を行います。

参考項目

GAP, SIZE, GAPDETECT, AUTODETECT

● AUTODETECT

説明

このコマンドは、ペーパーをフィードさせて、ギャップ/ブラックマークセンサーを通して、ペーパーサイズとギャップサイズの設定を試みます。このコマンドは、ユーザーが指定した概算寸法を参照し、それが実際のサイズと異なる場合は、正しく動作しません。このキャリブレーション方法は、予め町や文字が印刷されているラベルに適用できます。

書式

AUTODETECT [x,y]

引数	説明
x	ドット単位でペーパー長を指定します
y	ドット単位でギャップ/ブラックマークサイズを指定します。

注意:

- 引数 x, y が無視された場合、プリンタは自動的にキャリブレーション及びペーパー長とギャップ/ブラックマークサイズの設定を行います。
- このコマンドを使用する場合、プリンタは適切なセンサータイプでラベルを検出します。よって、ユーザープログラム内では、GAP コマンド及びBLINE コマンドを使用しないでください。
- このコマンドは、V6.27 EZ 以降でサポートしています。

参考項目

GAP, SIZE, GAPDETECT, BLINEDETECT

● BLINE

説明

このコマンドは、ブラックライン(ブラックマーク)の高さと、ユーザー定義のフィード幅を設定します。

書式

BLINE m,n	インチ単位で指定します。
BLINE m mm,n mm	ミリ単位で指定します。
BLINE m dot,n dot	ドット単位で指定します。 この書式は、V6.27 EZ 以降でサポートしています。

引数	説明
m	ブラックラインの高さをインチ又はミリ単位で指定します。 $0 \leq m \leq 1$ (inch), $0 \leq m \leq 25.4$ (mm) $0 \leq m \leq 5$ (inch), $0 \leq m \leq 127$ (mm) / V6.21 EZ 以降
n	フィード幅をインチ又はミリ単位で指定します。 $0 \leq n \leq$ 上巻ルの高さ
0,0	連続紙

注意：

- **200 DPI : 1 mm = 8 dots**
- **300 DPI : 1 mm = 12 dots**
- **600 DPI : 1 mm = 24 dots**
- ミリ及びドット単位で定義する場合は、数値の後ろに単位が必要です。
- センサタイプをギャップからブラックマークに変更した場合は、まずBLINEコマンドをプリンタに送信してください。

例

サンプルコード
インチ: BLINE 0.20,0.50
ミリ: BLINE 5.08 mm,12.7 mm

参考項目

SIZE, GAP

● OFFSET

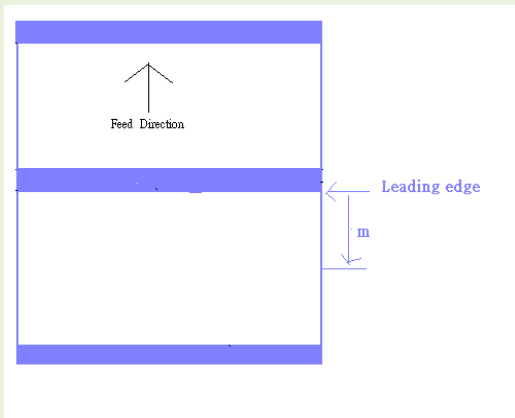
説明

このコマンドは、ラベルリッジからのフィード幅を設定します。これは、ピールオフモードやカッターモードでラベルの停止位置の調整のために使用されます。プリンタは、次のラベル印字を開始する前に、ここで設定された幅をバックフィードします。

書式

OFFSET m	インチ単位で指定します。
OFFSET m mm	ミリ単位で指定します。
OFFSET m dot	ドット単位で指定します。 この書式は、V6.27 EZ 以降でサポートしています。

引数	説明
m	オフセット幅を指定します。(inch 又は mm) $-1 \leq m \leq 1$ (inch)



The diagram illustrates the offset distance 'm'. It shows a rectangular label with a horizontal line representing the 'Leading edge'. An arrow labeled 'Feed Direction' points upwards from the center of the label. A vertical double-headed arrow labeled 'm' indicates the distance from the leading edge to the feed direction line.

注意：

- **200 DPI : 1 mm = 8 dots**
- **300 DPI : 1 mm = 12 dots**
- **600 DPI : 1 mm = 24 dots**
- シリ及びドット単位で定義する場合は、数値の後ろに単位を入力する必要があります。
- 不適切なオフセット値は、ラベルリッジの原因となります。

例

サンプルコード
インチ: OFFSET 0.5
ミリ: OFFSET 12.7 mm

参考項目

SIZE, GAP, SET PEEL, SET CUTTER

● SPEED

説明

このコマンドは、印刷速度を設定します。

書式

SPEED n

引数

説明

n印刷速度を1インチ/秒単位で指定します。

プリンタ型式 / IPS	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
TDP-643 Plus/ TDP-643R Plus シリーズ		V	V		V																
TTP-243I/ TTP-243I Plus/ TTP-243I Pro シリーズ		V	V		V																
TTP-342/ TTP-342 Plus/ TTP-342I Pro シリーズ	V	V	V																		
TTP-244/ TTP-244 Plus シリーズ			V		V		V														
TTP-244 Pro シリーズ			V		V		V	V													
TDP-244 シリーズ			V		V		V														
TDP-245/ TDP-245 Plus/TTP-245/ TTP-245 Plus シリーズ			V		V		V	V													
TDP-247/ TTP-247 シリーズ			V		V		V	V	V	V											
TTP-343/ TTP-343 Plus シリーズ			V		V																
TDP-345/ TTP-345 シリーズ			V		V		V	V													
TTP-244CE/ TTP-343C シリーズ			V		V		V														
TTP-245C シリーズ / TE200 シリーズ			V		V		V	V	V												
TA200/ DA300 シリーズ			V		V		V														
TA210/ DA200 シリーズ / TE300 シリーズ			V		V		V	V													
TA300 シリーズ		V	V		V																
TA310 シリーズ		V	V		V		V														
TX200 シリーズ			V		V		V	V	V	V	V										
TX300 シリーズ		V	V		V		V	V	V												
TX600 シリーズ	V	V	V		V		V														
TDP-225/ TTP-225 シリーズ			V		V		V	V													
TDP-324/TDP-324W シリーズ			V		V		V														
TTP-323			V		V																
TTP-246M シリーズ			V		V		V	V	V												
TTP-246M Plus/ TTP-246M Pro シリーズ			V		V		V	V	V	V	V										
TTP-248M シリーズ							V	V	V		V										
TTP-2410M/TTP-2410M Pro シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V	V						
TTP-244ME/ TTP-244ME Plus/ TTP-244MI Pro シリーズ		V	V		V		V														
TTP-342M/ TTP-342M Plus/ TTP-342M Pro シリーズ	V	V	V																		
TTP-344M シリーズ			V		V		V														
TTP-344M Plus/ TTP-344M Pro シリーズ			V		V		V	V	V												
TTP-346M/ TTP-346M Pro シリーズ			V		V		V	V	V	V	V										
TTP-644M/ TTP-246M Pro シリーズ	V		V		V		V														
TTP-268M シリーズ			V		V		V	V	V	V	V										
TTP-366M シリーズ			V		V		V	V	V												
TTP-286MT シリーズ			V		V		V	V	V												
TTP-384M/ TTP-384MT シリーズ			V		V		V														
ME240 シリーズ			V		V		V	V	V												
ME340 シリーズ		V	V		V		V														
MX240P シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
MX240 シリーズ / MH240 シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V				
MH340 シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V							
MX340 シリーズ / MX340P シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V	V						
MH640 シリーズ		V	V		V		V	V	V												
MX640 シリーズ / MX640P シリーズ	V		V		V		V	V	V												
TTP-2410MU/ TTP-2410MT シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V				
TTP-346MU/ TTP-346MT シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V								
TTP-644MU/ TTP-644MT シリーズ	V		V		V		V														
TTP-2610MT シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V	V	V						
TTP-368M シリーズ			V		V		V	V	V	V	V	V	V								
M23 シリーズ		V	V	V	V	V															
Alpha-2R/ Alpha-3R/ Alpha-4L シリーズ	V		V		V		V														

例

サンプルコード

SPEED 10

参考項目

DENSITY

● DENSITY

説明

このコマンドは、印刷濃度を設定します。

書式

DENSITY n

引数	説明
n	印刷濃度を 0~15 の範囲で指定します。 0: 最も低い濃度 15: 最も高い濃度
注意: デフォルト値は 8 です。 .	

例

サンプルコード

DENSITY 7

● DIRECTION(ミラーイメージ)

説明

このコマンドは、印刷方向とミラーイメージの設定を行います。この設定は、プリンタメモリに記憶されます。

書式

DIRECTION n[,m]

引数	説明
n	印刷方向を 0 か 1 で指定します。下記の図を参照ください。
m	ミラーイメージを 0 か 1 で指定します。下記を参照ください。
	0: ミラーイメージ 無効 1: ミラーイメージ 有効
	注意: TDP-643 Plus , TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M, TTP-248M はミラーイメージをサポートしていません。
DIRECTION 0,0 Feed Direction TEST PRINT DIRECTION 1,0 TEST PRINT Feed Direction DIRECTION 0,1 Feed Direction TEST PRINT DIRECTION 1,1 TEST PRINT Feed Direction	

例

サンプルコード
■ DIRECTION 0
■ DIRECTION 0,1

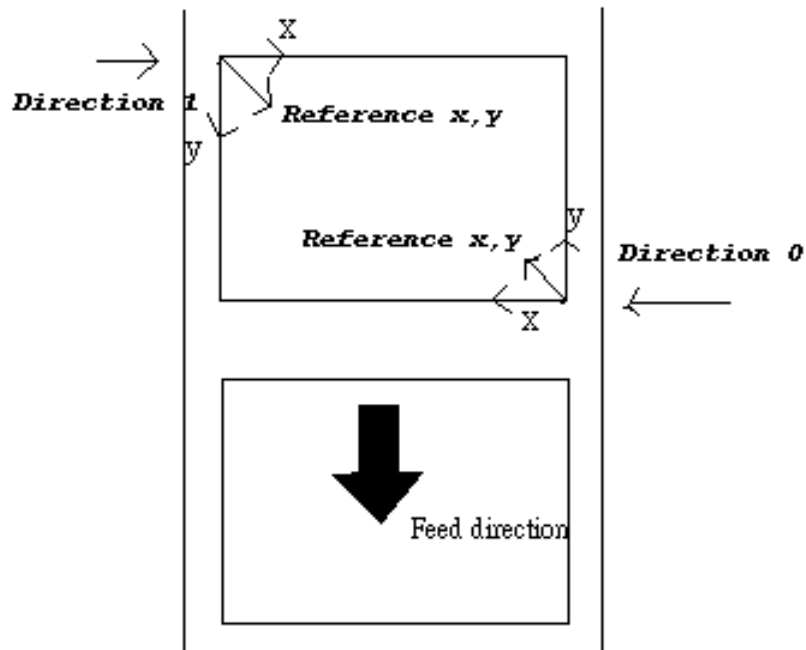
参考項目

REFERENCE

● REFERENCE

説明

このコマンドは、ラベルのリアリンスポイント(起点)を設定します。リアリンスポイントは、印刷方向によって異なるため、下記の図を参照ください。



書式

REFERENCE x, y

引数	説明
x	水平方向のリアリンスポイント X をドット単位で指定します。
y	垂直方向のリアリンスポイント Y をドット単位で指定します。
注意:	
• 200 DPI: 1 mm = 8 dots	
• 300 DPI: 1 mm = 12 dots	
• 600 DPI : 1 mm = 24 dots	

例

サンプルコード
REFERENCE 10,10

参考項目

DIRECTION

● SHIFT

説明

このコマンドは、ラベルの水平及び垂直位置の移動を行います。X値は、印刷方向と逆に、Y値は印刷方向に移動します。

書式

SHIFT [x,] y

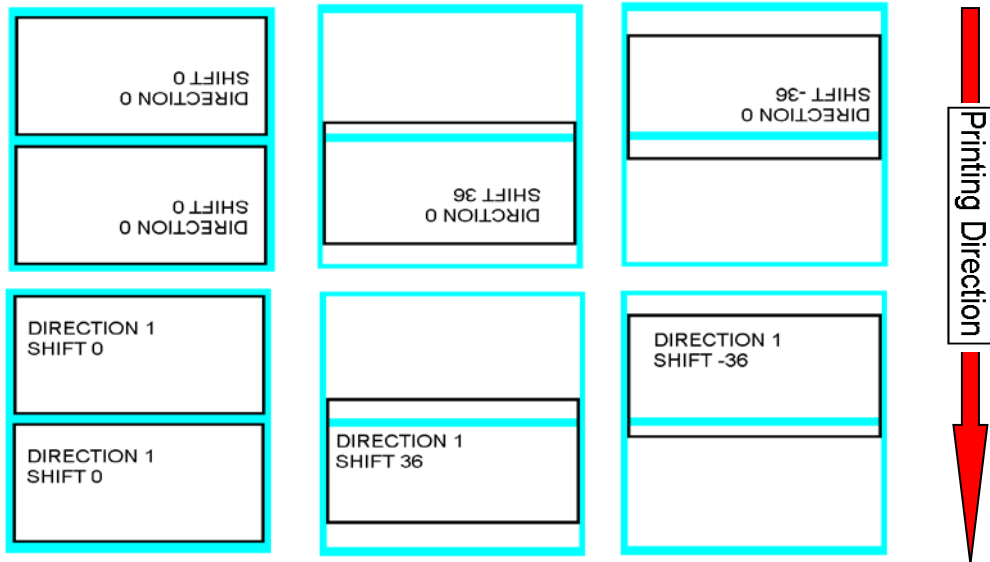
引数	説明
X	水平方向の移動幅 X を最大 1 インチ(ドット単位、下記参照)の範囲で指定します。この引数は、省略可能です。 200DPI プリンタの場合 : -203~203 の範囲 300DPI プリンタの場合 : -300~300 の範囲
Y	垂直方向の移動幅 Y を最大 1 インチ(ドット単位、下記参照)の範囲で指定します。 200DPI プリンタの場合 : -203~203 の範囲 300DPI プリンタの場合 : -300~300 の範囲
注意: <i>TDP-643 Plus , TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M, TTP-248M, M23 シリーズはサポートしていません。</i>	

例

サンプルコード

```
SIZE 4,2.5
GAP 2 mm,0
DIRECTION 0
SHIFT 36
OFFSET 0
CLS
TEXT 400,200, "3",0,1,1, "DIRECTION 0"
TEXT 400,250, "3",0,1,1, "SHIFT 36"
BOX 10,0,780,490,8
PRINT 3,1
```


結果



参考項目

OFFSET, REFERENCE

● COUNTRY

説明

このコマンドは、オプションの KP-200 シリーズ LCD 付キーボード上の特殊キャラクタの国設定を行います。

書式

COUNTRY n

引数	説明
n	001: USA
	002: Canadian-French
	003: Spanish (Latin America)
	031: Dutch
	032: Belgian
	033: French (France)
	034: Spanish (Spain)
	036: Hungarian
	038: Yugoslavian
	039: Italian
	041: Switzerland
	042: Slovak
	044: United Kingdom
	045: Danish
	046: Swedish
	047: Norwegian
	048: Polish
	049: German
	055: Brazil
	061: English (International)
	351: Portuguese
	358: Finnish

例

サンプルコード

COUNTRY 001

参考項目

CODEPAGE, ~!I

● CODEPAGE

説明

このコマンドは、国際チャラクセツのコードページを設定します。

書式

CODEPAGE n

引数

n

説明

コードページに対応する英語名又は番号を指定します。コードページは、7ビットと8ビットの2つに区別されています。下記の表を参照ください。

7-bit code page		8-bit code page		Windows code page		ISO code page	
n	Name	n	Name	n	Name	n	Name
USA	USA	437	United States	1250	Central Europe	8859-1	Latin 1
BRI	British	737	Greek	1251	Cyrillic	8859-2	Latin 2
GER	German	850	Multilingual	1252	Latin I	8859-3	Latin 3
FRE	French	851	Greek 1	1253	Greek	8859-4	Baltic
DAN	Danish	852	Slavic	1254	Turkish	8859-5	Cyrillic
ITA	Italian	855	Cyrillic	1255	Hebrew	8859-6	Arabic
SPA	Spanish	857	Turkish	1256	Arabic	8859-7	Greek
SWE	Swedish	860	Portuguese	1257	Baltic	8859-8	Hebrew
SWI	Swiss	861	Icelandic	1258	Vietnam	8859-9	Turkish
		862	Hebrew	932	Japanese Shift-JIS	8859-10	Latin 6
		863	Canadian/French	936	Simplified Chinese GBK	8859-11	Latin 9
		864	Arabic	949	Korean		
		865	Nordic	950	Traditional Chinese Big5		
		866	Russian	UTF-8	UTF 8		
		869	Greek 2				

注意:

データ長は、コミュニケーションパラメータ7ビット又は8ビットにより決まります。

例

DiagTool で COUR.TTF をプリンタにダウンロードする場合

Diagnostic Tool 1.54

Language: English Unit: ☒ inch ☐ mm

Interface: USB

Printer Configuration | **File Manager** | Bitmap Font Manager | Command Tool

File Download

File Type: True Type Font

Browse

File Name: COUR.TTF

File Size: 709600 Bytes

Memory Device: FLASH

Font View Download

File Information

Memory Device: ☐ DRAM ☒ FLASH ☐ CARD

Physical Space: KB

Free Space: KB

Get

File Format

Memory Device: ☐ DRAM ☒ FLASH ☐ CARD

Format

サンプルコード

DOWNLOAD "TEST.BAS"

```
str1$ = " "  
J = 0  
y = 50
```

CODEPAGE 1252

SIZE 4, 3

GAP 0,0

DIRECTION 1

CLS

TEXT

```
10,10,"COUR.TTF",0,12,12,"CODEPAGE
1252"
```

FOR I=32 TO 255

```
str1$=str1$+CHR$(I) + " "
```

J=J+1

```
IF J=16 THEN GOSUB drawTEXT
```

NEXT

PRINT 1

END

drawTEXT:

```
TEXT 10,y,"COUR.TTF",0,12,12,str1$
str1$=" "
```

J=0

 $y = y + 40$

RETURN

EOP

TEST

結果

CODEPAGE 1252

	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
€		,	f	"	...	†	‡	^	%	Š	<	€		Ž	
	\	/	"	"	•	-	-	~	™	š	>	œ		ž	ÿ
	:	¢	£	¤	¥		§	¨	©	ª	«	¬	-	®	¯
°	±	²	³	´	µ	¶	·	,	¹	º	»	¼	½	¾	¿
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ

参考項目

COUNTRY, ~! I

● CLS

説明

このコマンドは、イメージバッファのクリアを行います。

書式

CLS

引数	説明
無し	N/A
注意: このコマンドは、 SIZE コマンドの後に配置しなければいけません。	

例

ソフトロード

CLS

参考項目

SIZE, GAP, BLINE

● FEED

説明

このコマンドは、指定した長さだけをフィードします。長さは、ドット単位で指定します。

書式

FEED n

引数	説明
n	ドット単位で、フィードする長さを指定します。 $1 \leq n \leq 9999$

注意:

- **200 DPI: 1 mm = 8 dots**
- **300 DPI: 1 mm = 12 dots**
- **600 DPI : 1 mm = 24 dots**

例

サンプルコード

FEED 40

参考項目

BACKFEED, SIZE, GAP, BLINE, HOME, FORMFEED

● BACKFEED & BACKUP

説明

このコマンドは、指定した長さのラベルをバックフィードします。長さは、ドット単位で指定します。

書式

BACKUP n	TSPL 対応プリンタのみ
BACKFEED n	TSPL2 対応プリンタのみ

注意：TSPL と TSPL2 の対応については、[プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

引数	説明
n	ドット単位で、バックフィードする長さを指定します。 $1 \leq n \leq 9999$
注意: • 200 DPI: 1 mm = 8 dots • 300 DPI: 1 mm = 12 dots • 600 DPI : 1 mm = 24 dots	
注意: 適切でないバックフィード値は、ラベルの皺やバーコードの原因となります。	

例

サンプルコード
TSPL printers BACKUP 40
TSPL2 printers BACKFEED 40

参考項目

FEED, SIZE, GAP, BLINE, HOME, FORMFEED

● FORMFEED

説明

このコマンドは、次のラベルの開始位置へラベルフィードを行います。

書式

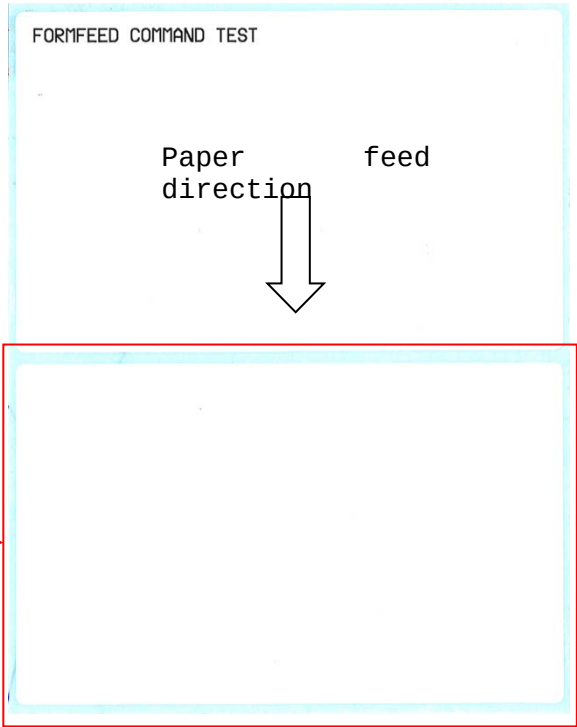
FORMFEED

引数	説明
無し	N/A

注意:

このコマンドは、**SIZE** コマンドの後に配置しなければいけません。

例

サンプルコード	結果
<pre>SIZE 4,2.5 GAP 2 mm,0 DIRECTION 1 FORMFEED CLS TEXT 25,25, "3",0,1,1, "FORMFEED COMMAND TEST" PRINT 1,1</pre>	

参考項目

FEED, SIZE, GAP, BLINE, HOME, BACKFEED

● HOME

説明

このコマンドは、ラベルをフィード（又はバックフィード）して、ラベルの開始位置にセットします。このコマンドを発行する前に、ラベルサイズ及びギャップサイズが正しく設定されている必要があります。

書式

HOME

引数	説明
無し	N/A

TSPL 対応プリンタ：ラベルをバックフィードして、ラベルの開始位置にセット

TSPL2 対応プリンタ：ラベルをフィードして、ラベルの開始位置にセット

注意:

TSPL と TSPL2 の対応については、[プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

例

```
サンプルコード
SIZE 4,2.5
GAP 2 mm,0
SET COUNTER @0 +1
@0="000001"
HOME
CLS
BOX 1,1,360,65,12
TEXT 25,25, "3",0,1,1, "HOME COMMAND TEST"
TEXT 25,80, "3",0,1,1,@0
PRINT 3,1
```

参考項目

FEED, SIZE, GAP, BLINE, FORMFEED

● PRINT

説明

このコマンドは、現在メモリーバッファに保存されているラベルフォーマットを印刷します。

書式

PRINT m[,n]

引数	説明
m	何セットのラベルを印刷するかを指定します。 1 ≤ m ≤ 999999999
n	各ラベルセットを何枚印刷するかを指定します。 1 ≤ n ≤ 999999999

例

サンプルコード	結果
SIZE 50 mm,25 mm GAP 3 mm,0 DIRECTION 1 SET COUNTER @1 1 @1="0001" CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1,@1 PRINT 3,2	0003 0003 0002 0002 0001 0001 1 セット, 2 枚印刷 ペーパーフィード方向 ↓

参考項目

SET COUNTER, INPUT, DOWNLOAD

● SOUND

説明

このコマンドは、指定されたレベルと長さでビープを鳴動します。

書式

SOUND level,interval

引数	説明
level	ビープレベルを 0~9 の範囲で指定します。
interval	ビープの長さを 1~4095 の範囲で指定します。

例

サンプルコード

- ・ **SOUND 5,200**
- ・ **SOUND 3,200**
- ・ **SOUND 3,200**
- ・ **SOUND 4,200**
- ・ **SOUND 2,200**
- ・ **SOUND 2,200**
- ・ **SOUND 1,200**
- ・ **SOUND 2,200**
- ・ **SOUND 3,200**
- ・ **SOUND 4,200**
- ・ **SOUND 5,200**

● CUT

説明

このコマンドは、バックフィード無しにカッターを即時動作させます。

書式

CUT

引数	説明
無し	N/A

例

サンプルコード

```
SIZE 3,3
GAP 0,0
CLS
BOX 0,0,866,866,5
TEXT 100,100, "5",0,1,1, "FEED & CUT"
TEXT 100,200, "5",0,1,1, "300 DPI"
PRINT 1,1
FEED 260
CUT
```

参考項目

SET CUTTER, SET BACK, SET PARTIAL_CUTTER

● **LIMITFEED**

説明

ギャップセンサーが適切な感度に設定されていない場合、フィードを行ってもプリンタはギャップ位置で停止することができません。このコマンドは、プリンタが1ラベル+リセット値分フィード後、正しいギャップ位置に検出できない場合、フィードを停止し、赤色LEDを点滅させます。

書式

LIMITFEED n[,minpaper,maxgap]	インチ単位で指定します。
LIMITFEED n mm[,minpaper mm,maxgap mm]	ミリ単位で指定します。
LIMITFEED n dot[,minpaper dot,maxgap dot]	ドット単位で指定します。 この書式は、V6.34 EZ以降でサポートしています。

引数	説明
N	ギャップ検出までの最大長を指定します。
Minpaper	ラベル高の最小値を指定します。
Maxgap	ギャップの最大長を指定します。
注意: • 設定は、プリンタの不揮発性メモリに記憶されます。 • ミリ及びドット単位で定義する場合は、数値の後ろに単位を指定する必要があります。 • プリンタ初期化後のデフォルト値は、10インチです。但し、V6.76EZ以降のTDP-225は、14インチです。 • 引数minpaperとmaxgapは、プレ印刷ラベルのキャリブレーションに使用されます。 この引数は、V6.98.7EZ以降でサポートしています。	

例

サンプルコード
インチ: LIMITFEED 12

● SELFTEST

説明

このコマンドは、プリンタ情報の印刷を行います。

書式

SELFTEST [page]

引数
page

説明

省略：全セルフテストページを印刷します。

PATTERN：プリントヘッドステータスチェックのためのパターンを印刷します。

ETHERNET：イーサネット設定とセルフテストページを印刷します。

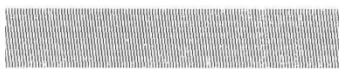
WLAN：WiFi 設定とセルフテストページを印刷します。

RS232：RS232 設定とセルフテストページを印刷します。

SYSTEM：プリンタ設定とセルフテストページを印刷します。 .

Z：ミューラソング設定とセルフテストページを印刷します。 .

例

サンプルコード	結果
SELFTEST	<pre>----- SYSTEM INFORMATION ----- MODEL: TDP247 FIRMWARE: 7.00 EZ CHECKSUM: 07CBD355 S/N: D452350388 TCF: NO DATE: 1970/01/01 TIME: 00:04:18 NON-RESET: 110 m (TPH) RESET: 110 m (TPH) NON-RESET: 0 (CUT) RESET: 0 (CUT) ----- PRINTING SETTING ----- SPEED: 5 IPS DENSITY: 8.0 WIDTH: 4.00 INCH HEIGHT: 4.00 INCH GAP: 0.00 INCH INTENSION: 5 CODEPAGE: 850 COUNTRY: 001 ----- Z SETTING ----- DARKNESS: 16.0 SPEED: 4 IPS WIDTH: 4.00 INCH TILDE: 7EH (~) CARET: 5EH (^) DELIMITER: 2CH (,) POWER UP: NO MOTION HEAD CLOSE: NO MOTION ----- RS232 SETTING ----- BAUD: 9600 PARITY: NONE DATA BIT: 8 STOP BIT: 1 ----- DRAM FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL 8192 KBYTES AVAILABLE 256 KBYTES ----- FLASH FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL 4096 KBYTES AVAILABLE 2560 KBYTES ----- </pre> 

SELFTEST PATTERN	
SELFTEST ETHERNET	<pre> ----- ETHERNET SETTING ----- NAME: PS-FF02FD MAC ADDR: 001B82-FF02FD DHCP: ON IP ADDR: 10.0.10.115 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 10.0.10.252 PORT: 9100 ----- </pre>
SELFTEST WLAN	<pre> ----- WLAN SETTING ----- MAC ADDR: 001DC9-908397 MODE: AD-HOC SSID: TEST-AP IP ADDR: 192.168.1.3 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 192.168.1.1 PORT: 9100 ----- </pre>
SELFTEST RS232	<pre> ----- RS232 SETTING ----- BAUD: 9600 PARITY: NONE DATA BIT: 8 STOP BIT: 1 ----- </pre>
SELFTEST SYSTEM	<pre> ----- SYSTEM INFORMATION ----- MODEL: TDP247 FIRMWARE: 7.00 EZ CHECKSUM: 07CBD355 S/N: D452350388 TCF: NO DATE: 2013/01/11 TIME: 14:57:55 NON-RESET: 145 m (TPH) RESET: 145 m (TPH) NON-RESET: 0 (CUT) RESET: 0 (CUT) ----- </pre>
SELFTEST PRINTER	<pre> ----- PRINTING SETTING ----- SPEED: 5 IPS DENSITY: 8.0 WIDTH: 4.00 INCH HEIGHT: 1.00 INCH GAP: 0.00 INCH INTENSION: 5 CODEPAGE: 850 COUNTRY: 001 ----- </pre>
SELFTEST Z	<pre> ----- Z SETTING ----- DARKNESS: 16.0 SPEED: 4 IPS WIDTH: 4.00 INCH TILDE: 7EH (~) CARET: 5EH (^) DELIMITER: 2CH (,) POWER UP: NO MOTION HEAD CLOSE: NO MOTION ----- </pre>

● E0J

説明

このコマンドは、E0J コマンドより前にあるコマンド処理が終了するまで待機した後、次のコマンドへ移ります。

書式

E0J

注意:

このコマンドは、V6.39 EZ 以降でサポートしています。

例

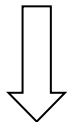
サンプルコード

```
SIZE 4,0.2
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10,"3",0,1,1,"Two labels are printed without stop."
PRINT 1
PRINT 1

SIZE 4,0.2
GAP 0,0
CLS
TEXT 10,10,"3",0,1,1,"Printer stops before next printing."
PRINT 1
E0J
PRINT 1
```

結果

フィード方向



```
Printer stops before next printing.
Printer stops before next printing.
Two labels are printed without stop.
Two labels are printed without stop. }
```

待機無し

● DELAY

説明

このコマンドは、プリンタを一定時間待機させた後、次のコマンド処理を実行します。

書式

DELAY ms

引数

ms

説明

ミリ秒単位で、待機時間を指定します。

注意:

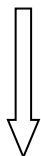
このコマンドは、V6.34 EZ以降で廃止されています。

例

サンプルコード

```
SIZE 4,0.7
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10,"3",0,1,1,"The delay time between two labels is 3 seconds."
TEXT 10,60,"3",0,1,1,"Now second:" +@SECOND
PRINT 1
DELAY 3000
PRINT 1
```

結果



The delay time between two labels is 3 seconds.

Now second:9

The delay time between two labels is 3 seconds.

Now second:6

● DISPLAY

説明

このコマンドは、プリンタのイメージバッファにあるイメージを LCD パネルに表示します。

書式

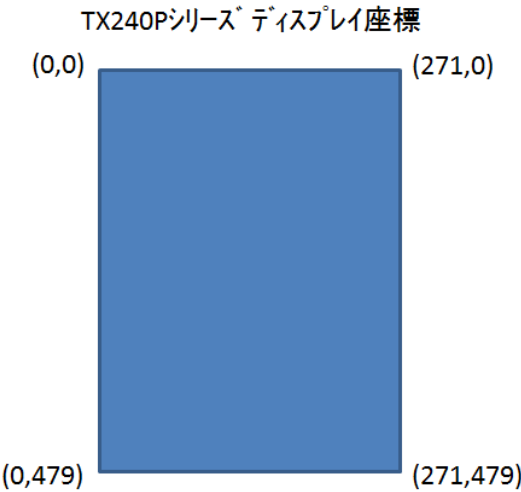
DISPLAY
IMAGE/OFF/CLS/forecolor,backcolor/x,y,width,height/x,y,"bmpfile"/x,y,"font","content"

引数	説明
IMAGE	プリンタのイメージバッファにあるイメージを LCD ディスプレイに表示します。 この引数は、V6.39 EZ 以降でサポートしています。
OFF	この機能を無効にします。この引数は、V6.39 EZ 以降でサポートしています。
CLS	LCD パネルの表示をバックグラウンドカラーでクリアします。この引数は、A1.90 EZ 以降でサポートしています。
forecolor,backcolor	LCD パネルのフォアカラーとバックグラウンドカラーを 10 進数で指定します。この引数は、A1.90 EZ 以降でサポートしています。
x,y,width,height	プリンタのイメージバッファにバーを描画し、LCD パネルに表示します。この引数は、A1.90 EZ 以降でサポートしています。
x,y,"bmpfile"	プリンタのイメージバッファにビットマップ (.bmp) を描画し、LCD パネルに表示します。この引数は、A1.90 EZ 以降でサポートしています。
x,y,"font","content"	プリンタのイメージバッファにテキストを指定のフォントで出力し、LCD パネルに表示します。この引数は、A1.90 EZ 以降でサポートしています。

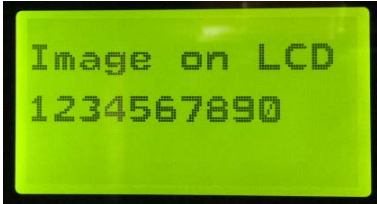
forecolor	テキスト/バー表示用 RGB カラーコード (10 進数)
backcolor	バックグラウンド用 RGB カラーコード (10 進数)
x	水平方向の倍率
y	垂直方向の倍率
width	フレーム幅
height	フレーム高
bmpfile	ビットマップファイル名 (.bmp)
font	フォント名
content	テキスト文字列

注意:

- このコマンドは、LCD を搭載したプリンタでのみ有効です。
- TX240P シリーズの LCD パネルの解像度は、272x480 です。



例

サンプルコード	結果
<pre>CLS TEXT 1,10, "1",0,1,1, "Image on LCD" TEXT 1,30, "1",0,1,1, "1234567890" DISPLAY IMAGE DELAY 5000 DISPLAY OFF</pre>	
<pre>CLS DISPLAY 15128749,16711680 DISPLAY CLS DISPLAY 10,30, "1", "1234567890" DELAY 5000 DISPLAY OFF</pre>	

● INITIALPRINTER

説明

このコマンドは、プリンタ設定をデフォルトにリセットします。

書式

INITIALPRINTER

引数	説明
無し	N/A

例

サンプルコード
INITIALPRINTER

● MENU

説明

このコマンドは、プリンタに保存されたデータファイルを元に、ユーザー独自のメニューを作成します。

書式

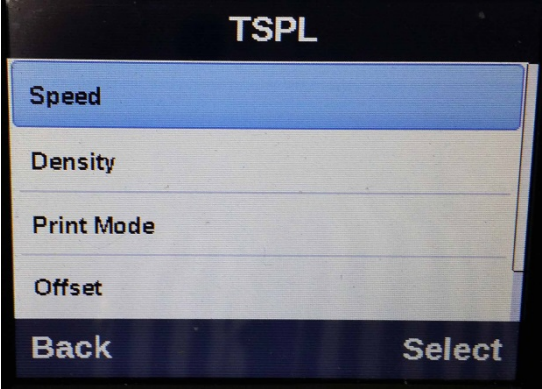
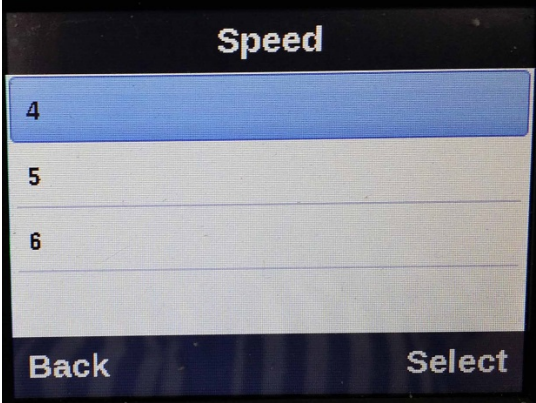
MENU title\$, list\$, selected

引数	説明
title\$	The title string is shown on LCD screen.
list\$	List of items, separated by CRLF.
selected	It must be a variable to get the result of selection. When selected is 0, the operator has hit ESC (USB keyboard) or MENU button.

注意:

- このコマンドは、LCD を搭載したプリンタでのみ有効です。
- このコマンドは、VA1.97 an 以降でサポートしています。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD F, "TSPL" Speed Density Print Mode Offset Country EOP DOWNLOAD F, "Speed" 4 5 6 EOP DOWNLOAD F, "Density" 6 7 8 9 10 11 12 EOP DOWNLOAD F, "Print Mode" NONE TEAR OFF PEEL OFF CUT OFF EOP DOWNLOAD F, "Country" 007 031 033 034 045 EOP DOWNLOAD F, "DEMO.BAS" DPI = VAL(GETSETTING\$("SYSTEM", "INFORMATION", "DPI"))</pre>	 

```

:MAINLOOP
OPEN "TSPL",0
LIST$ = FREAD$(0, LOF("TSPL"))
CLOSE 0
MENU "TSPL", LIST$, OPTIONS$

IF LEN(OPTIONS$) = 0 THEN END

IF OPTIONS$ = "Speed" THEN SETTINGS$ =
GETSETTING$("CONFIG","TSPL","SPEED")
IF OPTIONS$ = "Density" THEN SETTINGS$ =
GETSETTING$("CONFIG","TSPL","DENSITY")
IF OPTIONS$ = "Print Mode" THEN SETTINGS$ =
GETSETTING$("CONFIG","TSPL","PRINT MODE")
IF OPTIONS$ = "Offset" THEN SETTINGS$ =
GETSETTING$("CONFIG","TSPL","OFFSET")
IF OPTIONS$ = "Country" THEN SETTINGS$ =
GETSETTING$("CONFIG","TSPL","COUNTRY CODE")

IF LOF(OPTIONS$) <> 0 THEN
OPEN OPTIONS$,0
LIST$ = FREAD$(0, LOF(OPTIONS$))
CLOSE 0
MENU OPTIONS$, LIST$, SETTINGS$
ELSE
IF OPTIONS$ = "Offset" THEN INPUT
"Offset", SETTINGS$
ENDIF

IF LEN(SETTINGS$) <> 0 THEN
IF OPTIONS$ = "Speed" THEN SPEED
VAL(SETTINGS$)
IF OPTIONS$ = "Density" THEN DENSITY
VAL(SETTINGS$)
IF OPTIONS$ = "Print Mode" THEN GOSUB
SET_PRINT_MODE
IF OPTIONS$ = "Offset" THEN OFFSET
VAL(SETTINGS$) / DPI
IF OPTIONS$ = "Country" THEN GOSUB
SET_COUNTRY
ENDIF

GOTO MAINLOOP

:SET_PRINT_MODE
IF SETTINGS$ = "NONE" THEN SET TEAR OFF
IF SETTINGS$ = "TEAR OFF" THEN SET TEAR ON
IF SETTINGS$ = "PEEL OFF" THEN SET PEEL ON
IF SETTINGS$ = "CUT OFF" THEN SET CUTTER ON
RETURN

:SET_COUNTRY
IF SETTINGS$ = "007" THEN COUNTRY 007
IF SETTINGS$ = "031" THEN COUNTRY 031
IF SETTINGS$ = "033" THEN COUNTRY 033
IF SETTINGS$ = "034" THEN COUNTRY 034
IF SETTINGS$ = "045" THEN COUNTRY 045
RETURN

EOP

RUN "DEMO.BAS"

```

ラベルフォーマットコマンド

● BAR

説明

このコマンドは、ラベルフォーマット上にバーを描画します。

書式

BAR x,y,width,height

引数	説明
x	ドット単位で、左上 X 座標を指定します。
y	ドット単位で、左上 Y 座標を指定します。
width	ドット単位で、バー幅を指定します。
height	ドット単位で、バー高を指定します。

注意:

- 200 DPI : 1 mm = 8 dots
- 300 DPI : 1 mm = 12 dots
- 600 DPI : 1 mm = 24 dots
- 推奨最大バー高は、4 インチ幅で12mm です。12mm 以上のバー高は、電源にダメージを与え、印刷品質に悪影響を与えることがあります。
- 最大印刷比率は、プリンタ型式により異なります。デスクトップタイプは20%、インダストリアルタイプは30%がそれぞれ印刷サイズの限界です。

例

サンプルコード	結果
SIZE 50 mm,25 mm GAP 3 mm,0 DIRECTION 1 CLS BAR 80,80,300,100 PRINT 1,1	

参考項目

BOX

● BARCODE

説明

このコマンドは、1次元バーコードの印刷をします。印刷可能なバーコードの種類は、下記の表を参照ください。

コードタイプ	説明	バーコード(2値コードのみ1:1以外指定可)					最大桁数など
		1:1	1:2	1:3	2:5	3:7	
128	Code 128, 自動コードサブセット	V					
128M	Code 128, 手動コードサブセット	V					
EAN128	EAN128, 自動コードサブセット	V					
EAN128M	EAN128M, 手動コードサブセット	V					
25	Interleaved 2 of 5		V	V	V		偶数桁のみ
25C	Interleaved 2 of 5, チェックディジット付		V	V	V		奇数桁のみ
39	Code 39, 標準/フルASCII-自動切換え		V	V	V		
39C	Code 39, チェックディジット付		V	V	V		
93	Code 93			V			
EAN13	EAN 13	V					12
EAN13+2	EAN 13 追加2	V					14
EAN13+5	EAN 13 追加5	V					17
EAN8	EAN 8	V					7
EAN8+2	EAN 8 追加2	V					9
EAN8+5	EAN 8 追加5	V					12
CODABAR	Codabar		V	V	V		
POSTNET	Postnet	V					5, 9, 11
UPCA	UPC-A	V					11
UPCA+2	UPC-A 追加2	V					13
UPA+5	UPC-A 追加5	V					16
UPCE	UPC-E	V					6
UPCE+2	UPC-E 追加2	V					8
UPE+5	UPC-E 追加5	V					11
MSI	MSI		V	V	V		
MSIC	MSI, チェックディジット付		V	V	V		
PLESSEY	PLESSEY		V	V	V		
CPOST	China post					V	
ITF14	ITF14		V	V	V		13
EAN14	EAN14	V					13
11	Code 11		V	V	V		
TELEPEN	Telepen * V6.89EZ 以降のみ		V	V	V		
TELEPENNN	Telepen number *V6.89EZ 以降のみ		V	V	V		
PLANET	Planet * V6.89EZ 以降のみ	V					
CODE49	Code 49 * V6.89EZ 以降のみ	V					
DPI	Deutsche Post Identcode * V6.91EZ 以降のみ		V	V	V		11
DPL	Deutsche Post Leitcode * V6.91EZ 以降のみ		V	V	V		13
LOGMARS	A special use of Code 39 * V6.88EZ 以降のみ		V	V	V		

	EAN14	EAN 14
	11	Code 11
	TELEPEN	Telepen code
	TELEPENN	Telepen code. Number only
	PLANET	Planet code
	CODE49	Code 49
	DPI	Deutsche Post Identcode
	DPL	Deutsche Post Leitcode

注意:
***TDP-643 Plus , TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M は MSI, MSIC, PLESSY,**
ITF14, EAN14, 11 をサポートしていません。
***TTP-248M は、MSIC と 11 をサポートしていません。**

Height

human readable

rotation

narrow

wide

ドット単位で、バーコード高を指定します。

0: ヒューマンリーダブル無し
1: ヒューマンリーダブル左寄せ
2: ヒューマンリーダブル中央寄せ
3: ヒューマンリーダブル右寄せ

0 : No rotation 回転無し
90 : 時計方向に 90 度回転
180 : 時計方向に 180 度回転
270 : 時計方向に 270 度回転

ドット単位で、加幅を指定します。

ドット単位で、ワイド幅を指定します。

	加-:ワイド 1:1	加-:ワイド 1:2	加-:ワイド 1:3	加-:ワイド 2:5	加-:ワイド 3:7
128(M)	10x	-	-	-	-
EAN128(M)	10x	-	-	-	-
25	-	10x	10x	5x	-
25C	-	10x	10x	5x	-
39	-	10x	10x	5x	-
39C	-	10x	10x	5x	-
93	-	-	10x	-	-
EAN13	8x	-	-	-	-
EAN13+2	8x	-	-	-	-
EAN13+5	8x	-	-	-	-
EAN 8	8x	-	-	-	-
EAN 8+2	8x	-	-	-	-
EAN 8+5	8x	-	-	-	-
CODA	-	10x	10x	5x	-
POST	1x	-	-	-	-
UPCA	8x	-	-	-	-
UPCA+2	8x	-	-	-	-
UPCA+5	8x	-	-	-	-
UPCE	8x	-	-	-	-
UPCE+2	8x	-	-	-	-
UPCE+5	8x	-	-	-	-
CPOST	-	-	-	-	1x
MSI	-	-	10x	-	-
MSIC			10x		-
PLESSY	-	-	10x	-	-
ITF14	-	10x	10x	5x	-
EAN14	8x	-	-	-	-
11	-	10x	10x	5x	-

alignment

バーコードの配置を指定します。

0 : デフォルト (左)
1 : 左
2 : 中央
3 : 右

content

バーコードにエンコードするデータを指定します。
最大桁数に注意してください。

コードタイプ	キャラクターセット	最大桁数
128/123M	CODE128 キャラクターセットを参照	-
EAN128/EAN128M	CODE128 キャラクターセットを参照	-
25	0123456789	偶数桁
25C	0123456789	奇数桁
39 I	0123456789[Space]ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ WXYZ-.,\$/%	-
39 I Full ASCII	0123456789[Space]ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ WXYZ!#\$%&'()*+,-./:;<=?@[¥]^_`abcdefghi jklmnopqrstuvwxyz{ }~	-
93	0123456789[Space]ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ WXYZ!#\$%&'()*+,-./:;<=?@[¥]^_`abcdefghi jklmnopqrstuvwxyz{ }~	-
EAN13	0123456789	12
EAN13+2	0123456789	14
EAN13+5	0123456789	17
EAN8	0123456789	7
EAN8+2	0123456789	9
EAN8+5	0123456789	12
CODA	0123456789-\$/+.+	-
POST	0123456789	5, 9, 11
UPCA	0123456789	11
UPCA+2	0123456789	13
UPA+5	0123456789	16
UPCE	0123456789	6
UPCE+2	0123456789	8
UPE+5	0123456789	11
MSI	0123456789	-
MSIC	0123456789	-
PLESSEY	0123456789	-
CPOST	0123456789	-
ITF14	0123456789	13
EAN14	0123456789	13
11	0123456789-	-
TELEPEN	ASCII 0 to 127	30
TELEPENN	0123456789	60
PLANET	0123456789	38
CODE49	ASCII 0 to 127	81
DPI	0123456789	11
DPL	0123456789	13
LOGMARS	0123456789[Space]ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ WXYZ-.,\$/%	-

注意:

V5.10EZ 以降、¥[R]はキャリッジリターン0x0D で ¥[L]はラインフィード 0x0A を表します。

CODE128 キャラクタセット

値	128A	128B	128C	値	128A	128B	128C	値	128A	128B	128C
0	space	space	00	36	D	D	36	72	BS	h	72
1	!	!	01	37	E	E	37	73	HT	i	73
2	"	"	02	38	F	F	38	74	LF	j	74
3	#	#	03	39	G	G	39	75	VT	k	75
4	\$	\$	04	40	H	H	40	76	FF	l	76
5	%	%	05	41	I	I	41	77	CR	m	77
6	&	&	06	42	J	J	42	78	SO	n	78
7	'	'	07	43	K	K	43	79	SI	o	79
8	(	(	08	44	L	L	44	80	DLE	p	80
9	)	)	09	45	M	M	45	81	DC1	q	81
10	*	*	10	46	N	N	46	82	DC2	r	82
11	+	+	11	47	O	O	47	83	DC3	s	83
12	,	,	12	48	P	P	48	84	DC4	t	84
13	-	-	13	49	Q	Q	49	85	NAK	u	85
14	.	.	14	50	R	R	50	86	SYN	v	86
15	/	/	15	51	S	S	51	87	ETB	w	87
16	0	0	16	52	T	T	52	88	CAN	x	88
17	1	1	17	53	U	U	53	89	EM	y	89
18	2	2	18	54	V	V	54	90	SUB	z	90
19	3	3	19	55	W	W	55	91	ESC	{	91
20	4	4	20	56	X	X	56	92	FS		92
21	5	5	21	57	Y	Y	57	93	GS	}	93
22	6	6	22	58	Z	Z	58	94	RS	~	94
23	7	7	23	59	[	[	59	95	US	DEL	95
24	8	8	24	60	¥	¥	60	96	FNC 3	FNC 3	96
25	9	9	25	61	]	]	61	97	FNC 2	FNC 2	97
26	:	:	26	62	^	^	62	98	Shift B	Shift A	98
27	;	;	27	63	_	_	63	99	Code C	Code C	99
28	<	<	28	64	NUL	`	64	100	Code B	FNC4	Code B
29	=	=	29	65	SOH	a	65	101	FNC 4	Code A	Code A
30	>	>	30	66	STX	b	66	102	FNC 1	FNC 1	FNC 1
31	?	?	31	67	ETX	c	67	103	Start Code A		
32	@	@	32	68	EOT	d	68	104	Start Code B		
33	A	A	33	69	ENQ	e	69	105	Start Code C		
34	B	B	34	70	ACK	f	70				
35	C	C	35	71	BEL	g	71				

例

サンプルコード	結果
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "2",0,1,1, "Human readable alignment" BARCODE 10,50, "128",100,1,0,2,2,"left" BARCODE 310,50, "128",100,2,0,2,2,"center" BARCODE 610,50, "128",100,3,0,2,2,"right" PRINT 1 </pre>	Human readable alignment  left center right
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "2",0,1,1, "Code 128, switch code subset automatically." BARCODE 10,50, "128",100,1,0,2,2, "123456abcd123456" PRINT 1 </pre>	Code 128, switch code subset automatically.  123456abcd123456

<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "2",0,1,1, "Code 128, switch code subset manually." BARCODE 10,50, "128M",100,1,0,2,2, "!104!096ABCD!101EFGH" PRINT 1 </pre> 注意: 上記の例は、CODE Bスタートキャラクタのcode128Mです。 第2キャラクタは、FNC3で続いて、ABCD、CODE Aサブセット に切り替えて、EFGH がエンコードされています。	Code 128, switch code subset manually.  ABCDEFGH
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "2",0,1,1, "TELEPEN" BARCODE 10,50, "TELEPEN",100,1,0,2,6, "abcd1234ABCD" PRINT 1 </pre>	TELEPEN  abcd1234ABCD
<pre> SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 400,26, "2",0,1,1,2, "TELEPEN Number" BARCODE 400,50, "TELEPENN",60,2,0,2,6,2, "1234567890" TEXT 400,136, "2",0,1,1,2, "Code 11" BARCODE 400,160, "11",60,2,0,2,6,2, "1234567890" TEXT 400,246, "2",0,1,1,2, "PLANET" BARCODE 400,270, "PLANET",60,2,0,2,2,2, "12345678901" TEXT 400,356, "2",0,1,1,2, "Deutsche Post Identcode." BARCODE 400,380, "DPI",60,2,0,2,6,2, "12345678901" TEXT 400,466, "2",0,1,1,2, "Deutsche Post Leitcode. " BARCODE 400,490, "DPL",60,2,0,2,6,2, "123456789012" TEXT 400,576, "2",0,1,1,2, "Code 49" BARCODE 400,600, "CODE49",60,2,0,2,2,2, "1234567890" PRINT 1 </pre>	 TELEPEN Number  1234567890 Code 11  1234567890 PLANET  12345678901 Deutsche Post Identcode.  123456789016 Deutsche Post Leitcode.  01234567890128 Code 49  1234567890

● TLC39

説明

このコマンドは、TLC39 コードを描画します。

書式

TLC39 x,y,rotation,[height],[narrow],[wide],[cellwidth],[cellheight,] "ECI number,Serial number & additional data"

引数	説明
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。
rotation	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転
height	ドット単位でバーコード高を指定します。(デフォルト値 40)
narrow	ドット単位でナロー幅を指定します。(デフォルト値 2)
wide	ドット単位でワイド幅を指定します。(デフォルト値 4)
cellwidth	ドット単位で microPDF417 のセル幅を指定します。(デフォルト値 2)
cellheight	ドット単位で microPDF417 のセル高を指定します。(デフォルト値 4)
ECI number	6 桁の ECI ナンバーを指定します。
Serial number & additional data	microPDF417 の英数字データを指定します。

注意:

- *ECI number と Serial number & additional data の間には、コロン(,)が必要です。*
- *このコマンドは、V6.89EZ 以降でサポートしています。*

例

サンプルコード SIZE 4,1.2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "TLC39 code" TLC39 10,50,0, "123456,SN00000001,00601,01501" TLC39 310,50,0,80,3,6,3,4, "123456,SN00000001,00601,01501" PRINT 1
結果 TLC39 code 

● BITMAP

説明

このコマンドは、ビットマップイメージを描画します。

書式

BITMAP X,Y,width,height,mode,bitmap data...

引数	説明
X	ドット単位で、ビットマップ描画を開始するX座標を指定します。
Y	ドット単位で、ビットマップ描画を開始するY座標を指定します。
width	バイト単位で、イメージ幅を指定します。
height	バイト単位で、イメージ高を指定します。
mode	グラフィックモードを指定します。 0: 上書き 1: OR 2: XOR
bitmap data	ビットマップデータ

例

→ X サイズ 2 バイト

1-byte2-byte

	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5	6	7
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
8	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
9	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1
10	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1
11	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1
12	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1
13	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1
14	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
15	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
16	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

	X 軸			
Y 軸	1 バイト		2 バイト	
	バイナリ	16 進数	バイナリ	16 進数
1	00000000	00	00000000	00
2	00000000	00	00000000	00

3	00000000	00	00000000	00
4	00000111	07	11111111	FF
5	00000011	03	11111111	FF
6	00010001	11	11111111	FF
7	00011000	18	11111111	FF
8	00011100	1C	01111111	7F
9	00011110	1E	00111111	3F
10	00011111	1F	00011111	1F
11	00011111	1F	10001111	8F
12	00011111	1F	11000111	C7
13	00011111	1F	11100011	E3
14	00011111	1F	11110111	F7
15	00011111	1F	11111111	FF
16	00011111	1F	11111111	FF

サンプルコード (ASCII)	16進数	結果
SIZE 4,2	53 49 5A 45 20 34 2C 32 0D 0A	↵
GAP 0,0	47 41 50 20 30 2C 30 0D 0A 43	
CLS	4C 53 0D 0A 42 49 54 4D 41 50	
BITMAP 200,200,2,16,0,	20 32 30 30 2C 32 30 30 2C 32	
□—————□□□-?-	2C 31 36 2C 30 2C 00 00 00 00	
????□	00 00 07 FF 03 FF 11 FF 18 FF	
PRINT 1,1	1C 7F 1E 3F 1F 1F 1F 8F 1F C7	
	1F E3 1F E7 1F FF 1F FF 0D 0A	
	50 52 49 4E 54 20 31 2C 31 0D	
	0A	

参考項目
PUTBMP, PUTPCX

● BOX

説明

このコマンドは、長方形を描画します。

書式

BOX x,y,x_end,y_end,line thickness[,radius]

引数	説明
x	ドット単位で、長方形描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、長方形描画を開始する Y 座標を指定します。
x_end	ドット単位で、長方形の右下角の X 座標を指定します。
y_end	ドット単位で、長方形の右下角の Y 座標を指定します。
line thickness	ドット単位で、線の太さを指定します。
radius	角の丸みを指定します。この引数はオプションで、デフォルト値は 0 です。 *V5.28 EZ 以降でサポート

注意:

- 200 DPI : 1 mm = 8 dots
- 300 DPI : 1 mm = 12 dots
- 600 DPI : 1 mm = 24 dots
- 4 インチ幅で厚み 12mm が推奨される最大厚みです。12mm を超えると、電源供給や印刷品質に悪影響を与える原因となります。最大印刷比率は、プリンタ型式により異なります。デスクトップとインストリアルプリンタの限界印刷比率は、それぞれ 20%と 30%です。

例

サンプルコード	結果
<pre>SIZE 4,1.1 CLS BOX 60,60,610,210,4 BOX 80,80,590,190,4 BOX 100,100,570,170,4,20 BOX 120,120,550,150,4,20 PRINT 1</pre>	

参考項目

BAR

● CIRCLE

説明

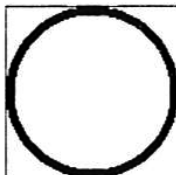
このコマンドは、円を描画します。

書式

CIRCLE X_start,Y_start,diameter,thickness

引数	説明
X_start	ドット単位で、円描画を開始する X 座標を指定します。
Y_start	ドット単位で、円描画を開始する Y 座標を指定します。
diameter	ドット単位で、円の半径を指定します。
thickness	ドット単位で、線の太さを指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>SIZE 80 mm,30 mm GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS BAR 250,20,100,1 BAR 250,20,1,100 CIRCLE 250,20,100,5 PRINT 1</pre>	

● ELLIPSE

説明

このコマンドは、楕円を描画します。

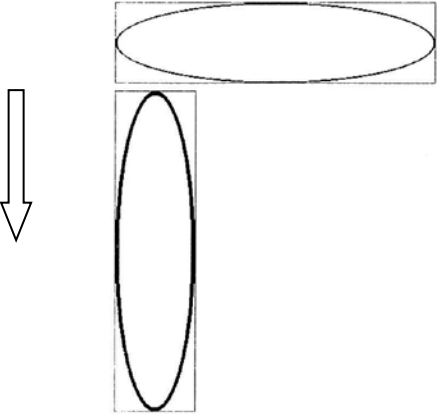
書式

ELLIPSE x,y,width,height,thickness

引数	説明
x	ドット単位で、円描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、円描画を開始する Y 座標を指定します。
width	ドット単位で、楕円幅を指定します。
height	ドット単位で、楕円高を指定します。
thickness	ドット単位で、線の太さを指定します。

注意:
このコマンドは、V6.91EZ 以降で廃止されています。

例

サンプルコード	結果
<pre>SIZE 4,3 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS BOX 10,10,410,110,1 ELLIPSE 10,10,400,100,2 BOX 10,120,110,520,1 ELLIPSE 10,120,100,400,5 PRINT 1</pre>	

● CODABLOCK F mode

説明

このコマンドは、CODABLOCK F コードを描画します。

書式

CODABLOCK x,y,rotation,[row height,]module width,] "content"

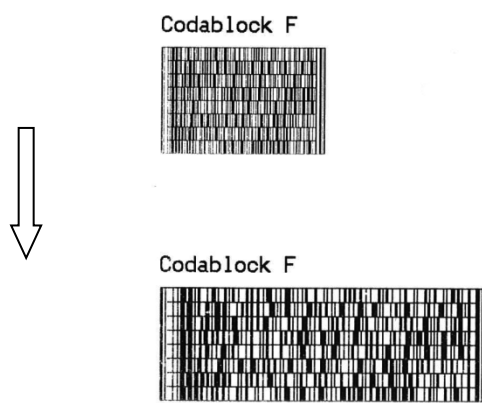
引数	説明
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。
rotation	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転
row height	ドット単位で、列高を指定します。各列の高さは、X モジュール幅と等しくなります。デフォルト値は、8 です。
module width	ドット単位で、モジュール幅を指定します。デフォルト値は、2 です。
content	エンコードするデータを指定します。
注意: このコマンドは、V6.89EZ 以降でサポートしています。	

例

サンプルコード

```
SIZE 4,1.5  
GAP 0,0  
DIRECTION 1  
CLS  
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Codablock F"  
CODABLOCK 10,50,0, "We stand behind our products with one of the most comprehensive  
support programs in the Auto-ID industry."  
PRINT 1  
CLS  
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Codablock F"  
CODABLOCK 10,50,0,16,1, "We stand behind our products with one of the most  
comprehensive support programs in the Auto-ID industry."  
PRINT 1
```

結果



● DMATRIX

説明

このコマンドは、DataMatrix コードを描画します。ECC200 1ラ-訂正のみをサポートしています。

書式

DMATRIX x,y,width,height,[c#,x#,r#,a#,row,col,] "content"

引数

x

y

width

height

c#

X#

r#

a#

row

col

content

説明

ドット単位で、バーコード 描画を開始する X 座標を指定します。

ドット単位で、バーコード 描画を開始する Y 座標を指定します。

ドット単位で、描画を行いたい領域幅を指定します。

ドット単位で、描画を行いたい領域高を指定します。

エスケープシーケンスコントロールキャラクタ (10 進数)
例) C126 = ~
(1) ~X は、コントロールキャラクタ用のシフトキャラクタです。

~X	Hex	ASCII	~X	HEX	ASCII	~X	HEX	ASCII	~X	HEX	ASCII
~@	00	NUL	~H	08	BS	~P	10	DLE	~X	18	CAN
~A	01	SOH	~I	09	HT	~Q	11	DC1	~Y	19	EM
~B	02	STX	~J	0A	LF	~R	12	DC2	~Z	1A	SUB
~C	03	ETX	~K	0B	VT	~S	13	DC3	~[	1B	ESC
~D	04	EOT	~L	0C	FF	~T	14	DC4	~¥	1C	FS
~E	05	ENQ	~M	0D	CR	~U	15	NAK	~]	1D	GS
~F	06	ACK	~N	0E	SO	~V	16	SYN	~^	1E	RS
~G	07	BEL	~O	0F	SI	~W	17	ETB	~_	1F	US

(2) ~1 は、FNC1 を意味します。

(3) ~dNNN は、コードワード 用の ASCII 10 進数値 NNN を創生します。
000 ~ 255 の 3 桁でなければいけません。

(4) データ内に ~ をエスケープ したい場合は、~~ と指定します。

ドット単位で、モジュールサイズを指定します。

0 : 回転無し
90 : 時計回りに 90 度回転
180 : 時計回りに 180 度回転
270 : 時計回りに 270 度回転

0 : 正方形(デフォルト)
1 : 長方形

列のシフトサイズを 10~144 の範囲で指定します。

行のシフトサイズを 10~144 の範囲で指定します。

エスケープ したいデータを指定します。

注意:

このコマンドは、V6.89 EZ 以降でサポートしています。引数 "a#" は、V8.01 EZ 以降でサポートしています。
下記に DataMatrix の標準サイズを示します。

Square			Rectangle
10 x 10	26 x 26	72 x 72	8 x 18
12 x 12	32 x 32	80 x 80	8 x 32
14 x 14	36 x 36	88 x 88	12 x 26
16 x 16	40 x 40	96 x 96	12 x 36
18 x 18	44 x 44	104 x 104	16 x 36
20 x 20	48 x 48	120 x 120	16 x 48
22 x 22	52 x 52	132 x 132	
24 x 24	64 x 64	144 x 144	

例

サンプルコード <pre> SIZE 4,3 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS DMATRIX 10,110,400,400, "DMATRIX 例 1" DMATRIX 310,110,400,400,x6, "DMATRIX 例 2" DMATRIX 10,310,400,400,x8,18,18, "DMATRIX 例 3" PRINT 1,1 </pre>	結果 
サンプルコード for FNC <pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 CLS DIRECTION 1 DMATRIX 100,50,100,100,c126,x6,18,18, »~1241sPn~110sLot~130sQt y » PRINT 1 </pre>	
サンプルコード in rectangular shape <pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS DMATRIX 100,110,600,600,a1, "DMATRIX 例 1" PRINT 1,1 </pre>	

● ERASE

説明

このコマンドは、イメージバッファの指定領域をクリアします。

書式

ERASE x,y,x_width,y_height

引数	説明
x	ドット単位で、クリアする領域の開始 X 座標を指定します。
y	ドット単位で、クリアする領域の開始 Y 座標を指定します。
x_width	ドット単位で、クリアする領域幅を指定します。
y_height	ドット単位で、クリアする領域高を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS BAR 100,100,300,300 ERASE 150,150,200,200 PRINT 1,1</pre>	

参考項目

CLS

● MAXICODE

説明

このコマンドは、Maxicode コードを描画します。

書式

MAXICODE x,y,mode,[class,country,post,Lm,] "content"	
MAXICODE x,y,mode,class,country,postal code, "content"	モード 2 又は 3 カントリーが 840 の場合、postal コードは 99999,9999 フォーマットで指定します。 その他のカントリーコードの場合、英数字 6 桁までとなります。
MAXICODE x,y,mode,[Lm,] "content"	モード 4,5,6, AIM 特別フォーマットをサポートしています。 (23 ページを参照) <i>TSPL2 プリンタは、モード 6 をサポートしていません。</i>

引数	説明
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。
mode	2,3,4,5
class	サービスクラスを 3 桁の数字で指定します。(モード 2,3 用)
country	カントリーコードを 3 桁の数字で指定します。(モード 2,3 用)
post	ポストコードを指定します。(モード 2,3 用) モード 2(USA): 5 桁 + 4 桁の数字 モード 3(Canada): ダブルコーテーションで囲んだ 6 桁の英数字ポストコード
Lm	桁数 (1≤m≤138) を指定します。(ダブルコーテーションを除く) この引数は、モード 4 と 5 でのみ有効です。
content	エンコードしたいデータを指定します。 注意: 引数 Lm を使用する場合、ダブルコーテーション(“)は不要です。

サンプルコード

```
SIZE 4,2
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Mode 2 For USA*****
MAXICODE 110,100,2,300,840,06810,7317, "DEMO 2 FOR USA MAXICODE"
TEXT 100,50, "3",0,1,1, "Mode 2 For USA"
PRINT 1,1

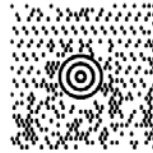
REM *****Mode 3 For Canada*****
CLS
MAXICODE 110,100,3,300,863, "107317", "DEMO 3 FOR CANADA MAXICODE"
TEXT 100,50, "3",0,1,1, "Mode 3 For CANADA"
PRINT 1,1

REM *****MODE4*****
CLS
MAXICODE 110,100,4, "DEMO 4 FOR MAXICODE"
MAXICODE 600,100,4,L19,DEMO 4 FOR MAXICODE
TEXT 100,50, "3",0,1,1, "Mode 4 FOR MAXICODE"
PRINT 1,1

REM *****MODE 5*****
CLS
MAXICODE 110,100,5, "DEMO 5 FOR MAXICODE"
MAXICODE 600,100,5,L19,DEMO 5 FOR MAXICODE
TEXT 100,50, "3",0,1,1, "DEMO 5 FOR MAXICODE"
PRINT 1
```

結果

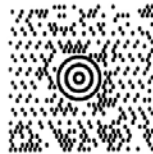
DEMO 5 FOR MAXICODE



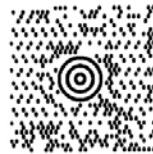
Mode 4 FOR MAXICODE



Mode 3 For CANADA



Mode 2 For USA



● PDF417

説明

このコマンドは、PDF417 コードを描画します。

書式

PDF417 x,y,width,height,rotate,[option], "content"

引数	説明																				
x	ドット単位で、バーコード 描画を開始する X 座標を指定します。																				
y	ドット単位で、バーコード 描画を開始する Y 座標を指定します。																				
width	ドット単位で、描画を行いたい領域幅を指定します。																				
height	ドット単位で、描画を行いたい領域高を指定します。																				
rotate	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転																				
option	<table> <tr> <td>P</td><td>データ圧縮方法 0: 自動エンコード Auto encoding 1: バイナリモード</td></tr> <tr> <td>E</td><td>エラー訂正レベル(0~8)</td></tr> <tr> <td>M</td><td>バーコード 領域の印刷位置 0: 左上寄せで印刷 1: 中央に印刷</td></tr> <tr> <td>Ux, y, c</td><td>ヒューマンリーダブル x: ヒューマンリーダブルの印刷位置 X 座標 y: ヒューマンリーダブルの印刷位置 Y 座標 c: 1 行の最大桁数</td></tr> <tr> <td>W</td><td>ドット単位でモジュール幅を指定します。(2~9)</td></tr> <tr> <td>H</td><td>ドット単位でバー高を指定します。(4~99)</td></tr> <tr> <td>R</td><td>列の最大数を指定します。</td></tr> <tr> <td>C</td><td>行の最大数を指定します。</td></tr> <tr> <td>T</td><td>ターミネーション(切り詰め) 0: ターミネーション無し 1: ターミネーション有り</td></tr> <tr> <td>Lm</td><td>桁数 $1 \leq m \leq 2048$ を指定します("は含まない)</td></tr> </table>	P	データ圧縮方法 0: 自動エンコード Auto encoding 1: バイナリモード	E	エラー訂正レベル(0~8)	M	バーコード 領域の印刷位置 0: 左上寄せで印刷 1: 中央に印刷	Ux, y, c	ヒューマンリーダブル x: ヒューマンリーダブルの印刷位置 X 座標 y: ヒューマンリーダブルの印刷位置 Y 座標 c: 1 行の最大桁数	W	ドット単位でモジュール幅を指定します。(2~9)	H	ドット単位でバー高を指定します。(4~99)	R	列の最大数を指定します。	C	行の最大数を指定します。	T	ターミネーション(切り詰め) 0: ターミネーション無し 1: ターミネーション有り	Lm	桁数 $1 \leq m \leq 2048$ を指定します("は含まない)
P	データ圧縮方法 0: 自動エンコード Auto encoding 1: バイナリモード																				
E	エラー訂正レベル(0~8)																				
M	バーコード 領域の印刷位置 0: 左上寄せで印刷 1: 中央に印刷																				
Ux, y, c	ヒューマンリーダブル x: ヒューマンリーダブルの印刷位置 X 座標 y: ヒューマンリーダブルの印刷位置 Y 座標 c: 1 行の最大桁数																				
W	ドット単位でモジュール幅を指定します。(2~9)																				
H	ドット単位でバー高を指定します。(4~99)																				
R	列の最大数を指定します。																				
C	行の最大数を指定します。																				
T	ターミネーション(切り詰め) 0: ターミネーション無し 1: ターミネーション有り																				
Lm	桁数 $1 \leq m \leq 2048$ を指定します("は含まない)																				
content	エンコードするデータを指定します。 注意: 引数を使用する場合、ダブルクォーテーション(")は不要です。																				

サンプルコード	結果
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 REM *****WITHOUR OPTIONS***** CLS PDF417 50,50,400,200,0, "Without Options" PRINT 1,1 </pre>	
<pre> SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 REM *****OPTION:E3***** CLS PDF417 50,50,400,200,0,E3, "Error correction level:3" PRINT 1,1 REM *****OPTION:E4***** CLS PDF417 50,50,400,200,0,E4, "Error correction level:4" PRINT 1,1 </pre>	 
<pre> SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 REM *****OPTION:E4 W4***** CLS PDF417 50,50,600,600,0,E4,W4, "Error correction level:4 module width 4 dots" PRINT 1,1 REM *****OPTION:E4 W4 H4***** CLS PDF417 50,50,600,600,0,E4,W4,H4, "Error correction level:4 module width 4 dots bar height 4 dots" PRINT 1,1 </pre>	 
<pre> SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 REM *****OPTION:E4 W4 H4 R40 C4 T1***** CLS PDF417 50,50,800,800,0,E4,W4,H4,R40,C4,T1, "Error correction level:4 Module Width 4 dots Bar Height 4 dots Maximum Number of Rows:5 Rows Maximum number of columns:90 Cols Truncation:1" PRINT 1,1 </pre>	

SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 REM *****OPTION:P1 E4 M1 U50,300,50,W4,H4,R60,C4,T0,L297**** * CLS PDF417 50,50,900,600,0,P1,E4,M1,U50,300,50 ,W4,H4,R60,C4,T0,L297,Data compression method: P1 Error correction level: E4 Center pattern in barcode area: M1 Human Readable: Yes: U50,300,50 Module Width 4 dots: W4 Bar Height 4 dots: H4 Maximum Number of Rows: 60 Rows: R60 Maximum number of columns: 4 Cols: C4 Truncation:1: T0 Expression length:297: L297 PRINT 1,1	 Data compression method: P1 Error correction level: E4 Center pattern in barcode area: M1 Human Readable: Yes: U50,300,50 Module Width 4 dots: W4 Bar Height 4 dots: H4 Maximum Number of Rows: 60 Rows: R60 Maximum number of columns: 4 Cols: C4 Truncation:1: T0 Expression length:297: L297
--	---

● AZTEC

説明

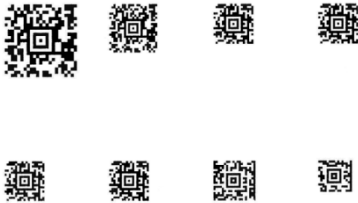
このコマンドは、AZTEC コードを描画します。

書式

AZTEC x,y,rotate,[size],ecp,[flg],[menu],[multi],[rev],["content"]	V6.60EZ 以降でサポート
AZTEC x,y,rotate,size,ecp,flg,menu,multi,rev,bytes,content	V6.60EZ 以降でサポート

引数	説明
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。
rotate	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転
size	ドット単位で、エレメントモジュールサイズ 1~20 を指定します。デフォルト値は、6 です。
ecp	エラーコントロール(& シンボルサイズ / タイプ) 0 : エラーコレクションレベル(デフォルト) 1 ~ 99 : 最小エラーコレクションレベル(%) 101 ~ 104 : 1~4 レイヤコンパクトシンボル 201 ~ 232 : 1~32 レイヤフルサイズシンボル 300 : シンボル Aztec "Rune"
flg	0:インポートメッセージ ストレートバイト 1:FLG(n)="<Esc>n", "<Esc>"="<Esc><Esc>"
menu	メニューシンボル 0 : No(デフォルト) 1 : yes
multi	シンボル数を 1~26 の範囲で指定します。デフォルト値は、6 です。
rev	予約出力 0 : No(デフォルト) 1 : yes
bytes	データ桁数
content	エンコードするデータを指定します。
注意: 引数 bytes を使用する場合、ダブルクォーテーション(")は不要です。	

例

サンプルコード	結果
<pre> SIZE 4,2 GAP 0,0 CLS AZTEC 10,10,0,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 210,10,0,4,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 410,10,0,4,1,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 610,10,0,4,1,0,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 10,310,0,4,1,0,0,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 210,310,0,4,1,0,0,1,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 410,310,0,4,1,0,0,1,1,"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789" AZTEC 610,310,0,4,1,0,0,1,1,10,1234567890 PRINT 1 </pre>	

● MPDF417

説明

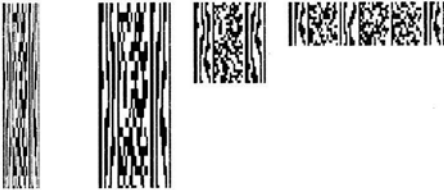
このコマンドは、MicroPDF417 コードを描画します。

書式

MPDF417 x,y,rotate,[Wn,][Hn,][Cn,] "content"

引数	説明
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。
rotate	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転
Wn	ドット単位でモジュール幅を指定します。デフォルト値は、1 です。 この引数は、オプションです。
Hn	ドット単位でモジュール高を指定します。デフォルト値は、10 です。 この引数は、オプションです。
Cn	列数を指定します。この引数は、オプションです。 この引数が指定されると、適切な列数が自動的に算出されます。 0: 自動モード 1: 列数 1、算出される適切な列数は 11, 14, 17, 20, 24, 28 の何れか 2: 列数 2、算出される適切な列数は 8, 11, 14, 17, 20, 23, 26 の何れか 3: 列数 3、算出される適切な列数は 6, 8, 10, 12, 15, 20, 26, 32, 38, 44 の何れか 4: 列数 4、算出される適切な列数は 4, 6, 8, 10, 12, 15, 20, 26, 32, 38, 44 の何れか
Content	エンコードするデータを指定します。
注意: このコマンドは、V6.61EZ でサポートされています。	

例

サンプルコード SIZE 4,1 GAP 0,0 CLS MPDF417 10,10,0, "ABCDEFGHJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789 " MPDF417 110,10,0,W2, "ABCDEFGHJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789 " MPDF417 210,10,0,W2,H3, "ABCDEFGHJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789 " MPDF417 310,10,0,W2,H3,C3, "ABCDEFGHJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789 " PRINT 1	
結果	

● PUTBMP

説明

このコマンドは、指定された BMP ファイルイメージを印刷します。グレースケール印刷は、感熱式のみ対応しています。
1ビットモノクロ及び8ビット(256色)BMPグラフィックのみサポートしています。

書式

PUTBMP x,y, "filename" [, bpp][, contrast]

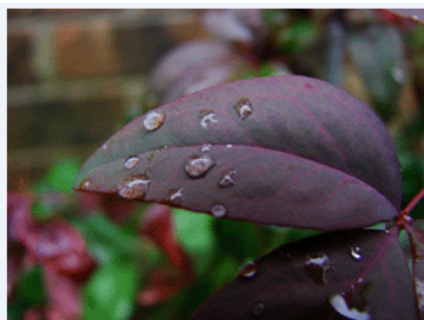
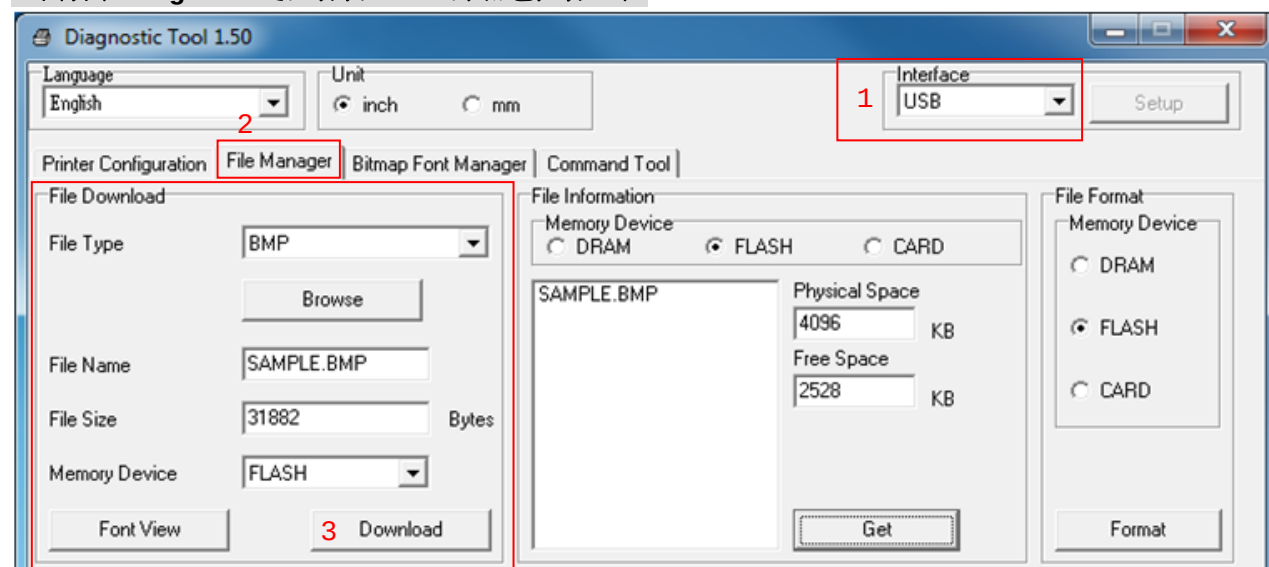
引数	説明
x	ドット単位で、BMP イメージ描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、BMP イメージ描画を開始する Y 座標を指定します。
filename	ダウンロードされた BMP ファイル名を指定します。(ZPL は *.GRF をサポート)
bpp	グレースケールグラフィックのビットピクセルを指定します。この引数はオプションです。 *V6.91EZ 以降でサポートしています。* 1: 1ビットモノクログラフィック(デフォルト) 8: 8ビット (256色)グラフィック
contrast	グレースケールグラフィックのコントラストを指定します。デフォルトは 80 で、推奨値は 60~100 です。 この引数は、オプションです。 *V6.91EZ 以降でサポートしています。*

注意:

TDP-643 Plus, TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M, TTP-248M シリーズは、PUTBMP コマンドをサポートしていません。

例

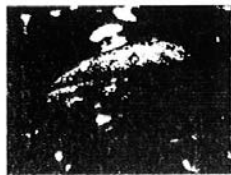
ユーティリティ DiagTool でプリンタに BMP ファイルをダウンロード



サンプルコード

```
SPEED 2
DENSITY 3
SIZE 4,1.5
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
PUTBMP 10,10,"SAMPLE.BMP"
BLOCK 10,180,240,100,"2",0,1,1,"bpp and contrast are omitted."
PUTBMP 300,10, "SAMPLE.BMP",1,80
BLOCK 300,180,240,100,"2",0,1,1, "bpp = 1
contrast = 80"
PUTBMP 590,10, "SAMPLE.BMP",8,80
BLOCK 590,180,240,100,"2",0,1,1,"bpp = 8
contrast = 80"
PRINT 1
```

結果



bpp and contrast
are omitted.



bpp = 1
contrast = 80



bpp = 8
contrast = 80

サンプルコード

```
SIZE 2,2
GAP 0,0
CLS
PUTBMP 10,10, "SAMPLE.GRF"
PRINT 1
```

参考項目

DOWNLOAD, BITMAP, PUTPCX

● PUTPCX

説明

このコマンドは、指定された PCX ファイルイメージを印刷します。TSPL は 2 色 PCX グラフィック、TSPL2 は 256 色 PCX グラフィックをサポートしています。

注意: [プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

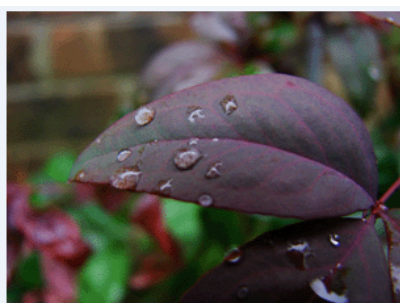
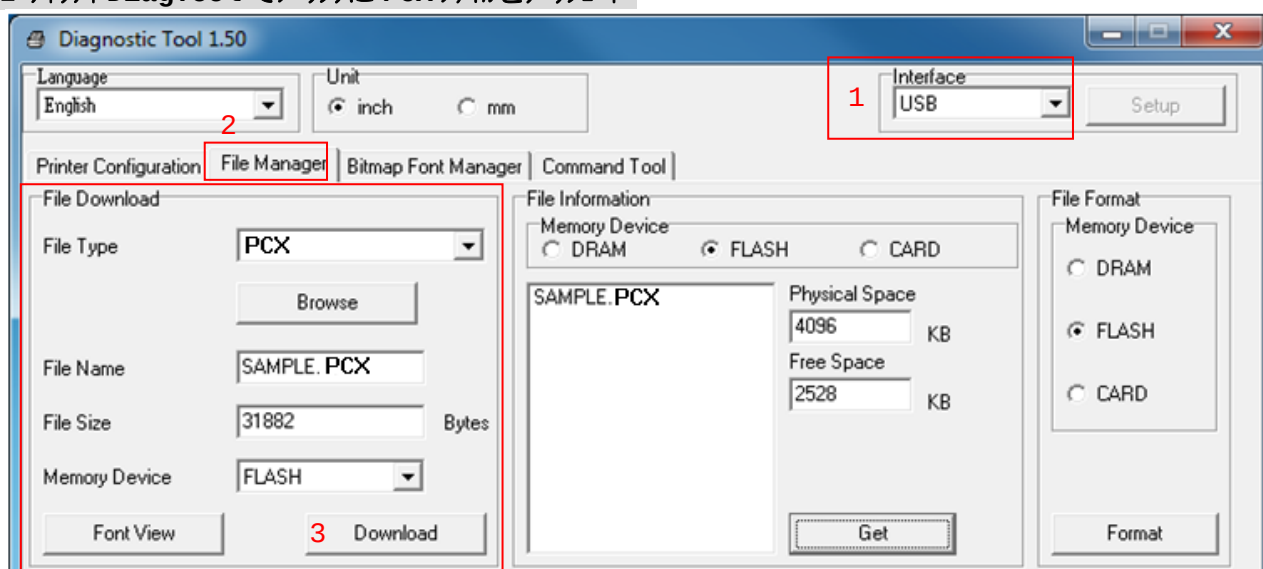
書式

PUTPCX x,y, "filename"

引数	説明
x	ドット単位で、PCX イメージ描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、PCX イメージ描画を開始する Y 座標を指定します。
filename	ダウンロードされた PCX ファイル名を指定します。

例

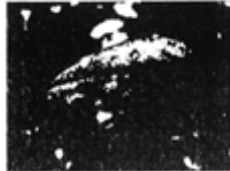
ユーティリティ DiagTool でプリンタに PCX ファイルをダウンロード



サンプルコード

```
SPEED 2  
DENSITY 3  
SIZE 4,1.5  
GAP 0,0  
DIRECTION 1  
CLS  
PUTBMP 10,10, "SAMPLE.PCX"  
PRINT 1
```

結果



参考項目

DOWNLOAD, BITMAP, PUTPCX

● QR CODE

説明

このコマンドは、QR コードを描画します。

書式

QR CODE x,y,ECC Level,cell width,mode,rotation,[justification,]model,[mask,]area] "content"

引数	説明
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。
ECC level	エラー訂正復元レベル L : 7% M : 15% Q : 25% H : 30%
cell width	1~10
mode	自動/マニュアルインコード A : 自動 M : マニュアル
rotation	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転
[justification]	コードのジャスティフィケーション(J1~J9; サンプルコードを参照) (*) A1.97 以降でサポート
[model]	モデルを指定します。 M1: モデル 1(デフォルト) M2: モデル 2
[mask]	マスクを S0~S8 の範囲で指定します。デフォルトは、S7 です。
[area]	コードエリアの最大サイズ (Xドット; 例 X100) (*) A1.97 以降でサポート
content	インコードするデータを指定します。

インコード可能なキャラクタセット:

- 1) 数字データ 0~9
- 2) 英数字データ
数字 0~9
英字大文字 A~Z
その他 9 キャラクタ スペース \$ % * + - . / :
- 3) 8ビットデータ
JIS 8ビットキャラクタセット(ラテン&カナ), JIS X 0201 に従う
- 4) 漢字
シフト JIS 値 8140_{HEX} ~9FFC_{HEX} , E040_{HEX} ~EAA4_{HEX}

サンプル当たりのデータ数:

	Model 1 (Version 14-L)	Model 2 (Version 40-L)
数字データ	1,167 キャラクタ	7,089 キャラクタ
英数字データ	707 キャラクタ	4,296 キャラクタ
8ビットデータ	486 キャラクタ	2,953 キャラクタ
漢字データ	299 キャラクタ	1,817 キャラクタ

数字データの場合
N に続けて数字データを指定

英数字データの場合
A に続けて数字データを指定

8ビットデータの場合

B に続けて 4 桁でデータバイト数を指定し、続けてデータを指定

漢字データの場合

K に続けて漢字データを指定

途中で別のキャラクタセットにシフトする場合

! に続けて、N/A/B/K を指定

マニュアルモード 例:

QRCODE 100,10,L,7,M,0,M1,S1, "ATHE FIRMWARE HAS BEEN UPDATED"

(A で始まるので、英数字データ)

QRCODE 100,10,M,7,M,0,M1,S2, "N123456"

(N で始まるので、数字データ)

QRCODE 100,10,Q,7,M,0,M1,S3, "N123456!ATHE FIRMWARE HAS BEEN UPDATED"

(N の数字データで始まり、!A で英数字データに切り替え)

QRCODE 100,10,H,7,M,0,M1,S3, "B0012Product name"

(B0012 で始まるので、12 バイトの 8 ビットデータ)

QRCODE 100,10,M,7,M,0,M1,S3, "K"

(K で始まるので、漢字データ)

自動モード 例:

QRCODE 100,10,M,7,A,0, "THE FIRMWARE HAS BEEN UPDATED"

注意:

TDP-643 Plus, TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M, TTP-248M シリーズは、QRCODE フォントをサポートしていません。

例

サンプルコード	結果
Auto mode 例	
<u>一般的なデータ</u> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,A,0, "ABCabc123" QRCODE 160,160,H,4,A,0, "123ABCabc" QRCODE 310,310,M,4,A,0,M2, "印表機 ABCabc123" PRINT 1,1	

<u><Enter>(0Dh, 0Ah)を含むデータ</u> <pre> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,A,0, "ABC<Enter> abc<Enter> 123 " QRCODE 160,160,H,4,A,0, "123<Enter> ABC<Enter> abc" QRCODE 310,310,H,4,A,0, "印表機<Enter> ABC<Enter> abc<Enter> 123" PRINT 1,1 </pre>	
<u>演算子+によるデータ結合</u> (DOWNLOAD ... EOP マシド が必要) <pre> DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,A,0, "ABCabc123" +STR\$(1234) QRCODE 160,160,H,4,A,0, "123ABCabc" +"1234" QRCODE 310,310,H,4,A,0, " 印 表 機 ABCabc123"+"1234"+"abcd" PRINT 1,1 EOP DEMO </pre>	
<u>ダブルクォーテーション(")を含むデータ</u> ¥["]を使用 <pre> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,A,0, "ABC¥["]abc¥["]123" QRCODE 160,160,H,4,A,0, "123¥["]ABC¥["]abc" QRCODE 310,310,H,4,A,0, "¥["]印表機¥["]ABCabc123" PRINT 1,1 </pre>	
マシアルモード	
<u>一般的なデータ</u> <pre> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,M,0, "AABC!B0003abc!N123" QRCODE 160,160,H,4,M,0, "N123!AABC!B0003abc" QRCODE 310,310,H,4,M,0, "K 印表機!AABC!B0006abc123" PRINT 1,1 </pre>	

<Enter>キャラクタを含むデータ, <Enter>は8ビットバイトデータ <pre> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,M,0,"AABC!B0007<Enter> abc<Enter> !N123" QRCODE 160,160,H,4,M,0,"N123!B0002<Enter> !AABC!B0005<Enter> abc" QRCODE 310,310,H,4,M,0,"K印表機!B0002<Enter> !AABC!B0010<Enter> abc<Enter> 123" PRINT 1,1 </pre>	
データ連結 (DOWNLOAD ... EOP マソド 必須) <pre> DOWNLOAD "A.BAS" SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,M,0,"AABC!B0006abc123!N"+STR\$(1234) QRCODE 160,160,H,4,M,0,"N123!AABC!B0007abc"+"1234" QRCODE 310,310,H,4,M,0,"K 印 表 機!AABC!B0014abc123"+" 1234"+"abcd" PRINT 1,1 EOP A </pre>	
ダブルクォーテーション(")を含むデータ, ¥["]を使用 <pre> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS QRCODE 10,10,H,4,M,0,"AABC!B0005¥["]abc¥["]!N123" QRCODE 160,160,H,4,M,0,"N123!B0001¥["]!AABC!B0004¥["]abc" QRCODE 310,310,H,4,M,0,"B0001¥["]!K 印 表 機!B0010¥["]ABCabc123" PRINT 1,1 </pre>	
スマートフォン用データ <pre> SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS BAR 60,120,200,1 BAR 160,20,1,200 QRCODE 160,120,H,10,A,0,X100,J5,"123456789" PRINT 1,1 </pre>	

ジ ャスティブイクেশヨン及びエリアパラメータ

SIZE 4,2.5

GAP 0,0

DIRECTION 1

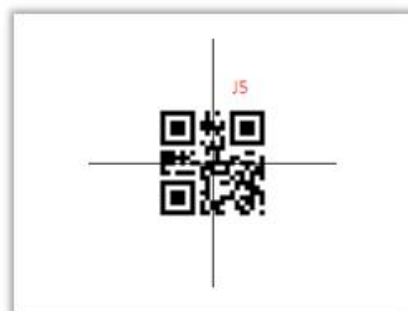
CLS

BAR 60,120,200,1

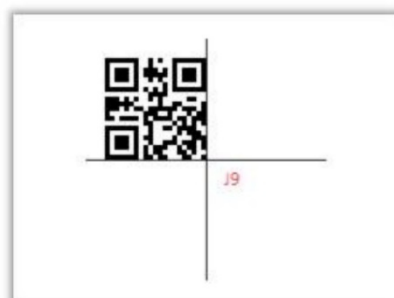
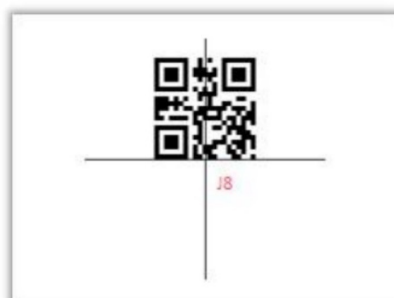
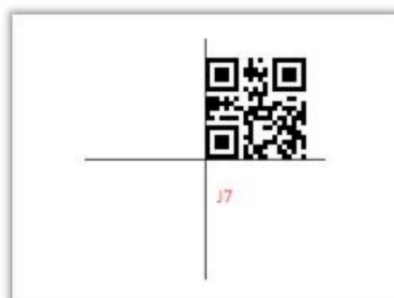
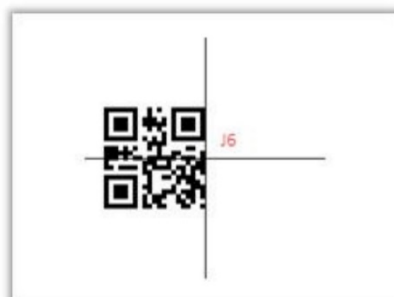
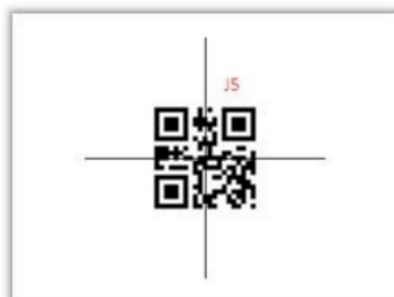
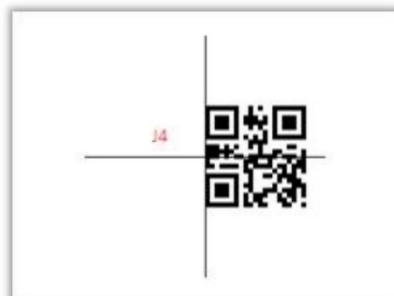
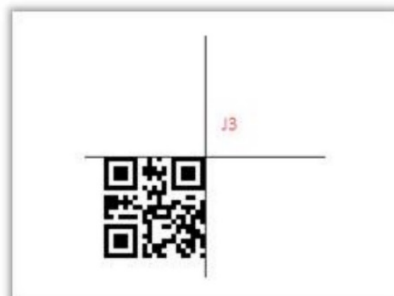
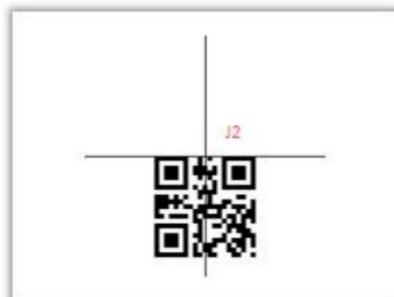
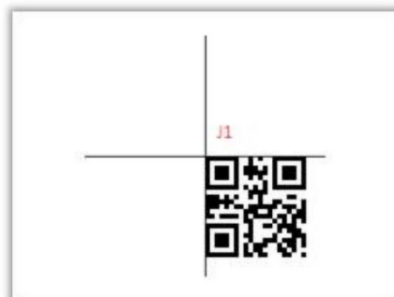
BAR 160,20,1,200

QRCODE 160,120,H,10,A,0,X100,J5,"123456789"

PRINT 1,1



文字寄せ結果 (J1~J9)



● RSS

説明

このコマンドは、RSS コード (現 GS1 Databar) を描画します。

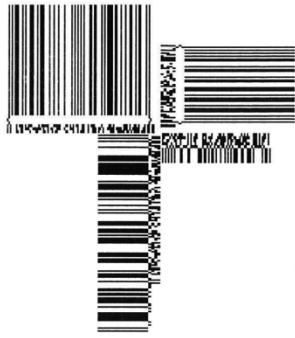
書式

```
RSS x,y, "sym",rotate,pixMult,sepHt, "content"
RSS x,y, "RSSEXP",rotate,pixMult,sepHt,segWidth, "content"
RSS x,y, "UCC128CCA",rotate,pixMult,sepHt,linHeight, "content"
RSS x,y, "UCC128CCC",rotate,pixMult,sepHt,linHeight, "content"
```

引数	説明																								
x	ドット単位で、バーコード描画を開始する X 座標を指定します。																								
y	ドット単位で、バーコード描画を開始する Y 座標を指定します。																								
sym	シンボルタイプを指定します。																								
	<table border="1"> <tr> <td>RSS14</td><td>RSS14 現 GS1 Databar Omnidirectional</td></tr> <tr> <td>RSS14T</td><td>RSS14 Truncated 現 GS1 Databar Truncated</td></tr> <tr> <td>RSS14S</td><td>RSS14 Stacked 現 GS1 Databar Stacked</td></tr> <tr> <td>RSS14S0</td><td>RSS14 Stacked Omnidirectional 現 GS1 Databar Omnidirectional</td></tr> <tr> <td>RSSLIM</td><td>RSS Limited 現 GS1 Databar Limited</td></tr> <tr> <td>RSSEXP</td><td>RSS Expanded 現 GS1 Databar Expanded</td></tr> <tr> <td>UPCA</td><td>UPC-A</td></tr> <tr> <td>UPCE</td><td>UPC-E</td></tr> <tr> <td>EAN13</td><td>EAN-13</td></tr> <tr> <td>EAN8</td><td>EAN-8</td></tr> <tr> <td>UCC128CCA</td><td>UCC/EAN-128 & CC-A/B</td></tr> <tr> <td>UCC128CCC</td><td>UCC/EAN-128 & CC-C</td></tr> </table>	RSS14	RSS14 現 GS1 Databar Omnidirectional	RSS14T	RSS14 Truncated 現 GS1 Databar Truncated	RSS14S	RSS14 Stacked 現 GS1 Databar Stacked	RSS14S0	RSS14 Stacked Omnidirectional 現 GS1 Databar Omnidirectional	RSSLIM	RSS Limited 現 GS1 Databar Limited	RSSEXP	RSS Expanded 現 GS1 Databar Expanded	UPCA	UPC-A	UPCE	UPC-E	EAN13	EAN-13	EAN8	EAN-8	UCC128CCA	UCC/EAN-128 & CC-A/B	UCC128CCC	UCC/EAN-128 & CC-C
RSS14	RSS14 現 GS1 Databar Omnidirectional																								
RSS14T	RSS14 Truncated 現 GS1 Databar Truncated																								
RSS14S	RSS14 Stacked 現 GS1 Databar Stacked																								
RSS14S0	RSS14 Stacked Omnidirectional 現 GS1 Databar Omnidirectional																								
RSSLIM	RSS Limited 現 GS1 Databar Limited																								
RSSEXP	RSS Expanded 現 GS1 Databar Expanded																								
UPCA	UPC-A																								
UPCE	UPC-E																								
EAN13	EAN-13																								
EAN8	EAN-8																								
UCC128CCA	UCC/EAN-128 & CC-A/B																								
UCC128CCC	UCC/EAN-128 & CC-C																								
rotate	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転																								
pixMult	ドット単位 (1~10) で、モジュール幅を指定します。 下記に示すバーコード高がプロリタによって算出されます。 <table border="1"> <tr> <td>RSS14</td><td>33 × pixMult</td></tr> <tr> <td>RSS14T</td><td>13 × pixMult</td></tr> <tr> <td>RSS14S</td><td>13 × pixMult</td></tr> <tr> <td>RSS14S0</td><td>33 × pixMult</td></tr> <tr> <td>RSSLIM</td><td>13 × pixMult</td></tr> <tr> <td>RSSEXP</td><td>33 × pixMult</td></tr> <tr> <td>EAN8</td><td>60 × pixMult</td></tr> <tr> <td>EAN13</td><td>74 × pixMult</td></tr> <tr> <td>UPCA</td><td>74 × pixMult</td></tr> <tr> <td>UPCE</td><td>74 × pixMult</td></tr> </table>	RSS14	33 × pixMult	RSS14T	13 × pixMult	RSS14S	13 × pixMult	RSS14S0	33 × pixMult	RSSLIM	13 × pixMult	RSSEXP	33 × pixMult	EAN8	60 × pixMult	EAN13	74 × pixMult	UPCA	74 × pixMult	UPCE	74 × pixMult				
RSS14	33 × pixMult																								
RSS14T	13 × pixMult																								
RSS14S	13 × pixMult																								
RSS14S0	33 × pixMult																								
RSSLIM	13 × pixMult																								
RSSEXP	33 × pixMult																								
EAN8	60 × pixMult																								
EAN13	74 × pixMult																								
UPCA	74 × pixMult																								
UPCE	74 × pixMult																								
sepHt	バーコード列高を 1 又は 2 で指定します。 times sepHt に pixMult を乗じた値が実際の列高になります。実際の値はプロリタによって算出されます。																								
segWidth	RSS Expanded (現 GS1 Databar Expanded) のセグメント幅 (2~22 の偶数値) を指定します。																								
linHeight	ドット単位で、UCC/EAN-128 の高さ (1~500) を指定します。																								

content	インポートするデータを指定します。 UPCE のデータフォーマットは下記の通りです。 *00abc0000hij = abhijc, c = 0-2 *00abc00000ij = abcij3 *00abcd00000j = abcdj4 *00abcde0000j = abcdej, j = 5-9 注意: • 200 DPI : 1 mm = 8 dots • 300 DPI : 1 mm = 12 dots • 600 DPI : 1 mm = 24 dots • 4 インチ幅で厚み 12mm が推奨される最大厚みです。12mm を超えると、電源供給や印刷品質に悪影響を与える原因となります。 • 最大印刷比率は、プリンタ型式により異なります。デスクトップとインダストリアルプリンタの限界印刷比率は、それぞれ 20% と 30% です。 このフォーマットは、V6.56EZ 以降でサポートしています。
---------	--

例

サンプルコード	結果
SIZE 100 mm,100 mm GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 300,300, "RSS14",0,2,2, "1234567890 ABCDEFGF" RSS 300,300, "RSS14T",90,2,2, "1234567890 ABCDEFGF" RSS 300,300, "RSS14S",180,2,2, "1234567890 ABCDEFGF" RSS 300,300, "RSS14S0",270,2,2, "1234567890 ABCDEFGF" PRINT 1,1	
SIZE 100 mm,100 mm GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 300,300, "RSSLIM",0,2,2, "1234567890 ABCDEFGF" RSS 300,300, "RSSEXP",90,2,2,22, "1234567890 ABCDEFGF" RSS 300,300, "UPCA",180,2,2, "1234567890 ABCDEFGF" RSS 300,300, "UPCE",270,2,2, "000 ABCDEFGF" PRINT 1,1	
SIZE 100 mm,100 mm GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 300,300, "EAN13",0,2,2, "123456789012 ABCDEFGF" RSS 300,300, "EAN8",90,2,2, "1234567 ABCDEFGF" RSS 300,300, "UCC128CCA",180,2,2,25, "1234567890 ABCD EFG" RSS 300,300, "UCC128CCC",270,2,2,25, "1234567890 ABCD EFG" PRINT 1,1	

UPCE モード の例	
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS REM UPCE Rule 1: 00abc0000hij = abhijc, where c = 0-2 RSS 10,10,"UPCE",0,2,2,"001200000456 ABCDEFGF" RSS 210,10,"UPCE",0,2,2,"001210000456 ABCDEFGF" RSS 410,10,"UPCE",0,2,2,"001220000456 ABCDEFGF" PRINT 1 </pre>	
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS REM UPCE Rule 2: 00abc00000ij = abcij3 RSS 10,10,"UPCE",0,2,2,"001230000045 ABCDEFGF" PRINT 1 SIZE 4,1 CLS REM UPCE Rule 3: 00abcd00000j = abcdj4 RSS 10,10,"UPCE",0,2,2,"001234000005 ABCDEFGF" PRINT 1 </pre>	
<pre> SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS REM UPCE Rule 4: 00abcde0000j = abcdej where j = 5-9 RSS 10,10,"UPCE",0,2,2,"001234500005 ABCDEFGF" RSS 160,10,"UPCE",0,2,2,"001234500006 ABCDEFGF" RSS 310,10,"UPCE",0,2,2,"001234500007 ABCDEFGF" RSS 460,10,"UPCE",0,2,2,"001234500008 ABCDEFGF" RSS 610,10,"UPCE",0,2,2,"001234500009 ABCDEFGF" PRINT 1 </pre>	

EAN8, EAN13, UPCA, UPCE バージョンの高さの例	
SIZE 4,2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 10,10,"EAN8",0,1,1,"1234567 ABCDEFGH" RSS 210,10,"EAN8",0,2,1,"1234567 ABCDEFGH" RSS 410,10,"EAN8",0,3,1,"1234567 ABCDEFGH" PRINT 1	
SIZE 4,2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 10,10,"EAN13",0,1,1,"123456789012 ABCDEFGH" RSS 210,10,"EAN13",0,2,1,"123456789012 ABCDEFGH" RSS 410,10,"EAN13",0,3,1,"123456789012 ABCDEFGH" PRINT 1	
SIZE 4,2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 10,10,"UPCA",0,1,1,"12345678901 ABCDEFGH" RSS 210,10,"UPCA",0,2,1,"12345678901 ABCDEFGH" RSS 410,10,"UPCA",0,3,1,"12345678901 ABCDEFGH" PRINT 1	
SIZE 4,2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS RSS 10,10,"UPCE",0,1,1,"001200000456 ABCDEFGH" RSS 210,10,"UPCE",0,2,1,"001210000456 ABCDEFGH" RSS 410,10,"UPCE",0,3,1,"001220000456 ABCDEFGH" PRINT 1	

● REVERSE

説明

このコマンドは、イメージバッファの指定領域を反転します。

書式

REVERSE x_start,y_start,x_width,y_height

引数	説明
x_start	ドット単位で、反転を開始する X 座標を指定します。
y_start	ドット単位で、反転を開始する Y 座標を指定します。
x_width	ドット単位で、反転する領域幅を指定します。
y_height	ドット単位で、反転する領域高を指定します。

注意:

- 200 DPI : 1 mm = 8 dots
- 300 DPI : 1 mm = 12 dots
- 600 DPI : 1 mm = 24 dots
- 4 インチ幅で厚み 12mm が推奨される最大厚みです。12mm を超えると、電源供給や印刷品質に悪影響を与える原因となります。
- 最大印刷比率は、プリンタ型式により異なります。デスクトップとインクストリアルプリンタの限界印刷比率は、それぞれ 20% と 30% です。

例

サンプルコード	結果
SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 100,100,"3",0,1,1,"REVERSE" REVERSE 90,90,128,40 PRINT 1,1	

● DIAGONAL

説明

このコマンドは、斜線を描画します。

書式

DIAGONAL x1, y1, x2, y2, thickness

引数	説明
x1	ドット単位で、斜線描画を開始する X 座標を指定します。
y1	ドット単位で、斜線描画を開始する Y 座標を指定します。
x2	ドット単位で、斜線描画を終了する X 座標を指定します。
y2	ドット単位で、斜線描画を終了する Y 座標を指定します。
thickness	ドット単位で、斜線の太さを指定します。

注意:

- 200 DPI : 1 mm = 8 dots
- 300 DPI : 1 mm = 12 dots
- 600 DPI : 1 mm = 24 dots

例

サンプルコード	結果
<pre>SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS DIAGONAL 50, 200, 200, 50, 16 DIAGONAL 50, 500, 500, 50, 8 PRINT 1,1</pre>	

● TEXT

説明

このコマンドは、ラベルにテキストを印刷します。

書式

TEXT *x,y, " font ",rotation,x-multiplication,y-multiplication,[alignment,] "*
content "

引数	説明																																																
x	ドット単位で、テキスト印刷を開始するX座標を指定します。																																																
y	ドット単位で、テキスト印刷を開始するY座標を指定します。																																																
font	フォント番号又はフォント名を指定します。																																																
	<table border="1"> <tr> <td>0</td><td>Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高は伸縮可能</td></tr> <tr> <td>1</td><td>8 x 12ドット, 固定ピッチドットフォント</td></tr> <tr> <td>2</td><td>12 x 20ドット, 固定ピッチドットフォント</td></tr> <tr> <td>3</td><td>16 x 24ドット, 固定ピッチドットフォント</td></tr> <tr> <td>4</td><td>24 x 32ドット, 固定ピッチドットフォント</td></tr> <tr> <td>5</td><td>32 x 48ドット, 固定ピッチドットフォント</td></tr> <tr> <td>6</td><td>14 x 19ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B</td></tr> <tr> <td>7</td><td>21 x 27ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B</td></tr> <tr> <td>8</td><td>14 x 25ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-A</td></tr> <tr> <td>ROMAN.TTF</td><td>Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高比率は固定</td></tr> <tr> <td colspan="2">以下のフォントは、V6.80EZ以降でサポートしています。</td></tr> <tr> <td>1.EFT</td><td>EPL2 フォント 1</td></tr> <tr> <td>2.EFT</td><td>EPL2 フォント 2</td></tr> <tr> <td>3.EFT</td><td>EPL2 フォント 3</td></tr> <tr> <td>4.EFT</td><td>EPL2 フォント 4</td></tr> <tr> <td>5.EFT</td><td>EPL2 フォント 5</td></tr> <tr> <td>A.FNT</td><td>ZPL2 フォント A</td></tr> <tr> <td>B.FNT</td><td>ZPL2 フォント B</td></tr> <tr> <td>D.FNT</td><td>ZPL2 フォント D</td></tr> <tr> <td>E8.FNT</td><td>ZPL2 フォント E8</td></tr> <tr> <td>F.FNT</td><td>ZPL2 フォント F</td></tr> <tr> <td>G.FNT</td><td>ZPL2 フォント G</td></tr> <tr> <td>H8.FNT</td><td>ZPL2 フォント H8</td></tr> <tr> <td>GS.FNT</td><td>ZPL2 フォント GS</td></tr> </table>	0	Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高は伸縮可能	1	8 x 12ドット, 固定ピッチドットフォント	2	12 x 20ドット, 固定ピッチドットフォント	3	16 x 24ドット, 固定ピッチドットフォント	4	24 x 32ドット, 固定ピッチドットフォント	5	32 x 48ドット, 固定ピッチドットフォント	6	14 x 19ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B	7	21 x 27ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B	8	14 x 25ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-A	ROMAN.TTF	Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高比率は固定	以下のフォントは、V6.80EZ以降でサポートしています。		1.EFT	EPL2 フォント 1	2.EFT	EPL2 フォント 2	3.EFT	EPL2 フォント 3	4.EFT	EPL2 フォント 4	5.EFT	EPL2 フォント 5	A.FNT	ZPL2 フォント A	B.FNT	ZPL2 フォント B	D.FNT	ZPL2 フォント D	E8.FNT	ZPL2 フォント E8	F.FNT	ZPL2 フォント F	G.FNT	ZPL2 フォント G	H8.FNT	ZPL2 フォント H8	GS.FNT	ZPL2 フォント GS
0	Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高は伸縮可能																																																
1	8 x 12ドット, 固定ピッチドットフォント																																																
2	12 x 20ドット, 固定ピッチドットフォント																																																
3	16 x 24ドット, 固定ピッチドットフォント																																																
4	24 x 32ドット, 固定ピッチドットフォント																																																
5	32 x 48ドット, 固定ピッチドットフォント																																																
6	14 x 19ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B																																																
7	21 x 27ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B																																																
8	14 x 25ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-A																																																
ROMAN.TTF	Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高比率は固定																																																
以下のフォントは、V6.80EZ以降でサポートしています。																																																	
1.EFT	EPL2 フォント 1																																																
2.EFT	EPL2 フォント 2																																																
3.EFT	EPL2 フォント 3																																																
4.EFT	EPL2 フォント 4																																																
5.EFT	EPL2 フォント 5																																																
A.FNT	ZPL2 フォント A																																																
B.FNT	ZPL2 フォント B																																																
D.FNT	ZPL2 フォント D																																																
E8.FNT	ZPL2 フォント E8																																																
F.FNT	ZPL2 フォント F																																																
G.FNT	ZPL2 フォント G																																																
H8.FNT	ZPL2 フォント H8																																																
GS.FNT	ZPL2 フォント GS																																																
rotation	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転																																																
x-multiplication	水平方向の倍率(1~10)を指定します。																																																
y-multiplication	垂直方向の倍率(1~10)を指定します。 トルタータイプフォントの場合、この引数はトルタータイプフォントの高さ(ポイント)を指定するために使用されます。1ポイント=1/72インチ(約0.35ミリ)																																																
	*.TTFフォントの場合、x倍率・Y倍率は、共に小数点に対応しています。 (V6.91EZ以降でサポート)																																																

サンプルコード

```
SIZE 4,3
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10,"0",0,12,12,"TSPL 2"
TEXT 10,40,"0",0,8,8,"align left"
BAR 0,70,800,4
TEXT 10,110,"0",0,12,12,"FONT 0"
TEXT 10,160,"1",0,1,1,"FONT 1"
TEXT 10,210,"2",0,1,1,"FONT 2"
TEXT 10,260,"3",0,1,1,0,"FONT 3"
TEXT 10,310,"4",0,1,1,0,"FONT 4"
TEXT 10,360,"5",0,1,1,0,"FONT 5"
TEXT 10,410,"6",0,1,1,1,"FONT 6"
TEXT 10,460,"7",0,1,1,1,"FONT 7"
TEXT 10,510,"8",0,1,1,1,"FONT 8"
TEXT 10,560,"ROMAN.TTF",0,12,12,"FONT ROMAN.TTF"

TEXT 400,10,"0",0,12,12,2,"EPL 2"
TEXT 400,40,"0",0,8,8,2,"align center"
TEXT 400,110,"1.EFT",0,1,1,2,"FONT 1"
TEXT 400,160,"2.EFT",0,1,1,2,"FONT 2"
TEXT 400,210,"3.EFT",0,1,1,2,"FONT 3"
TEXT 400,260,"4.EFT",0,1,1,2,"FONT 4"
TEXT 400,310,"5.EFT",0,1,1,2,"FONT 5"

TEXT 800,10,"0",0,12,12,3,"ZPL 2"
TEXT 800,40,"0",0,8,8,3,"align right"
TEXT 800,110,"A.FNT",0,1,1,3,"FONT A"
TEXT 800,160,"B.FNT",0,1,1,3,"FONT B"
TEXT 800,210,"D.FNT",0,1,1,3,"FONT D"
TEXT 800,260,"E8.FNT",0,1,1,3,"FONT E8"
TEXT 800,310,"F.FNT",0,1,1,3,"FONT F"
TEXT 800,360,"G.FNT",0,1,1,3,"FONT G"
TEXT 800,410,"H8.FNT",0,1,1,3,"FONT H8"
TEXT 800,460,"GS.FNT",0,1,1,3,"ABCDEF"
PRINT 1
```

結果

TSPL 2 align left	EPL 2 align center	ZPL 2 align right
FONT 0	FONT 1	FONT A
FONT 1	FONT 2	FONT B
FONT 2	FONT 3	FONT D
FONT 3	FONT 4	FONT E8
FONT 4	FONT 5	FONT F
FONT 5		FONT G
FONT 6		FONT H8
FONT 7		© ® ™ ®
FONT 8		
FONT ROMAN.TTF		

● BLOCK

説明

このコマンドは、ラベルに囲み枠付きテキストを印刷します。

書式

BLOCK *x,y,width,height,*
"font",rotation,x-multiplication,y-multiplication,[space,]align,[fit,]
"content"

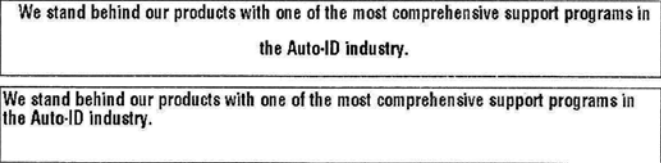
引数	説明
x	ドット単位で、囲み枠付きテキスト印刷を開始する X 座標を指定します。
y	ドット単位で、囲み枠付きテキスト印刷を開始する Y 座標を指定します。
width	ドット単位で、囲み枠の幅を指定します。
height	ドット単位で、囲み枠の高さを指定します。
font	フォント番号又はフォント名を指定します。
0	Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高は伸縮可能
1	8 x 12 ドット, 固定ピッチドットフォント
2	12 x 20 ドット, 固定ピッチドットフォント
3	16 x 24 ドット, 固定ピッチドットフォント
4	24 x 32 ドット, 固定ピッチドットフォント
5	32 x 48 ドット, 固定ピッチドットフォント
6	14 x 19 ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B
7	21 x 27 ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-B
8	14 x 25 ドット, 固定ピッチドットフォント OCR-A
ROMAN.TTF	Monotype CG Triumvirate Bold Condensed フォント フォント幅&フォント高比率は固定
以下のフォントは、V6.80EZ 以降でサポートしています。	
1.EFT	EPL2 フォント 1
2.EFT	EPL2 フォント 2
3.EFT	EPL2 フォント 3
4.EFT	EPL2 フォント 4
5.EFT	EPL2 フォント 5
A.FNT	ZPL2 フォント A
B.FNT	ZPL2 フォント B
D.FNT	ZPL2 フォント D
E8.FNT	ZPL2 フォント E8
F.FNT	ZPL2 フォント F
G.FNT	ZPL2 フォント G
H8.FNT	ZPL2 フォント H8
GS.FNT	ZPL2 フォント GS
rotation	0 : 回転無し 90 : 時計回りに 90 度回転 180 : 時計回りに 180 度回転 270 : 時計回りに 270 度回転
x-multiplication	水平方向の倍率(1~10)を指定します。 ROMAN.TTF トゥールタイプフォントの場合、この引数は無視されます。 フォント 0 の場合、この引数はトゥールタイプフォントの幅(ポイント)を指定するために使用されます。1ポイント=1/72インチ(約0.35ミリ)
y-multiplication	垂直方向の倍率(1~10)を指定します。 トゥールタイプフォントの場合、この引数はトゥールタイプフォントの高さ(ポイント)を指定するために使用されます。1ポイント=1/72インチ(約0.35ミリ)
*.TTF フォントの場合、x 倍率・Y 倍率は、共に小数点に対応しています。 (V6.91EZ 以降でサポート)	

[space]	ドット単位で、囲み枠とテキストの間隔を指定します。
[align]	テキストの配置を指定します。この引数は、0°30°です。 (V6.73EZ以降でサポート) 0 : 左揃え(デフォルト) 1 : 左揃え 2 : 中央寄せ 3 : 右揃え
[fit]	囲み枠内に収まるようテキストをリサイズするかを指定します。 150 : リサイズ無し (デフォルト) 1 : リサイズ有り
content	印刷するテキストを指定します。最大 4092 バイトまで指定可能です。

注意:

- ・内蔵フォント(フォント1~5)のピッチは、TSPL と TSPL2 で異なります。
- ・フォント0 と ROMAN.TTF 内蔵トゥールタイプフォントは、TSPL2 言語対応プリンタでのみ利用可能です。
TSPL/TSPL2 言語対応については、[プリンタ型式リスト](#) を参照ください。
- ・テキスト内で、ダブルコーテーションを使用する場合は、¥["] と記述してください。
- ・フォント0 を使用する場合、フォント幅と高さは、x-multiplication と y-multiplication 引数により伸縮可能です。単位はポイントで、1 ポイントは 1/72 インチに相当します。
- ・¥[R] は、キャリッジリターン 0x0D を意味します。
- ・¥[L] は、ラインフィード 0x0A を意味します。
- ・このコマンドは、V6.91EZ 以降でサポートしています。
- ・EPL2 及び ZPL2 は、それぞれ Eltron® 社と Zebra® 社のプリンタ言語をインクルートしています。

例

サンプルコード	結果
<pre> SIZE 4,0.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS BOX 10,10,800,100,2 BLOCK 15,15,790,90,"0",0,8,8,"We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry." PRINT 1 CLS BOX 10,10,800,100,2 BLOCK 15,15,790,90,"0",0,8,8,20,2,"We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry." PRINT 1 </pre>	

サブルコード (fit)

DATA\$ = "By more than a 2-1 ratio, lawmakers in West Virginia's House of Delegates have approved a bill that would allow gun owners to carry concealed handguns without a permit. The only concealed-carry permits would be for people who are 18-21 years old. Urging her colleagues to approve the bill, its 19-year-old sponsor, Delegate Saira Blair, "

SIZE 4,0.5
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
BLOCK
20,20,500,170,"0",0,10,10,0,0,1,D
ATA\$
BOX 20,20,500+20,170+20,2
PRINT 1

SIZE 4,0.5
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
BLOCK
20,20,500,170,"0",0,10,10,0,0,0,D
ATA\$
BOX 20,20,500+20,170+20,2
PRINT 1

結果

By more than a 2-1 ratio, lawmakers in West Virginia's House of Delegates have

By more than a 2-1 ratio, lawmakers in West Virginia's House of Delegates have approved a bill that would allow gun owners to carry concealed handguns without a permit. The only concealed-carry permits would be for people who are 18-21 years old. Urging her colleagues to approve the bill, its 19-year-old sponsor, Delegate Saira Blair,

ステータス・リクエストコマンド & ディレクトコマンド

本章で説明するコマンドは、RS-232，USB，Ethernet インターフェイスで使用可能です。

● <ESC>!?

説明

このコマンドは、プリンタステータスの取得を行います。常時発行可能で、プリンタがエラー状態の場合でも有効です。コマンドは、ESC(0x1B)で始まり、プリンタはコマンドを受信すると自身のステータスを 1 バイトで応答します。例えば、0 は、プリンタが印刷レディ状態であることを示します。

書式

<ESC>!?

ステータス応答 (Hex)	意味
00	ノーマル (印刷レディ)
01	ハットオープン
02	ハートビートジャム
03	ハートビートジャム&ハットオープン
04	ハートビート切れ
05	ハートビート切れ&ハットオープン
08	リボン切れ
09	リボン切れ&ハットオープン
0A	リボン切れ&ハートビートジャム
0B	リボン切れ&ハートビートジャム&ハットオープン
0C	リボン切れ&ハートビート切れ
0D	リボン切れ&ハートビート切れ&ハットオープン
10	ホース
20	印刷中
80	その他エラー

参考項目

<ESC>!S

● <ESC>!C

説明

このコマンドは、プリンタをリスタートさせます。リスタート後、AUTO.BAS は実行しません。

書式

<ESC>!C

注意:

- ・ このコマンドを受信するとプリンタは、**AUTO.BAS** 実行中でもリスタートを行います。
- ・ このコマンドは、**V5.23EZ** 以降でサポートしています。

参考項目

<ESC>!Q

● <ESC>!D

説明

このコマンドは、<ESC>!R <RSC>!? <ESC>!C など <ESC>! で始まる他のコマンドを無効にします。

書式

<ESC>!D

注意:

このコマンドは、V6.61EZ 以降でサポートされています。

参考項目

~!D

● <ESC>!0

説明

このコマンドは、プリンタのホースステータスをキャンセルします。

書式

<ESC>!0

注意:

このコマンドは、V6.93EZ以降でサポートしています。

参考項目

<ESC>!P

● <ESC>!P

説明

このコマンドは、プリンタをホースステータスにします。

書式

<ESC>!P

注意:

このコマンドは、V6.93EZ以降でサポートされています。

参考項目

<ESC>!0

● <ESC>!Q

説明

このコマンドは、プリンタをリスタートさせます。リスタート後、AUTO.BAS は実行しません。

書式

<ESC>!Q

注意:

- ・ プリンタに **AUTO.BAS** が保存されていない場合、プリンタはリスタートを行いません。
- ・ このコマンドは、V6.72EZ 以降でサポートしています。

参考項目

<ESC>!C

● <ESC>!R

説明

このコマンドは、プリンタをリセットします。プリンタメモリにダウンロードされているファイルは全て削除されます。
尚、このコマンドは、ダンプモードでは機能しません。

書式

<ESC>!R

参考項目

<ESC>!?

● <ESC>!S

説明

このコマンドは、プリントステータスの取得を行います。常時発行可能で、プリントがエラー状態の場合でも有効です。コマンドは、ESC(0x1B)で始まり、プリントはコマンドを受信すると自身のステータスを4バイトで応答します。

書式

<ESC>!S

注意:

このコマンドは、V6.29EZ以降でサポートしています。

応答フォーマット

<STX>[4バイトステータス]<ETX><CR><LF>

ステータスバイト #1: メッセージ											
Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0	Hex	ASCII	Char	意味
0	1	0	0	0	0	0	0	40	64	@	ノーマル
0	1	1	0	0	0	0	0	60	96	`	ホース
0	1	0	0	0	0	1	0	42	66	B	ラベルバックフィード中
0	1	0	0	0	0	1	1	43	67	C	カット中
0	1	0	0	0	1	0	1	45	69	E	プリントリターン
0	1	0	0	0	1	1	0	46	70	F	フォームフィード中
0	1	0	0	1	0	1	1	4B	75	K	プリント紙-押下待ち
0	1	0	0	1	1	0	0	4C	76	L	ラベル取り待ち
0	1	0	1	0	0	0	0	50	80	P	バッチ印刷中
0	1	0	1	0	1	1	1	57	87	W	イメージング

ステータスバイト #2: 警告											
Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0	Hex	ASCII	Char	意味
0	1	0	0	0	0	0	0	40	64	@	ノーマル
0	1	0	0	0	0	0	1	41	65	A	ペーパーが足りない (A2.08EZD以降)
0	1	0	0	0	0	1	0	42	66	B	リボンが足りない (A2.08EZD以降)
0	1	0	0	0	1	0	0	44	68	D	予備
0	1	0	0	1	0	0	0	48	72	H	受信バッファフル
0	1	1	0	0	0	0	0	60	96	`	予備

ステータスバイト #3: エラー											
Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0	Hex	ASCII	Char	意味
0	1	0	0	0	0	0	0	40	64	@	ノーマル
0	1	0	0	0	0	0	1	41	65	A	プリントヘッドオーバーヒート
0	1	0	0	0	0	1	0	42	66	B	ステップングモーターオーバーヒート
0	1	0	0	0	1	0	0	44	68	D	プリントヘッドエラー (V7.01EZ以降)
0	1	0	0	1	0	0	0	48	72	H	カッターギャム
0	1	0	1	0	0	0	0	50	80	P	メモリ不足

ステータスバイト #4: エラー											
Bit 7	Bit 6	Bit 5	Bit 4	Bit 3	Bit 2	Bit 1	Bit 0	Hex	ASCII	Char	意味
0	1	0	0	0	0	0	0	40	64	@	ノーマル
0	1	0	0	0	0	0	1	41	65	A	ペーパー切れ
0	1	0	0	0	0	1	0	42	66	B	ペーパーギャム
0	1	0	0	0	1	0	0	44	68	D	リボン切れ
0	1	0	0	1	0	0	0	48	72	H	リボンギャム
0	1	1	0	0	0	0	0	60	96	`	プリントヘッドオープン

例

<ESC>!S のテスト(CommTool RS232 経由)

Transmissive way: ☒ RS232 ☐ USB ☐ TCP/IP

Port: 9100

USB Device: USB Input Device

Length: 3/3

Receive way: ☒ RS232 ☒ USB ☒ Ethernet

Length: 48

Line: 6

RS232Switch: ☒ ON ☐ OFF

Show All Data: ☒

Status: COM, CTS, DSR, RI, CD, Parallel (LPT1-LPT4)

Received Data (Hex):

```
02 40 40 40 40 03 0D 0A
02 46 40 40 40 03 0D 0A
02 60 40 40 40 03 0D 0A
02 42 40 40 40 03 0D 0A
02 45 40 40 42 03 0D 0A
02 45 40 40 62 03 0D 0A
```

Received Data (Char):

```
@@@@
F@@@
`@@@
B@@@
E@@B
E@@b
```

Hex データ 1B 21 53 = <ESC>!S.

クリックすると、プリンタステータスを要求する Hex 1b 21 53 を送信

結果

1: 02 40 40 40 40 03 0D 0A

2: 02 46 40 40 40 03 0D 0A

3: 02 60 40 40 40 03 0D 0A

4: @@@@, F@@@, `@@@, B@@@, E@@B, E@@b

項目	意味
1	応答パケットのスタート STX
2	4 バイトステータスの HEX 値
3	応答パケットのエンド ETX CR LF
4	4 バイトステータス例 @@@@: ノーマル状態 F@@@: ラベルフィード 中 `@@@: ホース 状態 B@@@: ラベルバックフィード 中 E@@B: ハーパージ ャム E@@b: ハーパージ ャム&ヘッド オープン

参考項目

<ESC>!?

● <ESC>!F

説明

このコマンドは、ラベル1枚分をフィードします。この機能は、フィードボタンを押した場合と同じ動作になります。

書式

<ESC>!F

注意:

このコマンドは、V7.00EZ以降でサポートしています。

● <ESC>! .

説明

このコマンドは、全ての印刷ファイルをキャンセルします。

書式

<ESC>! .

注意:

このコマンドは、V7.00EZ以降でサポートしています。

● ~!@

説明

このコマンドは、プリンタのマイルージを取得します。プリンタは、マイルージの整数値(小数部は含まない)を応答します。

書式

~!@

例

~!@

● ~!A

説明

このコマンドは、プリンタのフリーメモサイズを取得します。プリンタは、フリーメモサイズのバイト数を応答します。

書式

~!A

例

~!A

参考項目

FILES

● ~!C

説明

このコマンドは、プリントにリアルタイムクロック(RTC)が搭載されているかを確認します。このコマンドは、V6.xx 以前でのみ有効です。

書式

~!C

戻り値	説明
0	RTC 非搭載
1	RTC 搭載

例

~!C

● ~!D

説明

このコマンドは、プリンタをダンプモードに切り替えます。ダンプモードでは、プリンタは受信したデータをそのまま出力します。

書式

~!D

例

~!D

● ~!E

説明

このコマンドは、<ESC>!R <RSC>!? <ESC>!C など <ESC>! で始まる他のコマンドを有効にします。

書式

~!E

注意:

このコマンドは、V6.61EZ 以降でサポートしています。

例

~!E

参考項目

<ESC>!D

● ~!F

説明

このコマンドは、プリンタ内全てのファイルとメモリにインストールされているフォントファイル名を取得します。各ファイル名は、CR(0x0D)を伴って ASCII キャラクタで送信され、最後に SUB(0x1A)が送信されます。

書式

~!F

例

~!F

参考項目

FILES

● ~!I

説明

このコマンドは、プリンタのコードページ及びカントリーコード設定を取得します。

書式

~!I

戻り値のフォーマット : コードページ , カントリーコード

例 : 8ビット : 437, 001

 7ビット : USA, 001

例

~!I

参考項目

COUNTRY, CODEPAGE

● ~!T

説明

このコマンドは、プリンタの型式名を取得します。型式名は、ASCII キャラクタで送信されます。

書式

~ !T

例

~!T

● <ESC> Y

説明

このコマンドは、EZC プリッタのライモード (EZPL→CPCL) を有効にします。

書式

<ESC> Y

例

<ESC> Y

参考項目

<ESC> Z

● <ESC> Z

説明

このコマンドは、EZC プリッタのラインモード (CPCL→EZPL) を無効にします。

書式

<ESC> Z

例

<ESC> Z

参考項目

<ESC> Y

メッセージ トランスミッションプロトコル

● ~#

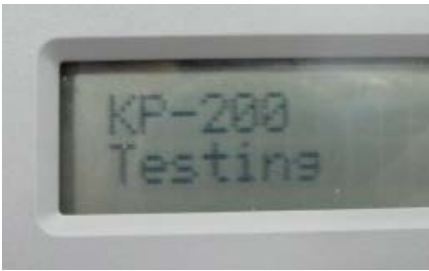
説明

プリンタから KP-200 プリンタへ 開始 ID ~# で始まるプロンプトメッセージが送信されます。終了 ID は、~& です。
終了 ID ~& に続く @0 は、キーボード LCD の 1 行目に、@1 は、2 行目にプロンプトを表示する命令です。
@0 又は @1 の指定が無い場合、プロンプトは、キーボード LCD の 1 行目に表示され、入力データが 2 行目に表示されます。

書式

~#Prompt~&[@0]
~#Prompt~&[@1]

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "A.BAS" OUT "~#KP-200~&@0" OUT "~#Testing~&@1" EOP A</pre>	

参考項目

INPUT, OUT

Windowsドライバコマンド

● !B

説明

このコマンドは、ビットマップイメージをメモリに保存します。nnn にビットマップデータのバイト数を指定します。

書式

!Bnnn

引数	説明
nnn	PC からプリンタへ送信するビットマップデータのバイト数を 3 桁の数字で指定します。

例

!B100

参考項目

BITMAP

● !J

説明

このコマンドは、指定位置(Y 方向)にビットマップデータを印刷します。

書式

!Jnnnn

引数	説明
nnn	ビットマップデータを印刷する位置(Y 方向)を 4 桁の数字で指定します。

例

!J0100

参考項目

FEED

● !N

説明

このコマンドは、指定枚数のラベルを印刷します。

書式

!Nnnn

<u>引数</u>	<u>説明</u>
nnn	印刷するラベル枚数を 3 桁の数字で指定します。

例

!N001

ファイルマネージメントコマンド

● DOWNLOAD

説明

DOWNLOAD は、プリンタメモリにファイルを保存する場合のファイルとなります。ダウンロードされるファイルは、プログラムファイルとデータファイル(テキストデータファイル、PCXグラフィックファイル、ビットマップフォントファイル)の2つに分類されます。詳細については、下記の説明を参照ください。

DRAM に保存可能な最大ファイル数

TSPL/TSPL2 言語対応プリンタ何れも 50 ファイル

フラッシュメモリに保存可能な最大ファイル数

TSPL 言語対応プリンタ : 50 ファイル

TSPL2 言語対応プリンタ : 256 ファイル

AUTO.BAS がプリンタメモリに存在する場合、プリンタの電源を立ち上げると、それを自動実行します。**AUTO.BAS** を実行したくない場合は、下記の手順に従ってください。

AUTO.BAS を無視する
2つのボタンを装備したデスクトッププリンタシリーズ PAUSE と FEED ボタンの両方を押した状態で、プリンタの電源を立ち上げます。3つのLEDが点滅するまでボタンを押し続けてください。プリンタは、AUTO.BAS を無視し、初期化を行います。
1つのボタンを装備したデスクトッププリンタシリーズ FEED ボタンを押した状態で、プリンタの電源を立ち上げます。LEDが緑色に点灯している間に FEED を離すと、AUTO.BAS は無視されます。 LED色は、下記の様に変化していきます。 *V3.37 以前のプリンタ 橙色 → 赤色 (5回点滅) → 橙色 (5回点滅) → 緑色 (5回点滅) → 緑色点灯 *V3.37 以降のプリンタ 橙色 → 赤色 (5回点滅) → 橙色 (5回点滅) → 緑色 (5回点滅) → 緑色&橙色 (5回点滅) → 赤色&橙色 (5回点滅) → 緑色点灯
3つのボタンを装備したインクストリアルプリンタシリーズ EED ボタンを押した状態で、プリンタの電源を立ち上げます。ERROR LED が点灯すれば、プリンタはレディ状態です。
2つ又は6つのボタンを装備したインクストリアルプリンタシリーズ PAUSE と FEED ボタンの両方を押した状態で、プリンタの電源を立ち上げます。3つのLEDが点滅するまでボタンを押し続けてください。プリンタは、初期化を行い、AUTO.BAS を無視します。 または、PAUSE を押した状態で、プリンタの電源を立ち上げます。プリンタは、セッティングレゾリューションを行い、AUTO.BAS を無視します。

書式

- プログラムファイルのダウンロード :
DOWNLOAD [n,] "FILENAME.BAS"

引数	説明
n	ダウンロードするメモリを指定します。 無し: DRAM にダウンロードします。電源を切にすると、消去されるため、消去したくない場合は、MOVE コマンドを発行してフラッシュメモリに書き込む必要があります。 F: メインボード上のフラッシュメモリにダウンロードします。 E: 拡張メモリモジュールにダウンロードします。

FILENAME.BAS プリンタメモリ内に存在するファイル名を指定します。

注意:

- ファイル名は、大文字小文字の区別がされます。例えば、ABC.BAS と
- ファイル名の拡張子は、BAS でなければいけません。
- ファイル名は、8.3 フォーマットでなければいけません。
- このコマンドは、EOP コマンドとセットで使用しなければいけません。
- メモリが指定されていない場合、全てのファイルはDRAM にダウンロードされます。
- AUTO.BAS の優先順位:
 - V6.8EZ 以前の場合: DRAM > フラッシュ > 拡張カード
 - V6.8EZ 以降の場合: DRAM > 拡張カード > フラッシュ
- DRAM の電池バックアップはありません。よって、電源を切にすると全てのファイルは消去されます。

2. データファイルのダウンロード:

DOWNLOAD [n,] "FILENAME", DATA SIZE, DATA CONTENT...

引数	説明
n	ダウンロードするメモリを指定します。 無し: DRAM にダウンロードします。電源を切にすると、消去されるため、消去したくない場合は、MOVE コマンドを発行してフラッシュメモリに書き込む必要があります。 F: メインボード上のフラッシュメモリにダウンロードします。 E: 拡張メモリモジュールにダウンロードします。
FILENAME	プリンタメモリ内に存在するファイル名を指定します。
DATA SIZE	データファイルの実際のサイズをバイト単位で指定します。(ヘッダ含まない)
DATA CONTENT	ダウンロードするデータを指定します。

注意:

- テキストデータファイルでは、CR(0x0D)とLF(0x0A)を改行記号とします。
- メモリが指定されていない場合、全てのファイルはDRAM にダウンロードされます。
- DRAM の電池バックアップはありません。よって、電源を切にすると全てのファイルは消去されます。
- プログラムファイルを記述する場合は、最初に**DOWNLOAD** コマンド、最後に**EOP** コマンドが必須です。
- プログラムを実行する場合、拡張子BAS を除くファイル名をコールするか、**RUN** コマンドを使用します。

例

サンプルコード (下記のプログラム例は、プリンタの DRAM メモリにダウンロードされます)

```
DOWNLOAD "EXAMPLE.BAS"
SIZE 4,4
GAP 0,0
DIRECTION 1
SET TEAR ON
CLS
TEXT 100,100, "3",0,1,1, "EXAMPLE PROGRAM"
PRINT 1
EOP
```

参考項目

EOP, RUN, PUTBMP, PUTPCX, INPUT, FILES, ~!F

● EOP

説明

このコマンドは、プログラムの終わりを意味します。BASIC 言語プログラムでは、DOWNLOAD “FILENAME.BAS” で始まり、EOP コマンドで終了します。

書式

EOP

例

サンプルコード (下記のプログラム例は、プログラムの DRAM メモリにダウンロードされます)

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"  
SIZE 4,4  
GAP 0,0  
DIRECTION 1  
SET TEAR ON  
CLS  
TEXT 100,100, "3",0,1,1, "DEMO PROGRAM"  
PRINT 1  
EOP
```

参考項目

DOWNLOAD, INPUT, FILES, ~!F

● FILES

説明

このコマンドは、プリンタメモリ(フラッシュ&DRAM)中のトータルメモリサイズ・空きメモリサイズ・ファイルリストを印刷します。

書式

FILES

例

サンプルコード FILES	結果 ----- DRAM FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL8192 KBYTES AVAILABLE256 KBYTES ----- FLASH FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL4096 KBYTES AVAILABLE2560 KBYTES -----
-------------------------------------	---

参考項目

~!F, KILL

● KILL

説明

このコマンドは、プリンタメモリ中の指定ファイルを削除します。ワイルドカード(*)を指定した場合は、全てのファイルを削除します。

書式

KILL [n], "FILENAME"

引数

n

FILENAME

説明

削除するファイルが存在するメモリを指定します。この引数は、オプションです。
指定無し: DRAM メモリ中のファイルを削除します。
F: フラッシュメモリ中のファイルを削除します。
E: 拡張メモリモジュール中のファイルを削除します。
削除するファイル名を指定します。全てのファイルを削除する場合は、ワイルドカード(*)を指定します。ファイル名は、大文字・小文字の区別がされます。

注意:

- 書式例

KILL "FILENAME"

KILL "*.PCX"

KILL "**"

KILL F, "FILENAME "

KILL E, "*.PCX "

: DRAM メモリ中の指定ファイルを削除

: DRAM メモリ中の全てのPCX ファイルを削除

: DRAM メモリ中の全てのファイルを削除

: フラッシュメモリ中の指定ファイルを削除

: 拡張メモリモジュール中の全てのPCX ファイルを削除

- TSPL 対応プリンタの場合、KILL コマンド送信後、MOVE コマンドを送信してください。
- TSPL/TSPL2 対応プリンタの確認は、[プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

型式	サポート		
	KILL "**"	KILL "**" MOVE	KILL F, "**"
TSPL 対応プリンタ	V	V	
TSPL2 対応プリンタ	V		V

例

下記の例は、PC のパラレルポート経由で FILES コマンド 及び KILL コマンド を発行しています。

```
C:¥>COPY CON LPT1<ENTER>
FILES<ENTER>
<CTRL><Z><ENTER>
C:¥>COPY CON LPT1<ENTER>
KILL « DEMO.BAS « <ENTER>
<CTRL><Z><ENTER>
C:¥>COPY CON LPT1<ENTER>
FILES<ENTER>
<CTRL><Z><ENTER>
```

注意:
<ENTER> は、PC キーボードのEnterキー入力を意味します。<CTRL><Z> は、PC キーボードのCTRL キーを押しながらZ キーを押すことを意味します。

参考項目

~!F, FILES

● MOVE

説明

このコマンドは、DRAMメモリ中のダウンロードされたファイルをフラッシュメモリに移動します。

書式

MOVE

参考項目

DOWNLOAD, EOP

● RUN

説明

このコマンドは、プリンタメモリにあるプログラムを実行します。このコマンドは、TSPL2 言語対応プリンタで有効です。

書式

RUN "FILENAME.BAS"

- 注意:
- * このコマンドは、拡張子(/BAS)無しのファイル名に置き換えることができます。
 - * TDP-643 Plus, TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M, TTP-248M シリーズは、このコマンドをサポートしていません。

例

サンプルコード	結果
DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 SET TEAR ON CLS TEXT 100,100, "3",0,1,1, "DEMO PROGRAM" PRINT 1 EOP RUN "DEMO.BAS"	DEMO PROGRAM
DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 SET TEAR ON CLS TEXT 100,100, "3",0,1,1, "DEMO PROGRAM" PRINT 1 EOP DEMO	

参考項目

DOWNLOAD, EOP

BASIC コマンド

● ABS()

説明

このコマンドは、引数で指定された整数・小数・変数の絶対値を返します。

書式

ABS (VARIABLE)

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 SET TEAR ON CLS A=ABS(-100) B=ABS(-50.98) C=-99.99 TEXT 100,100, "3",0,1,1,STR\$(A) TEXT 100,150, "3",0,1,1,STR\$(B) TEXT 100,200, "3",0,1,1,STR\$(ABSI) PRINT 1 EOP RUN "TEST.BAS"</pre>	<pre>100 50.98 99.99</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP

● ASC()

説明

このコマンドは、引数で指定されたキャラクタの ASCII コードを 10 進数で返します。

書式

ASC (« A »)

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 SET TEAR ON CLS CODE1=ASC(« A ») TEXT 100,100, « 3 »,0,1,1,STR\$(CODE1) PRINT 1 EOP RUN "TEST.BAS"</pre>	65

参考項目

DOWNLOAD, EOP, STR\$()

● CHR\$()

説明

このコマンドは、引数で指定された ASCII コード (10 進数) に対応するキャラクタを返します。

書式

CHR\$(n)

引数	説明
n	ASCII コード (10 進数)

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 SET TEAR ON CLS A=75 WORD\$=CHR\$(A) TEXT 100,100, "3",0,1,1,WORD\$ PRINT 1 EOP RUN "TEST.BAS"</pre>	K

参考項目

DOWNLOAD, EOP, STR\$(), ASC\$()

● XOR\$()

説明

このコマンドは、引数で指定された2つのデータのXOR値を返します。

書式

XOR\$(data\$,password\$)

引数	説明
data\$	XOR するデータを指定します。
Password\$	XOR するデータと XOR するデータを指定します。
注意: このコマンドは、V6.38EZ 以降でサポートされています。	

例

サンプルコード	結果
<pre>data\$="1234" password\$="ABCD" encoded\$=XOR\$(data\$,password\$) deconded\$=XOR\$(encoded\$,password\$) SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1, "Encoded data: "+encoded\$ TEXT 10,60, "3",0,1,1, "Decoded data: "+deconded\$ PRINT 1</pre>	<pre>Encoded data: pppp Decoded data: 1234</pre>

● END

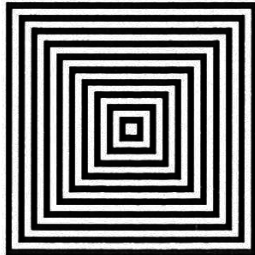
説明

このコマンドは、プログラムの終わりを意味します。

書式

END

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 200,60, "4",0,1,1, "END COMMAND TEST" X=300 Y=200 X1=500 Y1=400 GOSUB DR_LINE PRINT 1 END :DR_LINE FOR I=1 TO 100 STEP 10 BOX X+I,Y+I,X1-I,Y1-I,5 NEXT RETURN EOP DEMO</pre>	END COMMAND TEST 

参考項目

DOWNLOAD, EOP, GOSUB

● EOF()

説明

このコマンドは、オープンしているファイルが終わりに到達しているかを確認します。

書式

EOF (File Handle)

引数	説明
File handle	ファイルハンドル 0 または 1 を指定します。
戻り値	説明
0 以外	ファイルの終わり
0	ファイルの途中

例

サンプルコード <pre>DOWNLOAD "DATA",16,COMPUTER 2000 DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 3,3 GAP 0.0,0 DIRECTION 1 CLS OPEN "DATA",0 SEEK 0,0 Y=110 TEXT 10,10, "3",0,1,1, "*****EOF TEST*****" :A Temp\$="" READ 0,ITEM\$,P TEXT 10,Y,"2",0,1,1,ITEM\$+"\$" +STR\$(P)+"[EOF(0)="+STR\$(EOF(0))+"]" BARCODE 10,Y+25,"39",40,1,0,2,4,"PRICE-"+STR\$(P) Y=Y+100 IF EOF(0)=0 THEN GOTO A PRINT 1 EOP DEMO</pre>
結果 *****EOF TEST***** COMPUTER\$2000[EOF(0)=1]  PRICE-2000

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, READ, SEEK

● OPEN

説明

このコマンドは、指定されたファイルをオープンします。保持しているファイルハンドルが2つのため、1度に2つまでファイルをオープンすることができます。オープンするファイルは、予めプリンタメモリにダウンロードされている必要があります。プリンタは、このコマンドを実行すると、指定されたファイルがフラッシュメモリ及び拡張メモリボードに存在するかを自動的に検索します。

**V6.37 EZ以降では、指定ファイルが存在しない場合、プリンタは、そのファイルをフラッシュメモリに作成します。*

書式

OPEN [memory ID,] "filename",file handle

引数	説明								
[memory ID]	オープンするファイルが存在するメモリを指定します。この引数は、オプションです。 <i>*V6.68EZ以降でサポートしています。</i>								
	<table><tr><th>ID</th><th>メモリ</th></tr><tr><td>省略</td><td>DRAMメモリ</td></tr><tr><td>F</td><td>フラッシュメモリ</td></tr><tr><td>E</td><td>拡張メモリモジュール</td></tr></table>	ID	メモリ	省略	DRAMメモリ	F	フラッシュメモリ	E	拡張メモリモジュール
ID	メモリ								
省略	DRAMメモリ								
F	フラッシュメモリ								
E	拡張メモリモジュール								
filename	オープンするファイル名を指定します。								
file handle	ファイルハンドル0又は1を指定します。								

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DATA.DAT",18,Open file in DRAM. DOWNLOAD F, "DATA.DAT",19,Open file in FLASH. DOWNLOAD "TEST.BAS" data1\$="" data2\$="" data3\$="" OPEN "DATA.DAT",0 READ 0,data1\$ CLOSE 0 OPEN F, "DATA.DAT",0 READ 0,data2\$ CLOSE 0 KILL F, "*" OPEN "NEW.DAT",0 SEEK 0,0 WRITE 0, "Auto create a new file in FLASH." SEEK 0,0 READ 0,data3\$ CLOSE 0 SIZE 4,1 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,data1\$ TEXT 10,60,"3",0,1,1,data2\$ TEXT 10,110,"3",0,1,1,data3\$ PRINT 1 EOP TEST</pre>	<pre>Open file in DRAM. Open file in FLASH. Auto create a new file in FLASH.</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, READ, WRITE, SEEK, CLOSE

● CLOSE

説明

このコマンドは、指定されたファイルハンドルでオープンされたファイルをクローズします。

書式

CLOSE file handle

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルハンドルを 0 または 1 で指定します。

例

OPEN コマンド の例を参照ください。

● WRITE

説明

このコマンドは、指定されたファイルにデータを書き込みます。

書式

WRITE file handle,variables

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルハンドルを 0 または 1 で指定します。
variables	書き込むデータを指定します。(文字列・整数・小数など)

参考項目

READ, DOWNLOAD, EOP, OPEN, EOF, LOF, SEEK, FREAD\$()

● READ

説明

このコマンドは、指定されたファイルからデータを読み込みます。

書式

READ file handle,variables

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルハンドルを 0 または 1 で指定します。
variables	読み込んだデータを格納する変数を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DATA1",20,COMPUTER 2000 12 DOWNLOAD "DATA2",16,Mouse 900 93 DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 3,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 I=0 Y=100 OPEN "DATA1",0 OPEN "DATA2",1 SEEK 0,0 SEEK 1,0 :Start CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,"*****READ COMMAND TEST*****" TEXT 10,50,"3",0,1,1,"OPEN-READ DATA"+STR\$(I+1) ITEM\$="" READ I,ITEM\$,P,Q TEXT 10,Y, "2",0,1,1,ITEM\$+"\$" +STR\$(P) BARCODE 10,Y+25, »39 »,40,1,0,2,4, »PRICE* »+STR\$(Q)+ »= »+STR\$(P*Q) Y=Y+100 PRINT 1 Y=100 IF I<=1 THEN IF EOF(I)=1 THEN I=I+1 GOTO Start ELSE GOTO Start ENDIF ELSE END ENDIF EOP DEMO</pre>	<pre>*****READ COMMAND TEST***** OPEN-READ DATA3 \$900  PRICE*93=83700 *****READ COMMAND TEST***** OPEN-READ DATA2 Mouse\$900  PRICE*93=83700 *****READ COMMAND TEST***** OPEN-READ DATA1 COMPUTER\$2000  PRICE*12=24000</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, EOF, LOF, SEEK, FREAD\$()

● SEEK

説明

このコマンドは、指定されたファイルのファイルポインタを指定場所へ移動させます。

書式

SEEK file handle,offset

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルポインタを 0 または 1 で指定します。
offset	移動させるファイルポインタのオフセット値を指定します。

例

サンプルコード	結果
DOWNLOAD "DATA",12,1234567890 DOWNLOAD "TEST.BAS" SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 REFERENCE 0,0 CLS OPEN "DATA",0 SEEK 0,4 READ 0,Num\$ TEXT 100,10,"3",0,1,1,"SEEK COMMAND TEST" BAR 100,40,300,4 TEXT 100,60,"3",0,1,1,"SHIFT 4 CHARACTERS" TEXT 100,110,"3",0,1,1,Num\$ BAR 100,140,300,4 SEEK 0,0 READ 0,Num\$ TEXT 100,160,"3",0,1,1,"SHIFT 0 CHARACTERS" TEXT 100,210,"3",0,1,1,Num\$ PRINT 1 EOP TEST	SEEK COMMAND TEST SHIFT 4 CHARACTERS 567890 SHIFT 0 CHARACTERS 1234567890

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, READ, EOF, LOF, FREAD\$()

● LOF()

説明

このコマンドは、指定したファイルのサイズを取得します。

書式

LOF(“FILENAME”)

引数	説明
FILENAME	ファイル名を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DATA1",10,1234567890 DOWNLOAD "DATA2",15,ABCDEFGHIJKLMNO DOWNLOAD "LofTest.BAS" SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS OPEN "DATA1",0 OPEN "DATA2",1 TEXT 10,20,"4",0,1,1,"LOF() FUNCTION TEST" J=LOF("DATA1") K=LOF("DATA2") TEXT 10,140,"3",0,1,1,"DATA1 IS: "+STR\$(J)+"Bytes" TEXT 10,200,"3",0,1,1,"DATA2 IS: "+STR\$(K)+"Bytes" PRINT 1 EOP LofTest</pre>	LOF() FUNCTION TEST DATA1 IS: 10 Bytes DATA2 IS: 15 Bytes

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, READ, EOF, SEEK, FREAD\$()

● LOC()

説明

このコマンドは、指定されたファイルの現在のポインタ位置を取得します。

書式

LOC(file handle)

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルハンドル 0 または 1 を指定します。
注意: このコマンドは、V6.86EZ 以降でサポートしています。	

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DATA.DAT", 30, 12345678 12345678 12345678 DOWNLOAD "TEST.BAS" str1\$ = "" location = 0 OPEN "DATA.DAT", 0 READ 0, str1\$ location = LOC(0) CLOSE 0 SIZE 4, 1 GAP 0, 0 CLS TEXT 10, 10, "3", 0, 1, 1, "str1\$: "+str1\$ TEXT 10, 60, "3", 0, 1, 1, "Location:" +STR\$(location) PRINT 1 EOP TEST</pre>	<pre>str1\$: 12345678 Location:10</pre>

● FREAD\$()

説明

このコマンドはファイルから指定バイト数のデータを読み取ります。

書式

FREAD\$(file handle,byte)

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルハンドル 0 または 1 を指定します。
byte	読み取るバイト数を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DATA1",10,1234567890 DOWNLOAD "DATA2",15,ABCDEFGHJKLMNO DOWNLOAD "OPEN2.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS OPEN "DATA1",0 OPEN "DATA2",1 SEEK 0,0 SEEK 1,0 Y\$=FREAD\$(0,6) Z\$=FREAD\$(1,6) TEXT 10,100,"3",0,1,1,"FREAD\$(0,6) IS: "+Y\$ TEXT 10,150,"3",0,1,1,"FREAD\$(1,6) IS: "+Z\$ PRINT 1 EOP OPEN2</pre>	<pre>FREAD\$(0,6) IS: 123456 FREAD\$(1,6) IS: ABCDEF</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, READ, EOF, LOF(), SEEK

● PUT

説明

このコマンドは、ファイルに 1 バイトを追加します。

書式

```
PUT file handle,var1$[, var2$][,var3$][, ...]
```

```
PUT file handle,var1[, var2][,var3][, ...]
```

```
PUT file handle,var1$[, var2$][,var3$][, ...]
```

引数

file handle

var\$

var

注意

このコマンドは、V6.91EZ 以降でサポートされています。

説明

対象ファイルのファイルポインタ 0 または 1 を指定します。

データ 1 バイトをキャラクタで指定します。

データ 1 バイトを ASCII 値(10 進数)で指定します。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DATA1",10,1234567890
DOWNLOAD "TEST.BAS"
str1$ = ""
str2$ = ""
OPEN "DATA1",0
SEEK 0,0
READ 0,str1$
PUT 0,"a","B",49
SEEK 0,0
READ 0,str2$
CLOSE 0

SIZE 4,0.5
GAP 0,0
CLS
TEXT 10, 10,"3",0,1,1,"Original data in DATA1: "+str1$
TEXT 10, 60,"3",0,1,1,"New data in Data1: "+str2$
PRINT 1
EOP
TEST
```

結果

Original data in DATA1: 1234567890

New data in Data1: 1234567890aB1

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, READ, EOF, LOF(), SEEK, GET

● GET

説明

このコマンドは、ファイルから 1 バイト取得します。

書式

```
GET file handle,var1$[,var2$][,var3$][, ...]
```

```
GET file handle,var1[,var2][,var3][, ...]
```

```
GET file handle,var1$[,var2$][,var3$][, ...]
```

引数

file handle

var\$

var

注意

このコマンドは、V6.91EZ 以降でサポートされています。

説明

対象ファイルのファイルポインタ 0 または 1 を指定します。

取得した 1 バイト(キャラクタ)を格納します。

取得した 1 バイト(ASCII 値)を格納します。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DATA1",10,1234567890
```

```
DOWNLOAD "TEST.BAS"
```

```
a$=""
```

```
b$=""
```

```
c=0
```

```
d$=""
```

```
e$=""
```

```
OPEN "DATA1",0
```

```
SEEK 0,0
```

```
GET 0,a$,b$,c
```

```
SEEK 0,0
```

```
FOR I=1 TO 5
```

```
GET 0,d$
```

```
e$=e$+d$
```

```
NEXT
```

```
SIZE 4,0.5
```

```
GAP 0,0
```

```
CLS
```

```
TEXT 10,10,"3",0,1,1,"The first 3 characters in DATA1: "+a$+b$+" (" +STR$(c)+")"
```

```
TEXT 10,60,"3",0,1,1,"The first 5 characters in DATA1: "+e$
```

```
PRINT 1
```

```
EOP
```

```
TEST
```

結果

```
The first 3 characters in DATA1: 12 (51)
```

```
The first 5 characters in DATA1: 12345
```

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, READ, EOF, LOF(), SEEK, PUT

● COPY

説明

このコマンドは、ファイルをメモリからメモリへコピーします。

書式

COPY [memory ID of source,] "filename of source",[memory ID of new file,] "new filename"

引数	説明								
memory ID of source	ソースファイルがあるメモリを指定します。この引数はオプションです。 <table><tr><th>ID</th><th>メモリ</th></tr><tr><td>省略</td><td>DRAM メモリ</td></tr><tr><td>F</td><td>FLASH メモリ</td></tr><tr><td>E</td><td>拡張メモリモジュール</td></tr></table>	ID	メモリ	省略	DRAM メモリ	F	FLASH メモリ	E	拡張メモリモジュール
ID	メモリ								
省略	DRAM メモリ								
F	FLASH メモリ								
E	拡張メモリモジュール								
source filename	The file in CARD which you want to copy to on board FLASH.								
Memory ID of new file	コピー先のメモリを指定します。この引数はオプションです。 <table><tr><th>ID</th><th>メモリ</th></tr><tr><td>省略</td><td>DRAM メモリ</td></tr><tr><td>F</td><td>FLASH メモリ</td></tr></table>	ID	メモリ	省略	DRAM メモリ	F	FLASH メモリ		
ID	メモリ								
省略	DRAM メモリ								
F	FLASH メモリ								
new filename	新しいファイル名を指定します。								
注意:									
このコマンドは、V6.78EZ 以降でサポートしています。									

例

サンプルコード DOWNLOAD "DATA_D.DAT",105,We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry. DOWNLOAD "TEST.BAS" KILL F,"*" COPY "DATA_D.DAT",F,"DATA_F.DAT" OPEN "DATA_F.DAT",0 SEEK 0,0 data\$=FREAD\$(0,LOF("DATA_F.DAT")) CLOSE 0 SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS BOX 10,10,800,100,2 BLOCK 15,15,790,90,"0",0,8,8,20,2,data\$ PRINT 1 EOP TEST	
結果 203 dpi We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry. 300 dpi We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry.	

参考項目

DOWNLOAD, EOP, OPEN, FREAD\$(), EOF, LOF(), SEEK, CLOSE

● FOR...NEXT LOOP

説明

このコマンドは、1行又は複数行のコマンドのループ処理を行います。ループ回数は、ループカウンタ値で指定します。最大39までの値が許可されていますが、途中でのジャンプ処理は禁止されています。

書式

```
FOR variable = start TO end STEP increment  
    statement; start < end  
[EXITFOR]  
NEXT
```

引数	説明
variable	8文字までの変数名を指定します。
start	開始値を整数又は小数で指定します。
end	終了値を整数又は小数で指定します。
increment	増減値を整数又は小数で指定します。
EXITFOR	ループを強制的に終了します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" SIZE 4,2.5 GAP 0,0 CLS FOR I=1 TO 10 STEP 1 TEXT 100,10+30*(I-1),"3",0,1,1,STR\$(I) NEXT FOR I=1 TO 1000 STEP 100 TEXT 200,10+((I-1)/10)*3,"3",0,1,1,STR\$(I) NEXT FOR I=110 TO 10 STEP -10 TEXT 300,10+(ABS(I-110))*3,"3",0,1,1,STR\$(I) NEXT FOR I=1 TO 5 STEP 0.5 IF I-INT(I)=0 THEN Y=10+60*(I-1) ELSE Y=Y+30 TEXT 400,Y,"3",0,1,1,STR\$(I) NEXT PRINT 1 EOP TEST</pre>	<pre>1 1 110 1 2 101 100 1.5 3 201 90 2 4 301 80 2.5 5 401 70 3 6 501 60 3.5 7 601 50 4 8 701 40 4.5 9 801 30 5 10 901 20 10 901 20</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP

● WHILE...WEND

説明

このコマンドは、指定された条件が True になるまで、1 行又は複数行のコマンドをループ処理します。最大 39 までのネストが許可されています。

書式

```
WHILE condition
[statement]
WEND
```

引数	説明
condition	ループを終了する条件を指定します。比較演算子 <, >, =, <=, >=, <> が使用可能です。 *比較演算子 <> は、V5.10EZ 以降でサポートしています。
Statement	ループ処理を行いたい 1 行又は複数行のコマンドを記述します。
注意:	このコマンドは、V5.10EZ 以降でサポートしています。

例

サンプルコード	結果
DOWNLOAD "TEST.BAS" I=0 TOTAL=0 WHILE I<100 I=I+1 TOTAL=TOTAL+I WEND SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,"1+2+3+ ... + 100 = " +STR\$(TOTAL) PRINT 1 EOP TEST	1+2+3+ ... + 100 = 5050
DOWNLOAD "TEST.BAS" data\$ ="" SIZE 4,0.3 GAP 0,0 DIRECTION 1 INPUT "Data:",data\$ WHILE data\$ <> "Quit" CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,"Data: "+data\$ PRINT 1 INPUT "Data: ",data\$ WEND CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1, "Quit BAS" PRINT 1 EOP TEST 12345 67890 quit Quit	Quit BAS Data: quit Data: 67890 Data: 12345

● DO...LOOP

説明

このコマンドは、指定された条件が True になるまで、1 行又は複数行のコマンドをループ処理します。

書式

```
DO
    [statement]
    [EXITDO]
    [statement]
LOOP

DO WHILE condition
    [statement]
    [EXITDO]
    [statement]
LOOP

DO UNTIL condition
    [statement]
    [EXITDO]
    [statement]
LOOP

DO
    [statement]
    [EXITDO]
    [statement]
LOOP WHILE condition

DO
    [statement]
    [EXITDO]
    [statement]
LOOP UNTIL condition
```

引数	説明
condition	ループを終了する条件を指定します。比較演算子 <, >, =, <=, >=, <> が使用可能です。 *比較演算子 <> は、V5.10EZ 以降でサポートしています。
Statement	ループ処理を行いたい 1 行又は複数行のコマンドを記述します。
EXITDO	ループを強制的に終了します。
注意:	
このコマンドは、V5.10EZ 以降でサポートしています。	

例

サンプルコード	結果
<pre> DOWNLOAD "TEST.BAS" I=0 TOTAL=0 DO I=I+1 TOTAL=TOTAL+I IF I=100 THEN EXITDO LOOP SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,"1+2+3+ ... + 100 = " + STR\$(TOTAL) PRINT 1 EOP TEST </pre>	$1+2+3+ \dots + 100 = 5050$
<pre> DOWNLOAD "TEST.BAS" I=0 TOTAL=0 DO WHILE I<=100 TOTAL=TOTAL+I I=I+1 LOOP SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "1+2+3+ ... + 100 = " + STR\$(TOTAL) PRINT 1 EOP TEST </pre>	$1+2+3+ \dots + 100 = 5050$
<pre> DOWNLOAD "TEST.BAS" I=0 TOTAL=0 DO UNTIL I>100 TOTAL=TOTAL+I I=I+1 LOOP SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "1+2+3+ ... + 100 = " + STR\$(TOTAL) PRINT 1 EOP TEST </pre>	$1+2+3+ \dots + 100 = 5050$

<pre> DOWNLOAD "TEST.BAS" I=0 TOTAL=0 DO TOTAL=TOTAL+I I=I+1 LOOP WHILE I<101 SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "1+2+3+ ... + 100 =" + STR\$(TOTAL) PRINT 1 EOP TEST </pre>	$1+2+3+ \dots + 100 = 5050$
<pre> DOWNLOAD "TEST.BAS" I=0 TOTAL = 0 DO TOTAL = TOTAL + I I=I+1 LOOP UNTIL I>100 SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "1+2+3+ ... + 100 = " + STR\$(TOTAL) PRINT 1 EOP TEST </pre>	$1+2+3+ \dots + 100 = 5050$

● IF...THEN...ELSE...ENDIF

説明

このコマンドは、条件分岐により 1 行又は複数行のコマンドを実行します。シングルライン書式とマルチラインブロック書式が使用可能です。

注意: TDP-643 Plus, TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M シリーズは、マルチラインブロック書式をサポートしていません。

書式

IF condition THEN statement

注意: シングルライン書式 IF ...THEN では、ENDIF は使用しません。

Or

IF condition THEN (TSPL2 言語対応プログラムのみ)
Statements
ENDIF

Or

IF condition THEN (TSPL2 言語対応プログラムのみ)
Statements
ELSE
Statements
ENDIF

Or

IF condition 1 THEN (TSPL2 言語対応プログラムのみ)
Statement block 1
ELSEIF condition 2 THEN
Statement block 2
...
ELSEIF condition n THEN
Statement block n
ENDIF

***IF...THEN...ELSE 書式では、256 キャラクタ以内のシングルライン記述が必要です。**

引数	説明
condition	条件分岐の条件を指定します。比較演算子 <, >, =, <=, >=, <> が使用可能です。 *比較演算子 <> は、V5.10EZ 以降でサポートしています。
Statement	実行したいコマンド (ステートメント) を記述します。

例

サンプルコード	結果
<pre> DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,4 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS A=0 B=0 C=0 D=0 E=0 F=0 G=0 H=0 J=0 K=0 L=0 FOR I=1 TO 100 IF I-INT(I/1)*1=0 THEN A=A+I IF I-INT(I/2)*2=1 THEN B=B+I ELSE C=C+I IF I-INT(I/3)*3=0 THEN D=D+I ENDIF IF I-INT(I/5)*5=0 THEN E=E+I ELSE F=F+I ENDIF IF I-INT(I/7)*7=0 THEN G=G+I ELSEIF I-INT(I/17)*17=0 THEN H=H+I ELSEIF I-INT(I/27)*27=0 THEN J=J+I ELSEIF I-INT(I/37)*37=0 THEN K=K+I ELSE L=L+I ENDIF NEXT TEXT 100,110,"3",0,1,1,"(1) 1+2+3+...+100="+STR\$(A) TEXT 100,160,"3",0,1,1,"(2) 1+3+5+...+99="+STR\$(B) TEXT 100,210,"3",0,1,1,"(3) 2+4+6+...+100="+STR\$(C) TEXT 100,260,"3",0,1,1,"(4) 3+6+9+...+99="+STR\$(D) TEXT 100,310,"3",0,1,1,"(5) 5+10+15+...+100="+STR\$(E) TEXT 100,360,"3",0,1,1," (1)-(5)="+STR\$(F) TEXT 100,410,"3",0,1,1,"(6) 7+14+21+...+98="+STR\$(G) TEXT 100,460,"3",0,1,1,"(7) 17+34+51+...+85="+STR\$(H) TEXT 100,510,"3",0,1,1,"(8) 27+54+...+81="+STR\$(J) TEXT 100,560,"3",0,1,1,"(9) 37+74="+STR\$(K) TEXT 100,610,"3",0,1,1," </pre>	<pre> (1) 1+2+3+...+100=5050 (2) 1+3+5+...+99=2500 (3) 2+4+6+...+100=2550 (4) 3+6+9+...+99=1683 (5) 5+10+15+...+100=1050 (1)-(5)=4000 (6) 7+14+21+...+98=735 (7) 17+34+51+...+85=255 (8) 27+54+...+81=162 (9) 37+74=111 (1)-(6)-(7)-(8)-(9)=3787 </pre>

<pre> (1)-(6)-(7)-(8)-(9)="+STR\$(L) PRINT 1,1 EOP </pre>	
<pre> DOWNLOAD F, "TEST.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS A=85 B=10 :START IF A<100 THEN GOTO L1 ELSE GOTO L2 :L1 CLS TEXT 100,10, "3",0,1,1,STR\$(A) + " IS SMALLER THEN 100" PRINT 1 A=A+B GOTO START ENDIF :L2 CLS TEXT 100,10,"3",0,1,1,STR\$(A) + "IS LAGER THEN 100" PRINT 1 EOP TEST </pre>	<pre> 105 IS LAGER THEN 100 95 IS SMALLER THEN 100 85 IS SMALLER THEN 100 </pre>

注意:

IF 条件の結果がTrue(0 以外)の場合、THEN に続くコマンド (ステートメント) が実行されます。False(0)の場合は、ELSE に続くコマンド (ステートメント) が実行されます。ELSE が無い場合は、IF 分以降のコマンド (ステートメント) を実行します。

IF...THEN ...ELSE がマルチラインブロック書式で記述されている場合、IF 分の終了を意味する ENDIF を最後に記述する必要があります。

制限:

- 1 プログラム内の IF 分の数は、40 を超えてはいけません。
- 1 プログラム内の IF ...THEN ...ELSE, FOR...NEXT, GOSUB RETURN の総行数は、最大 40 です。

参考項目

DOWNLOAD, EOP

● GOSUB...RETURN

説明

このコマンドは、サブルーチンのコールと記述を行います。RETURN が実行されると、コールした GOSUB コマンドの次のラインへ処理が戻ります。

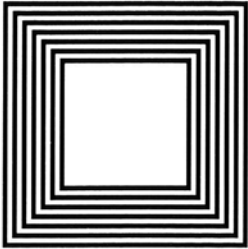
書式

```
GOSUB LABEL
      statement
END

: LABEL
      statement
RETURN
```

引数	説明
LABEL	サブルーチンのラベル名(サブルーチン名)を 8 キャラクタ以内で指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "GOSUB1.BAS" SIZE 4,3 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,"GOSUB & RETURN COMMAND TEST" GOSUB DR_BOX PRINT 1 END :DR_BOX FOR I=21 TO 81 STEP 10 BOX 80+I,80+I,80+300-I,80+300-I,5 NEXT RETURN EOP</pre>	GOSUB & RETURN COMMAND TEST 

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, GOTO

● GOTO

説明

このコマンドは、指定ラベル名へ処理ジャンプします。

書式

GOTO LABEL

: LABEL

引数	説明
LABEL	ラベル名を 8 キャラクタ以内で指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "GOTO1.BAS" SIZE 4,3 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS A=0 TOTAL=0 :START IF A<100 THEN GOTO SUM ELSE GOTO PRTOUT ENDIF :SUM A=A+1 TOTAL=TOTAL+A GOTO START :PRTOUT B\$="THE SUMMATION OF 1..100 IS "+STR\$(TOTAL) TEXT 10,100, "3",0,1,1,B\$ PRINT 1 END EOP</pre>	<pre>THE SUMMATION OF 1..100 IS 5050</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, GOSUB...RETURN

● INP\$()

説明

このコマンドは、指定 COM ポートからデータを 1 バイト受信(キャラクタ)します。

書式

INP\$(n)

引数	説明
N	COM ポートを指定します。 1 : COM1 ポート

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "TEST.BAS"
```

```
T$=""
```

```
FOR I=1 TO 5
```

```
T$=T$+INP$(1)
```

```
NEXT
```

```
SIZE 4,0.5
```

```
GAP 0,0
```

```
CLS
```

```
TEXT 10,10,"3",0,1,1, "The received data is: "+T$
```

```
PRINT 1
```

```
EOP
```

```
TEST
```

```
12345
```

結果

The received data is: 12345

参考項目

INP()

● INP()

説明

このコマンドは、指定 COM ポートからデータを 1 バイト受信 (ASCII 値) します。

書式

INP(n)

引数	説明
n	COM ポートを指定します。 1 : COM1 ポート
注意: このコマンドは、V6.91EZ 以降で廃止されています。	

例

サンプルコード <pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" 143sci=0 str\$="" FOR I=1 TO 5 143sci=INP(1) str\$=str\$+" " +STR\$(143sci) OUT 143sci NEXT SIZE 4,0.5 GAP 0,0 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "The received data is: "+str\$ PRINT 1 EOP TEST 12345</pre>
結果 The received data is: 49 50 51 52 53

参考項目

INP\$()

● LOB()

説明

このコマンドは、受信バッファにあるデータバイトを取得します。

書式

LOB ()

注意:

このコマンドは、V6.78EZ以降でサポートされています。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "TEST.BAS"
```

```
DATA$=""
```

```
WHILE LOB() <> 0
```

```
DATA$=DATA$+INP$(1)
```

```
WEND
```

```
SIZE 4,0.5
```

```
GAP 0,0
```

```
CLS
```

```
BOX 10,10,800,100,2
```

```
BLOCK 15,15,790,90,"0",0,8,8,DATA$
```

```
PRINT 1
```

```
EOP
```

```
TEST
```

```
We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry.
```

結果

203 dpi:

```
We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry.
```

300 dpi:

```
We stand behind our products with one of the most comprehensive support programs in the Auto-ID industry.
```

参考項目

INP\$(), WHILE ... WEND

● INPUT

説明

このコマンドは、KP-200 ホールタグ読みボードからのデータ入力を受信します。

書式

INPUT ["Prompt string", number of digits], variables

コマンド(,)を下記のようにセミコロン(;)に置き換えることもできます。

INPUT ["Prompt string"; number of digits]; variables

引数	説明
Prompt string	KP-200 ホールタグ読みボードの LCD に表示するプロンプト文字列を 20 キャラクタ以内で指定します。
Number of digits	入力する最大桁数を 1~255 の範囲で指定します。
Variables	入力データを格納する変数を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEXT.BAS" SIZE 4,3 GAP 0,0 DIRECTION 1 :START INPUT "CODE 39 : ",C39\$ INPUT "EAN 13:",12,E13\$ CLS TEXT 20,50,"3",0,1,1, "INPUT and KP-200 Test" BARCODE 20,100,"39",48,1,0,2,5,C39\$ BARCODE 20,200,"EAN13",48,1,0,4,4,E13\$ PRINT 1 GOTO START EOP TEXT 123456 123456789012</pre>	INPUT and KP-200 Test  123456  1 234567 890128

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, GOTO

● PREINPUT

説明

このコマンドは、INPUT コマンドで入力されるべき 1 桁目のキャラクタ指定します。

書式

```
PREINPUT var$  
PREINPUT CHR$(n)
```

引数	説明
var\$	1 桁目のキャラクタを指定します。
N	1 桁目のキャラクタを ASCII コード 1~255 で指定します。
注意: このコマンドは、V6.81EZ 以降でサポートされています。	

例

```
PREINPUT "<"  
PREINPUT CHR$(2)
```

参考項目

POSTINPUT, INPUT, SET FILTER

● POSTINPUT

説明

このコマンドは、INPUT コマンドで入力されるべき最後のキャラクタを指定します。

書式

```
POSTINPUT var$  
POSTINPUT CHR$(n)
```

引数	説明
var\$	最後のキャラクタを指定します。
N	最後のキャラクタを ASCII コード 1~255 で指定します。
注意: このコマンドは、V6.81EZ 以降で廃止されています。	

例

```
POSTINPUT ">"  
POSTINPUT CHR$(3)
```

参考項目

PREINPUT, INPUT, SET FILTER

● SET FILTER ON/OFF

説明

このコマンドは、PREINPUT 及び POSTINPUT コマンドを有効又は無効に設定します。

書式

SET FILTER ON/OFF

引数	説明
ON	PREINPUT 及び POSTINPUT コマンドを有効にします。
OFF	PREINPUT 及び POSTINPUT コマンドを無効にします。
注意: このコマンドは、V6.81EZ 以降でサポートしています。	

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" PREINPUT "<=" POSTINPUT ">=" SET FILTER ON START: INPUT "DATA",data1\$ SIZE 4,0.25 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "DATA = "+data1\$ PRINT 1 GOTO START EOP TEST <=1234=><=5678=><=9012=></pre>	<pre>DATA = 9012 DATA = 5678 DATA = 1234</pre>

参考項目

PREINPUT, POSTINPUT, INPUT

● REM

説明

このコマンドを先頭に記述すると、その行はコメントとして解釈されます。

書式

REM

例

サンプルコード

```
REM *****  
REM This is a demonstration program*  
REM *****  
DOWNLOAD "REMARK.BAS"  
SIZE 4,3  
GAP 0,0  
DIRECTION 1  
CLS  
TEXT 50,50,"3",0,1,1, "REMARK DEMO PROGRAM"  
REM TEXT 50,100, "3",0,1,1, "REMARK DEMO PROGRAM"  
PRINT 1,1  
EOP  
REMARK
```

結果

REMARK DEMO PROGRAM

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END

● OUT

説明

このコマンドは、指定されたポートからデータを送信します。

書式

```
OUT [port] "prompt",variable
OUT [port] "prompt";variable
```

引数	説明
port	データを送信するポートを指定します。この引数は、オプションです。 COM: COMポート USB: USBポート NET: LANポート
Prompt	プロンプトメッセージを指定します。
Variable	送信するデータを指定します。
,	"prompt" と "variable" が <0x0D><0x0A> で区切られます。
;	"variable" が "prompt" に続いて、区切り無しで送信されます。
注意:	
このコマンドは、V6.93EZ以降でサポートしています。	

例

```
サンプルコード
OUT USB "USB:","This is returning data from USB."
OUT COM "COM:","This is returning data from COM."
OUT NET "NET:","This is returning data from LAN."
```

結果

● OUTR

説明

このコマンドは、RS232ポートからデータを送信します。

書式

OUTR "prompt",variable

OUTR "prompt";variable

引数

prompt

Variable

,

;

注意:

このコマンドは、V6.68EZ以降でサポートしています。

説明

プロンプトメッセージを指定します。

送信するデータを指定します。

"prompt" と "variable" が <0x0D><0x0A> で区切られます。

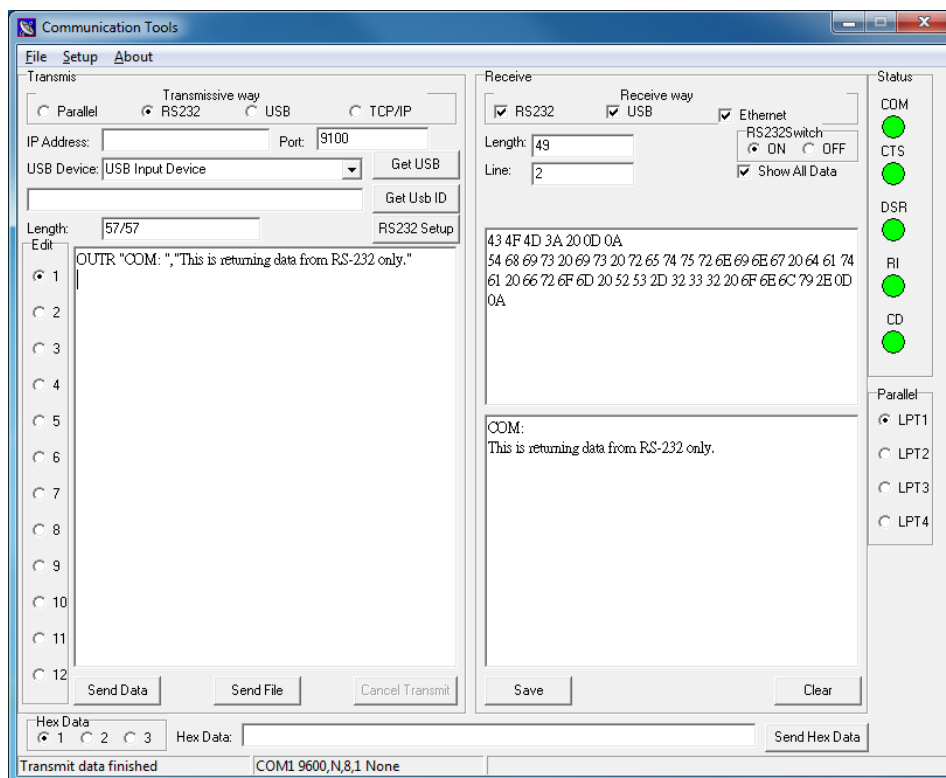
"variable" が "prompt" に続いて、区切り無しで送信されます。

例

サンプルコード

OUTR "COM: ", " This is returning data from RS-232 only."

結果



● GETKEY()

説明

このコマンドは、ポーズ及びフィードキーの状態を取得します。このコマンドを実行すると、何れかのキーが押されるまで待機し、ポーズキー(0)0又はフィードキー(1)1を返します。

書式

GETKEY()

ポーズキー	フィードキー
0	1

注意： TTP-243/244 シリーズ以外のデスクトッププリンタは、ポーズキーを装備していません。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO4.BAS"
SIZE 4,3
GAP 0,0
CLS
:START
A=GETKEY()
IF A=0 THEN GOTO PAUSEB
IF A=1 THEN GOTO FEEDB
:PAUSEB
CLS
TEXT 50,10, "4",0,1,1, "PAUSE key is pressed !"
PRINT 1
GOTO START
:FEEDB
CLS
TEXT 50,10, "4",0,1,1, "FEED key is pressed !"
PRINT 1
EOP
```

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, GOTO

● INT()

説明

このコマンドは、小数点以下を切り捨てます。

書式

INT (n)

引数	説明
n	Positive or negative integer, floating point number or mathematical expression

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 INPUT "Number: ",Num CLS REM **** To round up or down**** N=INT(Num+0.5) IF N>Num THEN TEXT 50,100, "3",0,1,1, "To round up= " +STR\$(N) ELSE TEXT 50,100, "3",0,1,1, "To round down= " +STR\$(N) ENDIF PRINT 1 EOP 56.2</pre>	To round down= 56

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, ABS(), ASC(), STR\$()

● LEFT\$()

説明

このコマンドは、与えられた文字列の左から指定バ 卜数を抽出します。

書式

LEFT\$(X\$, n)

引数	説明
X\$	処理する文字列を指定します。
n	左から抽出したいバ 卜数を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 A\$="BARCODE PRINTER DEMO PRINTING" C\$=LEFT\$(A\$,10) CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,A\$ TEXT 10,100,"3",0,1,1, "10 LEFT 10 CHARS: " +C\$ PRINT 1 EOP TEST</pre>	<pre>BARCODE PRINTER DEMO PRINTING 10 LEFT 10 CHARS: BARCODE PR</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, RIGHT\$(), MID\$(), LEN(), STR\$()

● **LEN()**

説明

このコマンドは、与えられた文字列のバイト数を取得します。

書式

LEN (string)

<u>引数</u>	<u>説明</u>
string	処理したい文字列を指定します。

例

<u>サンプルコード</u>	<u>結果</u>
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 A\$="ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ" B=LEN(A\$) CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1,A\$ TEXT 10,50, "3",0,1,1,"STRING LENGTH=" +STR\$(B) PRINT 1 EOP DEMO</pre>	<pre>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ STRING LENGTH=26</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, LEFT\$(), LEN(), RIGHT\$(), MID\$(), STR\$(), VAL()

● MID\$()

説明

このコマンドは、与えられた文字列の指定位置から指定バイト数を抽出します。

書式

MID\$(string,m,n)

引数	説明
string	処理したい文字列を指定します。
m	抽出を開始する左からのバイト数を指定します。 1 <= m <= 文字列のバイト数
n	抽出するバイト数を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 A\$="ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ" E\$=MID\$(A\$,11,10) CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1,A\$ TEXT 10,200, "3",0,1,1,"10 MIDDLE CHARS: "+E\$ PRINT 1 EOP DEMO</pre>	<pre>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 10 MIDDLE CHARS: KLMNOPQRST</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, LEFT\$(), LEN(), RIGHT\$(), STR\$(), VAL()

● RIGHT\$()

説明

このコマンドは、与えられた文字列の右から指定バツ数を抽出します。

書式

RIGHT\$(X\$,n)

引数	説明
X\$	処理する文字列を指定します。
n	右から抽出したいバツ数を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 A\$="ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ" D\$=RIGHT\$(A\$,10) CLS TEXT 10,10,"3",0,1,1,A\$ TEXT 10,150,"3",0,1,1, "10 RIGHT CHARS: "+D\$ PRINT 1 EOP DEMO</pre>	<pre>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 10 RIGHT CHARS: QRSTUVWXYZ</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, LEFT\$(), LEN(), MID\$(), STR\$(), VAL()

● STR\$()

説明

このコマンドは、与えられた値を文字列に変換します。

書式

STR\$(n)

引数	説明
n	処理したい値(整数・小数・数式)を指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 A\$="ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ" F=100 G=500 H\$=STR\$(F+G) CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1,A\$ TEXT 10,60, "3",0,1,1, "F=" +STR\$(F) TEXT 10,110, "3",0,1,1, "G=" +STR\$(G) TEXT 10,160, "3",0,1,1, "F+G=" +H\$ PRINT 1 EOP DEMO</pre>	<pre>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ F=100 G=500 F+G=600</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, LEFT\$(), LEN(), RIGHT\$(), MID\$(), VAL()

● STRCOMP()

説明

このコマンドは、2つの文字列を比較します。

書式

STRCOMP(str1\$,str2\$[,comp])

引数	説明
str1\$	比較する文字列 1 を指定します。
str2\$	比較する文字列 2 を指定します。
Comp	文字列比較モードを指定します。この引数は、オプションです。 0: バイナリモード (デフォルト) 1: テキストモード (大文字・小文字は区別されます)

比較結果	戻り値
等しくない(STR1\$が前にソート)	-1
等しい	0
等しくない(STR1\$が後ろにソート)	1

注意:
このコマンドは、V6.81EZ以降でサポートされています。

例

サンプルコード <pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" STR1\$ = "ABCD" STR2\$ = "abcd" RESULT1 = STRCOMP(STR1\$,STR2\$) RESULT2 = STRCOMP(STR1\$,STR2\$,1) RESULT3 = STRCOMP(STR2\$,STR1\$) SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 100,10,"3",0,1,1,STR\$(RESULT1)+" : ¥[""] +STR1\$+"¥[""] sorts ahead of ¥[""] +STR2\$+" ¥[""] TEXT 100,60,"3",0,1,1," " +STR\$(RESULT2)+" : ¥[""]+STR1\$+"¥[""] is equal to ¥[""]+STR2\$+"¥[""] TEXT 100,110,"3",0,1,1," " +STR\$(RESULT3)+" : ¥[""]+STR2\$+"¥[""] sorts after ¥[""]+STR1\$+"¥[""] PRINT 1 EOP TEST</pre>	結果 <pre>-1: "ABCD" sorts ahead of "abcd" 0: "ABCD" is equal to "abcd" 1: "abcd" sorts after "ABCD"</pre>
---	--

参考項目

INSTR()

● INSTR()

説明

この関数は、指定文字列を検索し、見つければその開始位置を取得します。

書式

INSTR ([start,]str1\$,str2\$)

引数	説明
start	検索を開始する位置(左からの桁数)を指定します。省略した場合は、1 桁目から検索します。この引数は、オプションです。
Str1\$	検索対象となる文字列を指定します。
Str2\$	検索する文字列を指定します。
注意:	この関数は、V6.59EZ以降で廃止されています。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
string$="ABC123ABC123"
searchfor$="123"
starpos=8

temp1=INSTR(string$,searchfor$)
temp2=INSTR(starpos,string$,searchfor$)

str1$=searchfor$+" in "+string$+" is "+STR$(temp1)
str2$=searchfor$+" in "+string$+" after" +STR$(starpos)+ " is "+STR$(temp2)

SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1,str1$
TEXT 10,60, "3",0,1,1,str2$
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
123 in ABC123ABC123 is 4
123 in ABC123ABC123 after 8 is 10
```

参考項目

STRCOMP()

● TRIM\$()

説明

この関数は、対象文字列の前後にあるスペース又は指定キャラクタを除去します。

書式

TRIM\$ (str\$[, list\$])

引数	説明
str\$	対象となる文字列を指定します。
List\$	除去したいキャラクタリストを指定します。
注意:	
この関数は、V6.59EZ以降でサポートしています。	

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
data1$="1234567"
data2$="a1234567a"
data3$="[<12345>]"

SIZE 4,1.5
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 50,020,"3",0,1,1,"LTRIM$(¥[""] +data1$+" ¥[""])           = " +LTRIM$(data1$)
TEXT 50,050,"3",0,1,1,"TRIM$ (¥[""] +data1$+"¥[""])           = " +TRIM$(data1$)
TEXT 50,080,"3",0,1,1,"RTRIM$(¥[""] +data1$+"¥[""])           = " +RTRIM$(data1$)
TEXT 50,110,"3",0,1,1,"LTRIM$(¥[""] +data2$+ "¥["], ¥[""]a¥[""]) = " +LTRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,140,"3",0,1,1,"TRIM$ (¥[""] +data2$+ "¥["], ¥[""]a¥[""]) = " +TRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,170,"3",0,1,1,"RTRIM$(¥[""] +data2$+ "¥["], ¥[""]a¥[""]) = " +RTRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,200,"3",0,1,1,"LTRIM$(¥[""] +data3$+ "¥["], ¥[""][<>]¥[""]) = " +LTRIM$(data3$,"[<>]")
TEXT 50,230,"3",0,1,1,"TRIM$ (¥[""] +data3$+ "¥["], ¥[""][<>]¥[""]) = " +TRIM$(data3$,"[<>]")
TEXT 50,260,"3",0,1,1,"RTRIM$(¥[""] +data3$+ " ¥["], ¥[""][<>]¥[""]) = " +RTRIM$(data3$,"[<>]")
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```

LTRIM$(" 1234567 ")           = 1234567
TRIM$ (" 1234567 ")           = 1234567
RTRIM$(" 1234567 ")           = 1234567
LTRIM$("a1234567a", "a")      = 1234567a
TRIM$ ("a1234567a", "a")      = 1234567
RTRIM$("a1234567a", "a")      = a1234567
LTRIM$("[<12345>]", "[<>]")    = 12345>]
TRIM$ (" [<12345>]", "[<>]")  = 12345
RTRIM$("[<12345>]", "[<>]")    = [<12345
```

参考項目

LTRIM\$(), RTRIM\$()

● LTRIM\$()

説明

この関数は、対象文字列の前方にあるスペース又は指定キャラクタを除去します。

書式

LTRIM\$ (str\$,list\$)

引数	説明
str\$	対象となる文字列を指定します。
List\$	除去したいキャラクタリストを指定します。

注意:

この関数は、V6.59EZ以降でサポートしています。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
data1$="1234567"
data2$="a1234567a"
data3$="[<12345>]"

SIZE 4,1.5
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 50,020,"3",0,1,1,"LTRIM$(¥["" +data1$+" ¥["" )      =" +LTRIM$(data1$)
TEXT 50,050,"3",0,1,1,"TRIM$ (¥["" +data1$+" ¥["" )      =" +TRIM$(data1$)
TEXT 50,080,"3",0,1,1,"RTRIM$(¥["" +data1$+" ¥["" )      =" +RTRIM$(data1$)
TEXT 50,110,"3",0,1,1,"LTRIM$(¥["" +data2$+" ¥["",¥[""a¥["" )      ="
+LTRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,140,"3",0,1,1,"TRIM$ (¥["" +data2$+" ¥["",¥[""a¥["" )      ="
+TRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,170,"3",0,1,1,"RTRIM$(¥["" +data2$+" ¥["",¥[""a¥["" )      ="
+RTRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,200,"3",0,1,1,"LTRIM$(¥["" +data3$+" ¥["",¥["" [>]¥["" )      ="
+LTRIM$(data3$," [>]")
TEXT 50,230,"3",0,1,1,"TRIM$ (¥["" +data3$+" ¥["",¥["" [>]¥["" )      ="
+TRIM$(data3$," [>]")
TEXT 50,260,"3",0,1,1,"RTRIM$(¥["" +data3$+" ¥["",¥["" [>]¥["" )      ="
+RTRIM$(data3$," [>]")
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
LTRIM$(" 1234567 ")      = 1234567
TRIM$ (" 1234567 ")      = 1234567
RTRIM$(" 1234567 ")      = 1234567
LTRIM$("a1234567a", "a") = 1234567a
TRIM$ ("a1234567a", "a") = 1234567
RTRIM$("a1234567a", "a") = a1234567
LTRIM$("[<12345>]", "[>]") = 12345>
TRIM$ (" [<12345>]", "[>]") = 12345
RTRIM$("[<12345>]", "[>]") = [<12345
```

参考項目

TRIM\$(), RTRIM\$()

● RTRIM\$()

説明

この関数は、対象文字列の後方にあるスペース又は指定キャラクタを除去します。

書式

RTRIM\$(str\$ [, list\$])

引数	説明
str\$	対象となる文字列を指定します。
List\$	除去したいキャラクタリストを指定します。
注意:	
この関数は、V6.59EZ以降でサポートしています。	

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
data1$=" 1234567"
data2$="a1234567a"
data3$="[<12345>]"

SIZE 4,1.5
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 50,020,"3",0,1,1, "LTRIM$(¥["" +data1$+" ¥["")           = " +LTRIM$(data1$)
TEXT 50,050,"3",0,1,1, "TRIM$ (¥["" +data1$+" ¥["")           = " +TRIM$(data1$)
TEXT 50,080,"3",0,1,1, "RTRIM$(¥["" +data1$+" ¥["")           = " +RTRIM$(data1$)
TEXT 50,110,"3",0,1,1, "LTRIM$(¥["" +data2$+" ¥["", ¥["]a¥["") =
" +LTRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,140,"3",0,1,1, "TRIM$ (¥["" +data2$+" ¥["", ¥["]a¥["") =
" +TRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,170,"3",0,1,1, "RTRIM$(¥["" +data2$+" ¥["", ¥["]a¥["") =
" +RTRIM$(data2$,"a")
TEXT 50,200,"3",0,1,1, "LTRIM$(¥["" +data3$+" ¥["", ¥["][<>]¥["") =
" +LTRIM$(data3$,"[<>]")
TEXT 50,230,"3",0,1,1, "TRIM$ (¥["" +data3$+" ¥["", ¥["][<>]¥["") =
" +TRIM$(data3$,"[<>]")
TEXT 50,260,"3",0,1,1, "RTRIM$(¥["" +data3$+" ¥["", ¥["][<>]¥["") =
" +RTRIM$(data3$,"[<>]")
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
LTRIM$(" 1234567 ")           = 1234567
TRIM$ (" 1234567 ")           = 1234567
RTRIM$(" 1234567 ")           = 1234567
LTRIM$("a1234567a", "a")      = 1234567a
TRIM$ ("a1234567a", "a")      = 1234567
RTRIM$("a1234567a", "a")      = a1234567
LTRIM$("[<12345>]", "[<>]")    = 12345>]
TRIM$ (" [<12345>]", "[<>]")  = 12345
RTRIM$("[<12345>]", "[<>]")    = [<12345
```

参考項目

TRIM\$(), LTRIM\$()

● TEXTPIXEL()

説明

このコマンドは、指定文字列の幅をドット単位で取得します。

書式

TEXTPIXEL (cont\$,font\$,size)

引数	説明
cont\$	対象となる文字列を指定します。
Font\$	フォントタイプを指定します。フォントタイプについては、TEXT コマンドを参照ください。
Size	フォントサイズを指定します。フォントサイズについては、TEXT コマンドを参照ください。
注意: このコマンドは、V6.61EZ以降でサポートしています。	

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" str\$="ABCDEFGG" font\$="3" fontsize=3 strwidth=TEXTPIXEL(str\$,font\$,fontsize) SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10,font\$,0,fontsize,fontsize,str\$ REVERSE 8,8,strwidth,72 PRINT 1 EOP TEST</pre>	

参考項目

TEXT, BARCODEPIXEL()

● BARCODEPIXEL ()

説明

このコマンドは、バーコードの幅をドット単位で取得します。

書式

BARCODEPIXEL (cont\$, sym\$, narrow, wide)

引数	説明
cont\$	バーコードにエンコードするデータを指定します。
Sym \$	バーコードタイプを指定します。バーコードタイプについては、BARCODE コマンドを参照ください。
Narrow	加幅の幅を指定します。加幅の幅については、BARCODE コマンドを参照ください。
Wide	ワイド幅の幅を指定します。ワイド幅の幅については、BARCODE コマンドを参照ください。
注意: このコマンドは、6.72EZ以降でサポートされています。	

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "TEST.BAS" cont\$="ABCDEFGG" sym\$="39" narrow=2 wide=6 codewidth=BARCODEPIXEL(cont\$,sym\$,narrow,wide) SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS BARCODE 10,10,sym\$,100,1,0,narrow,wide,cont\$ REVERSE 8,8,codewidth+8,132 BARCODE 10,160,sym\$,100,1,0,narrow,wide,cont\$ PRINT 1 EOP TEST</pre>	

参考項目

BARCODE, TEXTPIXEL()

● VAL()

説明

このコマンドは、文字列を対応する数値(整数・小数)に変換します。

書式

VAL ("numeric character")

引数	説明
numeric character	数値(整数・小数)に変換可能な文字列を "0~9" 及び "." で指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 A\$="ABCDEFGHJKLMNOPQRSTUVWXYZ" F\$="100" G\$="500" CLS H=VAL(F\$)+VAL(G\$) I\$=STR\$(H) TEXT 10,10, "3",0,1,1,A\$ TEXT 10,60, "3",0,1,1, "F=" +F\$ TEXT 10,110, "3",0,1,1, "G=" +G\$ TEXT 10,160, "3",0,1,1, "F+G=" +I\$ PRINT 1 EOP DEMO</pre>	<pre> ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ F=100 G=500 F+G=600</pre>

参考項目

DOWNLOAD, EOP, END, LEFT\$(), LEN(), RIGHT\$(), MID\$(), STR\$()

● BEEP

説明

このコマンドは、BEL(0x07)を KP-200 ポータブルキーボードに送信して、ビープを鳴動させます。

書式

BEEP

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,4
GAP 0,0
DIRECTION 1
BEEP
INPUT "Text1 =",TEXT1$
CLS
TEXT 100,100, "3",0,1,1,TEXT1$
PRINT 1
EOP
```

● NOW\$()

説明

このコマンドは、プリンタの現在日時を取得します。戻り値は、常に FORMAT\$ コマンドとセットで使います。

注意: このコマンドは、リアルタイムクロック(RTC)を搭載したプリンタでのみ有効です。

書式

NOW\$()

注意:

このコマンドは、V6.81EZ以降でサポートしています。

例

サンプルコード

```
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Now is " +NOW$( )
TEXT 10,60, "3",0,1,1,FORMAT$(NOW$(),"Long Date")
PRINT 1
```

結果

```
Now is 1/9/2013 2:19:27 PM
Tuesday, January 09 2013
```

● NOW

説明

この関数は、西暦 1900 年からの総経過日数を取得します。この関数は、常に FORMAT\$ 関数 及び DATEADD 関数 と併用します。

書式

NOW

注意:

この関数は、V6.87EZ 以降でサポートしています。

例

サンプルコード

```
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Total days since a.d. 1900: " +STR$(NOW)+ " days"
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "Date Info in RTC: " +FORMAT$(NOW, "General Date")
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "Date after a year: " +FORMAT$(DATEADD("yyyy",1,NOW),
"General Date")
PRINT 1
```

結果

```
Total days since a.d. 1900: 41283.597176 days
Date Info in RTC: 1/9/2013 2:19:56 PM
Date after a year: 1/9/2014 2:19:56 PM
```

● FORMAT\$()

説明

この関数は、日時を指定のフォーマットに変換します。

書式

FORMAT\$(expression[,style\$])

引数	説明
expression	有効な日時を指定します。
style\$	フォーマット名又は1-ザ-定義フォーマットを指定します。この引数は、オプションです。

定義済みフォーマット	説明
General Date	一般的な日時フォーマット(m/d/yyyy h:mm:ss AM/PM)
Long Date	ロング 日付フォーマット(英語月名 dd yyyy)
Medium Date	ミディアム 日付フォーマット(dd-mm-yy)
Short Date	ショート 日付フォーマット(m/d/yyyy)
Long Time	ロング 時刻フォーマット(h:mm:ss AM/PM)
Medium Time	ミディアム 時刻フォーマット(hh:mm AM/PM)
Short Time	ショート 時刻フォーマット(hh:mm)

1-ザ-定義フォーマット	説明
c	M/D/YYYY h:mm:ss AM/PM フォーマットで出力
d	日に対応する数字を出力(1~31)
dd	日に対応する数字を 2 桁で出力(01~31)
ddd	曜日に対応する英語短縮 3 桁で出力(Sun~Sat)
dddd	曜日に対応する英語フルネームを出力(Sunday~Saturday)
dddddd	日付を m/d/yyyy フォーマットで出力
dddddd	曜日、日付を dddd, mmmm dd, yyyy フォーマットで出力
w	曜日に対応する数字を出力(1~7=日曜~土曜)
ww	1 年の何週目かを示す数字を出力(1~53)
m	月に対応する数字を出力(1~12) 但し、m が h 又は hh の後ろにある場合は、分が優先
mm	月に対応する数字 2 桁を出力(01~12)
mmm	月に対応する英語短縮 3 桁を出力(Jan~Dec)
mmmm	月に対応する英語フルネームを出力(January~December)
q	1 年を 4 期として対応する数字を出力(1~4)
y	1 年の何日目かを出力(1~366)
yy	年に対応する数字 2 桁を出力(00~99)
yyyy	年に対応する数字 4 桁を出力(1000~9999)
h	時に対応する数字を出力(0~23)
hh	時に対応する数字 2 桁を出力(00~23)
n	分に対応する数字を出力(0~59)
nn	分に対応する数字 2 桁を出力(00~59)
s	秒に対応する数字を出力(0~59)
ss	秒に対応する数字 2 桁を出力(00~59)
ttttt	h:mm:ss AM/PM フォーマットで出力
AM/PM	午前(AM)か午後(PM)かを出力
am/pm	午前(am)か午後(pm)かを出力
A/P	午前(A)か午後(P)かを出力
a/p	午前(a)か午後(p)かを出力
AMPM	システム設定に従って、午前(AM/am)か午後(PM/pm)かを出力
¥	¥の次に来る千円符を出力
"string"	ダブルクォーテーションで囲まれた文字列を出力

注意:
この関数は、V6.81EZ 以降でサポートされています。

一般的な数字 (A1.97 以降)	説明
Currency	\$フォーマット(例 \$1,234.50)、円付入値の場合は、()内に値が入ります
Fixed	\$フォーマットと同じですが、先頭に\$マークと加減は付きません(1234.50)
Standard	\$フォーマットと同じですが、先頭に\$マークは付きません(1,243.50)
Percent	小数点 2 桁と%マークを伴ったパーセントフォーマット(123450.00%)
Scientific	標準指数フォーマット(1.23E+03)
Yes/No	0 以外は Yes、0 は No
True/False	0 以外は True、0 は False
On/Off	0 以外は On、0 は Off
ユーザー定義数字フォーマット (A1.97 以降)	説明
0	不足桁に 0 を表示
#	不足桁に何も表示無し
.	小数点位置
%	%表示
,	加減表示
E- E+ e- e+	指数表示
複数フォーマットオプション (A1.97 以降)	説明
One section only	全ての値に適用
Two sections	1 番目を正の値と 0 に、2 番目を負の値に適用
Three sections	1 番目を正の値に、2 番目を負の値に適用、3 番目を 0 に適用

サンプルコード	結果
<pre> SIZE 800 dot,1900 dot GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "General Date: "+FORMAT\$(NOW,"General Date") TEXT 10,60, "3",0,1,1, "Long Date: "+FORMAT\$(NOW,"Long Date") TEXT 10,110, "3",0,1,1, "Medium Date: "+FORMAT\$(NOW,"Medium Date") TEXT 10,160, "3",0,1,1, "Short Date: "+FORMAT\$(NOW,"Short Date") TEXT 10,210, "3",0,1,1, "Long Time: "+FORMAT\$(NOW,"Long Time") TEXT 10,260, "3",0,1,1, "Medium Time: "+FORMAT\$(NOW,"Medium Time") TEXT 10,310, "3",0,1,1, "Short Time: "+FORMAT\$(NOW,"Short Time") TEXT 10,360, "3",0,1,1, "c: "+FORMAT\$(NOW,"c") TEXT 10,410, "3",0,1,1, "d: "+FORMAT\$(NOW,"d") TEXT 10,460, "3",0,1,1, "dd: "+FORMAT\$(NOW,"dd") TEXT 10,510, "3",0,1,1, "ddd: "+FORMAT\$(NOW,"ddd") TEXT 10,560, "3",0,1,1, "dddd: "+FORMAT\$(NOW,"dddd") TEXT 10,610, "3",0,1,1, "dddddd: "+ FORMAT\$(NOW,"dddddd") TEXT 10,660, "3",0,1,1, "ddddddd: "+ FORMAT\$(NOW,"ddddddd") TEXT 10,710, "3",0,1,1, "w: "+FORMAT\$(NOW,"w") TEXT 10,760, "3",0,1,1, "ww: "+FORMAT\$(NOW,"ww") TEXT 10,810, "3",0,1,1, "m: "+FORMAT\$(NOW,"m") TEXT 10,860, "3",0,1,1, "mm: "+FORMAT\$(NOW,"mm") TEXT 10,910, "3",0,1,1, "mmm: "+FORMAT\$(NOW,"mmm") TEXT 10,960, "3",0,1,1, "mmmm: "+FORMAT\$(NOW,"mmmm") TEXT 10,1010, "3",0,1,1, "q: "+FORMAT\$(NOW,"q") TEXT 10,1060, "3",0,1,1, "y: "+FORMAT\$(NOW,"y") TEXT 10,1110, "3",0,1,1, "yy: "+FORMAT\$(NOW,"yy") TEXT 10,1160, "3",0,1,1, "yyyy: "+ FORMAT\$(NOW,"yyyy") TEXT 10,1210, "3",0,1,1, "h: "+FORMAT\$(NOW,"h") TEXT 10,1260, "3",0,1,1, "hh: "+FORMAT\$(NOW,"hh") TEXT 10,1310, "3",0,1,1, "n: "+FORMAT\$(NOW,"n") TEXT 10,1360, "3",0,1,1, "nn: "+FORMAT\$(NOW,"nn") TEXT 10,1410, "3",0,1,1, "s: "+FORMAT\$(NOW,"s") TEXT 10,1460, "3",0,1,1, "ss: "+FORMAT\$(NOW,"ss") TEXT 10,1510, "3",0,1,1, "ttttt: "+ FORMAT\$(NOW,"ttttt") TEXT 10,1560, "3",0,1,1, "AM/PM: "+ FORMAT\$(NOW,"AM/PM") TEXT 10,1610, "3",0,1,1, "am/pm: "+ FORMAT\$(NOW,"am/pm") TEXT 10,1660, "3",0,1,1, "A/P: "+FORMAT\$(NOW,"A/P") TEXT 10,1710, "3",0,1,1, "a/p: "+FORMAT\$(NOW,"a/p") TEXT 10,1760, "3",0,1,1, "AMPM: "+ FORMAT\$(NOW,"AMPM") TEXT 10,1810, "3",0,1,1, "¥: "+FORMAT\$(NOW,"To¥da¥y i¥s dddd") TEXT 10,1860, "3",0,1,1, "string: "+ FORMAT\$(NOW,"To¥da¥y i¥s dddd") PRINT 1 </pre>	<pre> General Date:1/9/2013 2:46:18 PM Long Date:Tuesday, January 09 2013 Medium Date:09-Jan-13 Short Date:1/9/2013 Long Time:2:46:18 PM Medium Time:02:46 PM Short Time:14:46 c:1/9/2013 2:46:18 PM d:9 dd:09 ddd:Tue dddd:Tuesday dddddd:1/9/2013 dddddd:Tuesday, January 09 2013 w:3 ww:2 m:1 mm:01 mmm:Jan mmmm:January q:1 y:9 yy:13 yyyy:2013 h:14 hh:14 n:46 nn:46 s:18 ss:18 ttttt:2:46:18 PM AM/PM:PM am/pm:pm A/P:P a/p:p AMPM:PM ¥:Today is 1/9/2013 string:Today is 1/9/2013 </pre>

● DATEADD()

説明

この関数は、与えられた日時増減値を考慮した日時を取得します。この関数は、常に FORMAT\$関数と併用します。

書式

DATEADD(interval\$,number,date)

引数	説明																						
interval\$	増減対象日時項目を指定します。 <table><tr><th>Interval\$</th><th>増減対象日時項目</th></tr><tr><td>"yyyy"</td><td>年</td></tr><tr><td>"q"</td><td>1/4 年</td></tr><tr><td>"m"</td><td>月</td></tr><tr><td>"y"</td><td>1 年の経過日</td></tr><tr><td>"d"</td><td>日</td></tr><tr><td>"w"</td><td>曜日</td></tr><tr><td>"ww"</td><td>1 年の経過週</td></tr><tr><td>"h"</td><td>時</td></tr><tr><td>"n"</td><td>分</td></tr><tr><td>"s"</td><td>秒</td></tr></table>	Interval\$	増減対象日時項目	"yyyy"	年	"q"	1/4 年	"m"	月	"y"	1 年の経過日	"d"	日	"w"	曜日	"ww"	1 年の経過週	"h"	時	"n"	分	"s"	秒
Interval\$	増減対象日時項目																						
"yyyy"	年																						
"q"	1/4 年																						
"m"	月																						
"y"	1 年の経過日																						
"d"	日																						
"w"	曜日																						
"ww"	1 年の経過週																						
"h"	時																						
"n"	分																						
"s"	秒																						
Number	増減値を指定します。																						
Date	The date which is used to add the interval\$. Date format: "yyyy/mm/dd" Time format: "hh:nn:ss"																						
注意: この関数は、V6.87EZ 以降でサポートしています。																							

例

<pre>サンプルコード 1 SIZE 4,2 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, " 3",0,1,1, " Current RTC info: " +NOW\$() TEXT 10,60, " 3",0,1,1, " -1 year: " +FORMAT\$(DATEADD(" yyyy",-1, " 11/26/2012 10:08:00"), " yyyy/mm/dd hh:nn:ss") TEXT 10,110, " 3",0,1,1, " +9 months: " +FORMAT\$(DATEADD(" m",9,NOW), " Short Date") TEXT 10,160, " 3",0,1,1, " -8 hours: " +FORMAT\$(DATEADD(" h",-8,NOW), " Short Time") TEXT 10,210, " 3",0,1,1, " +5 mins: " +FORMAT\$(DATEADD(" n",5,NOW), " Short Time") TEXT 10,260, " 3",0,1,1, " +00 day: " +FORMAT\$(NOW, " Short Date") TEXT 10,310, " 3",0,1,1, " +20 days: " +FORMAT\$(DATEADD(" d",20,NOW), " Short Date") TEXT 10,360, " 3",0,1,1, " -20 day: " +FORMAT\$(DATEADD(" d",-20,NOW), " Short Date") PRINT 1</pre>	
結果 1	<pre>Current RTC info: 1/9/2013 3:20:06 PM -1 year: 2011/11/26 10:08:00 +9 months: 10/9/2013 -8 hours: 07:20 +5 mins: 15:25 +00 day: 1/9/2013 +20 days: 1/29/2013 -20 day: 12/20/2012</pre>

サンプルコード 2

```
SIZE 4,2
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,60," 3",0,1,1," -1 year:  " +FORMAT$(DATEADD(" yyyy", -1, " 11/26/2012
10:08"),"yyyy/mm/dd hh:nn AM/PM")
TEXT 10,110,"3",0,1,1,"+9 months:  " +FORMAT$(DATEADD("m",9,"11/26/2012
10:08"),"yyyy/mm/dd hh:nn AM/PM")
TEXT 10,160,"3",0,1,1,"+8 hours:  " +FORMAT$(DATEADD("h", +8,"11/26/2012
10:08"),"yyyy/mm/dd hh:nn AM/PM")
TEXT 10,210,"3",0,1,1,"+00 day:  " +FORMAT$("11/26/2012 10:08:00","yyyy/mm/dd
hh:nn AM/PM")
TEXT 10,260,"3",0,1,1,"+20 days:  " +FORMAT$(DATEADD("d",20,"11/26/2012
10:08"),"yyyy/mm/dd hh:nn AM/PM")
TEXT 10,310,"3",0,1,1,"-20 days:  " +FORMAT$(DATEADD("d", -20,"11/26/2012
10:08"),"yyyy/mm/dd hh:nn AM/PM")
PRINT 1
```

結果 2

```
-1 year:  2011/11/26 10:08 AM
+9 months: 2013/08/26 10:08 AM
+8 hours:  2012/11/26 06:08 PM
+00 day:   2012/11/26 10:08 AM
+20 days:  2012/12/16 10:08 AM
-20 days:  2012/11/06 10:08 AM
```

● FSEARCH()

説明

このコマンドは、ファイルから指定文字列を検索し、その位置を取得します。

書式

FSEARCH(file handle, STR\$)

引数	説明
file handle	対象ファイルのファイルハンドルを 0 又は 1 で指定します。
STR\$	検索したい文字列を指定します。
注意: このコマンドは、A1.88EZ 以降でサポートしています。	

例

サンプルコード	結果
DOWNLOAD"DATA1",10,1234567890 DOWNLOAD"DATA2",15,ABCDEFGHIJKLMNO DOWNLOAD"Test.BAS" SIZE 4,1.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS OPEN"DATA1",0 OPEN"DATA2",1 TEXT 10,90,"4",0,1,1,"FSEARCH() FUNCTION TEST" A=FSEARCH(0,"8") B=FSEARCH(1,"J") TEXT 10,140,"3",0,1,1,"8 position is:"+STR\$(A) TEXT 10,180,"3",0,1,1,"J position is:"+STR\$(B) PRINT 1 EOP Test	FSEARCH() FUNCTION TEST 8 position is: 7 J position is: 9

● TOUCHPRESS ()

説明

このコマンドは、タッチスクリーンのステータスを取得します。指定されたタッチスクリーン領域が押されていれば 1 を、押されていなければ 0 を返します。

書式

TOUCHPRESS (left, top, right, bottom)

引数	説明
left	ピクセル単位でステータスを検出するタッチスクリーン領域開始位置の左上 X 座標を指定します。
top	ピクセル単位でステータスを検出するタッチスクリーン領域開始位置の左上 Y 座標を指定します。
right	ピクセル単位でステータスを検出するタッチスクリーン領域終了位置の右下 X 座標を指定します。
bottom	ピクセル単位でステータスを検出するタッチスクリーン領域終了位置の右下 Y 座標を指定します。

(Left , Top)

(Right, Top)

Region

(Left , Bottom)

(Right, Bottom)

注意:

- このコマンドは、A1.76EZ 以降でサポートしています。
- このコマンドは、MT やMX シリーズのように272(W)x480(H)ピクセルタッチスクリーンを搭載したプリンタでのみ使用可能です。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
:START
IF TOUCHPRESS(0,90,272,120) <> 0 THEN G
GOTO START
ENDIF
:A
CLS
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
TEXT 30,30,"3",0,1,1,"TOUCH TEST!!"
PRINT 1,1
EOP
DEMO
```

TX240Pシリーズ ディスプレイ座標

(0,0)

(271,0)

(0,479)

(271,479)

サンプルコード 2: (since VA1.97)

```
DOWNLOAD "TEST.CSV",121,6,
Number,String
1234,ABCD
"12,34","AB,CD"
"12
34","AB
CD"
"12""34","AB""CD"
""1234","""ABCD"
"1234""","ABCD"""
```

```
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 1, "Number",
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 2, 1,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 3, 1,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 4, 1,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 5, 1,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 6, 1,
ASC(", "))
```

```
OUT ""
```

```
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 1, "String",
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 2, 2,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 3, 2,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 4, 2,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 5, 2,
ASC(", "))
OUT RECORDSET$("TEST.CSV", 6, 2,
ASC(", "))
```

表書式 (TEST.CSV)

列数	6	
カラム名	Number	String
列 1	1234	ABCD
列 2	12,34	AB,CD
列 3	12 34	AB CD
列 4	12"34	AB"CD
列 5	"1234	"ABCD
列 6	1234"	ABCD"
	カラム 1	カラム 2

結果

```
1234
12,34
12
34
12"34
"1234
1234"

ABCD
AB,CD
AB
CD
AB"CD
"ABCD
ABCD"
```

● LABELRATIO

説明

このコマンドは、ラベルの印刷比率を出力します。

書式

LABELRATIO

注意:

このコマンドは、V8.00EZ以降でサポートしています。

例

サンプルコード	結果
LABELRATIO	↓ Width (幅): 4.25*203=864 High (高さ): 8*203=1624 width=864, high=1624 TotalPrintRate = 10880/1403136 bits (0.78%) ↓ 864*1624=1403136

デバイスコンフィグレーションコマンド

● SET COUNTER

説明

このコマンドは、カウンタ初期値をセットし、指定された値でカウンタ(増減)を行います。使用できるカウンタは、数字(0~9~0)、英小文字(a~z~a)、英大文字(A~Z~A)の3種です。

書式

SET COUNTER @n step
@n= "Expression"

引数	説明
@n	カウンタ番号を指定します。@0~@60 までの 61 カウンタが使用でき、@51~@60 は、プログラマをデフォルトにリセットするまで不揮発性メモリに保持されるカウンタで、@0~@50 は、プログラマを再起動(電源再立ち上げ)するとカウンタもクリアされます。 @51~@55 は、V6.37EZ 以降でサポートしていません。 @56~@60 は、V6.74EZ 以降でサポートしていません。
Step	増減カウンタ値を指定します。範囲は、-999999999 <= Step <= 999999999 です。カウンタを固定値として使用したい場合は、0 を指定してください。
Expression	初期値を 101 バイト以内の文字列で指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>SET COUNTER @0 +1 SET COUNTER @1 +0 SET COUNTER @2 -1 SET COUNTER @3 1 @0= " 0001 " @1= " 0101 " @2= " 000A " @3= " 1 " SIZE 4,0.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 600,10, " 3 ",0,1,1,3, " @0 @1 @2 " TEXT 600,30, " 3 ",0,1,1,3, « Label " +@3+ " -----" TEXT 600,50, "3 ",0,1,1,3,@0+ " " +@1+ " " +@ 2 PRINT 5</pre>	<pre>Label 5 -----e0-----e1-----e2 0005 0101 999U Label 4 -----e0-----e1-----e2 0004 0101 999X Label 3 -----e0-----e1-----e2 0003 0101 999Y Label 2 -----e0-----e1-----e2 0002 0101 999Z Label 1 -----e0-----e1-----e2 0001 0101 000A</pre>

参考項目

PRINT, TEXT, BARCODE

● SET CUTTER

説明

このコマンドは、何枚のラベル印刷後にカッターを駆動するなどカッター制御を行います。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET CUTTER OFF/BATCH/pieces

引数	説明
OFF	カッターを駆動しません。
BATCH	印刷ジョブ終了後にカッターを駆動します。
Pieces	何枚のラベル印刷後にカッターを駆動するか指定します。(0<= pieces <=65535)
注意: ・V6.86EZ以降では、カッターモジュールがインストールされていない場合に、SET CUTTER ON にセットしても、カッターエラーは発生しません。	

例

サンプルコード	結果
SIZE 3,3 GAP 0,0 SET CUTTER OFF SET PEEL OFF CLS TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET CUTTER OFF" PRINT 3	The cutter function is disabling.
SET CUTTER BATCH CLS TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET CUTTER BATCH" PRINT 3,2	The cutter cuts once after 6 labels are printed.
SET CUTTER 1 CLS TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET CUTTER 1" PRINT 3,2	The cutter cuts every label.
CLS TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET CUTTER 2" PRINT 3,2	The cutter cuts every 2 labels.

参考項目

OFFSET, PRINT, SET PARTIAL_CUTTER

● SET PARTIAL_CUTTER

説明

このコマンドは、何枚のラベル印刷後にカッターを駆動するなどカッター制御(パースェルカット)を行います。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET PARTIAL_CUTTER OFF/BATCH/Pieces

引数	説明
OFF	カッターを駆動しません。
BATCH	印刷ジョブ終了後にカッターを駆動します。
Pieces	何枚のラベル印刷後にカッターを駆動するか指定します。(0<= pieces <=65535)

例

サンプルコード

```
REM **SET PARTIAL_CUTTER FUNCTION OFF 例 PROGRAM**
SIZE 3,1
GAP 0,0
DENSITY 8
SPEED 6
DIRECTION 0
REFERENCE 0,0
SET PARTIAL_CUTTER OFF
CLS
TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET PARTIAL_CUTTER OFF"
PRINT 3
REM ***This program cuts once at the batch***
SET PARTIAL_CUTTER BATCH
CLS
TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET PARTIAL_CUTTER BATCH"
PRINT 3,2
REM ***This program cuts every label***
SET PARTIAL_CUTTER 1
CLS
TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET PARTIAL_CUTTER 1"
PRINT 3,2
REM ***This program cuts 2 label***
SET PARTIAL_CUTTER 2
CLS
TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET PARTIAL_CUTTER 2"
PRINT 3,2
```

参考項目

OFFSET, PRINT, SET CUTTER

● SET BACK

説明

このコマンドは、カッター駆動後のバックフィードを防止します。通常、SET CUTTER コマンドの後に実行します。

書式

SET BACK OFF/ON

引数	説明
OFF	バックフィードを禁止します。
ON	バックフィードを許可します。

注意: TDP-643 Plus , TTP-243, TTP-342, TTP-244ME, TTP-342M, TTP-248M シリーズは、このコマンドをサポートしていません。

例

サンプルコード

```
REM **SET BACK FUNCTION OFF EXAMPLE PROGRAM**
SIZE 3,1
GAP 0,0
DENSITY 8
SPEED 6
DIRECTION 1
REFERENCE 0,0
SET CUTTER 1
SET BACK OFF
CLS
TEXT 50,50, "3 ",0,1,1, "SET BACK OFF "
PRINT 3
CLS
SET CUTTER 1
SET BACK ON
TEXT 50,50, "3",0,1,1, "SET BACK ON "
PRINT 3
```

参考項目

OFFSET, PRINT, SET CUTTER

● SET KEYn

説明

このコマンドは、キー機能の設定を行います。キー機能を使用する場合は、まず、キーのデフォルト機能を無効にします。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET KEYn ON/OFF/DEFAULT/MENU/PAUSE/PRINT m/FEED/BACKFEED/FORMFEED/CUT/INPUT "string"

引数	説明
n	キー番号を指定します。(0~6)
ON	キー機能を有効にします。
OFF	キー機能を無効にします。
DEFAULT	キー機能をデフォルトに戻します。
MENU	MENU キーに設定します。
PAUSE	PAUSE キーに設定します。
PRINT m	PRINT キーに設定します。m には、印刷枚数を 0~32000 の範囲で指定します。
FEED	FEED キーに設定します。キーを押している間、ペーパーをフィードします。
BACKFEED	BACKFEED キーに設定します。キーを押している間、ペーパーをバックフィードします。
FORMFEED	FORMFEED キーに設定します。キーを押すと、設定されているパールの高さに合わせてフィードします。
CUT	CUT キーに設定します。
INPUT "string"	指定されたコマンド (string) を送信します。 (例: SET KEY1 INPUT "CONFIG " + CHR\$(13) + CHR\$(10))

下記に各プリンタ型式のデフォルトキー機能を示します。

プリンタ型式	KEY0	KEY1	KEY2	KEY3	KEY4	KEY5	KEY6
TDP-643 Plus/ 643R Plus		PAUSE					
TTP-243/243 Plus/243 Pro シリーズ, TTP-244ME/244 ME Plus/244M Pro シリーズ, TTP-244/ 244 Plus シリーズ		PAUSE	FEED				
TDP-245/247 シリーズ, TTP-245/247 シリーズ, TTP-245C シリーズ, TDP-225 シリーズ, TTP-225 シリーズ, TA200 シリーズ, Alpha-3R, DA シリーズ, TE シリーズ, Alpha-2R		FEED					
TX200 シリーズ (with LCD), TC210 シリーズ (with LCD), TX600 シリーズ, MX240P シリーズ, MH シリーズ		FEED	MENU	UP	RIGHT	LEFT	DOWN
TTP-246M シリーズ		MENU	PAUSE	FEED	(UP)	(DOWN)	(SELECT)
TTP-248M シリーズ		MENU	PAUSE	FEED			
TTP-2410M/2410M Pro シリーズ, TTP-246M Plus/246M Pro シリーズ, TTP-268M シリーズ, TTP-384M シリーズ, ME240(LCD control panel) シリーズ		MENU	PAUSE	FEED	UP	DOWN	SELECT
ME240 シリーズ		FEED	PAUSE				
M23 シリーズ	FEED	LEFT	MID	RIGHT			
Alpha-4L		FEED	INFO	MENU			
MX240 シリーズ, TTP-2410MT/MU シリーズ		PAUSE	MENU	FEED	UP	SELECT	DOWN

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 3,1
GAP 0,0
DENSITY 8
SPEED 3
DIRECTION 0
REFERENCE 0,0
SET CUTTER OFF
SET KEY1 OFF
SET KEY2 OFF
SET KEY3 OFF
KEY1=0
KEY2=0
KEY3=0

:START
IF KEY1=1 THEN
CLS
TEXT 100,10, "3",0,1,1, "KEY1 (MENU key) is pressed!! "
PRINT 1,1
ELSEIF KEY2=1 THEN
CLS
TEXT 100,10, "3",0,1,1, "KEY2 (PAUSE key) is pressed!! "
PRINT 1,1
ELSEIF KEY3=1 THEN
CLS
TEXT 100,10, "3",0,1,1, "KEY3 (FEED key) is pressed!! "
TEXT 100,60, "3",0,1,1, "End of test"
PRINT 1,1
SET KEY1 ON
SET KEY2 ON
SET KEY3 ON
END
ENDIF
GOTO START
EOP
DEMO
```

参考項目

OFFEST, PRINT

● SET LEDn

説明

このコマンドは、LED 機能の設定を行います。

書式

SET LED1 ON/OFF
SET LED2 ON/OFF
SET LED3 ON/OFF

LED 番号	デフォルト機能
LDE1	電源オン/オフ
LED2	プリンタオンライン/オフライン
LED3	エラー/デフォルト (エラー無し)
引数	説明
ON	LED 機能を有効にします。
OFF	LED 機能を無効にします。

下記に各プリンタ型式の LED デフォルト機能を示します。

プリンタ型式	LED1	LED2	LED3	LED4	LED5	LED6	LED7	LED2 & LED3
TDP-643 Plus/ 643R Plus シリーズ	ONLINE	ERROR	ERROR					
TTP-243/243 Plus/243 Pro シリーズ, TTP-244ME/244 ME Plus/244M Pro シリーズ, TTP-244/ 244 Plus シリーズ								
TTP-2410M/2410M Pro シリーズ, TTP-246M Plus/246M Pro シリーズ, TTP-268M シリーズ, TTP-384M シリーズ, ME240 シリーズ, MX240 シリーズ, MX240P シリーズ	POWER	ONLINE	ERROR					
TDP-245/247 シリーズ, TTP-245/247 シリーズ, TTP-245C シリーズ, TDP-225 シリーズ, TTP-225 シリーズ, DA200 シリーズ, TA200 シリーズ, TC210 シリーズ, TE200 シリーズ, MH シリーズ Note: For this シリーズ, the LED1=LED2	GREEN	GREEN	RED					ORANGE
Alpha-2R シリーズ, Alpha-3R シリーズ	GREEN	RED	BAT1	BAT2	BAT3	BT/WIFI		ORANGE
Alpha-4L シリーズ	GREEN	RED	BAT1	BAT2	BAT3	BT	WIFI	ORANGE

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEM04.BAS"
SET LED1 OFF
SET LED2 OFF
SET LED3 OFF
FOR I=1 TO 100
  LED1=0
  LED2=0
  LED3=0
  IF I-INT(I/2)*2=0 THEN
    LED1=1
  ELSEIF I-INT(I/3)*3=0 THEN
    LED2=1
  ELSE
    LED3=1
  ENDIF
NEXT
LED1=1
LED2=1
LED3=0
SET LED1 ON
SET LED2 ON
SET LED3 ON
EOP
DEM04
```

● SET PEEL

説明

このコマンドは、ピールオフ機能の設定を行います。デフォルトでは、ピールオフ機能は無効になっています。ピールオフ機能を有効にすると、プリンタは1枚ラベルを印刷すると、そのラベルが作業者によって取り除かれるまでの間、次のラベル印刷を停止します。

書式

SET PEEL ON/OFF

引数	説明
ON	ピールオフ機能を有効にします。
OFF	ピールオフ機能を無効にします。

例

サンプルコード

```
REM ***SELF-PEELING FUNCTION ON***
SIZE 4,4
GAP 0,0
DENSITY 8
SPEED 6
DIRECTION 0
REFERENCE 0,0
SET CUTTER OFF
SET PEEL ON
CLS
TEXT 50,100, "3",0,1,1, "SELF-PEELING FUNCTION TEST "
PRINT 5
```

参考項目

OFFEST, PRINT

● SET REWIND

説明

このコマンドは、巻き取り機能(MX240/MH240/TTP-2610M/外付け RS232 シリアル巻き取りモジュール)の設定を行います。デフォルトでは、巻き取り機能は無効になっています。巻き取り機能を有効にすると、プリンタは印刷したラベルをリールに巻き取ります。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET REWIND ON/OFF

引数	説明
ON	巻き取り機能を有効にします。
OFF	巻き取り機能を無効にします。
RS232	外付け RS232 シリアル巻き取りモジュールを有効にします。(A1.92 以降でサポート)

例

サンプルコード

```
REM ***REWIND FUNCTION ON***
SIZE 4,4
GAP 0.12,0
DENSITY 8
SPEED 6
DIRECTION 0
REFERENCE 0,0
SET CUTTER OFF
SET REWIND ON
CLS
TEXT 50,100, "3 ",0,1,1, "REWIND FUNCTION TEST "
PRINT 500
```

参考項目

OFFEST, PRINT

● SET TEAR & SET STRIPER

説明

このコマンドは、ティアリング機能の設定を行います。ティアリング機能を有効にすると、プリンタは、ラベル印刷後、ラベルを取り易くするため、多めにフィードを行い、次のラベル印刷時に印刷開始位置までバックフィードしてから印刷を行います。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET TEAR ON/OFF (TSPL2 language printers only)

SET STRIPER ON/OFF (TSPL language printers only)

注意：TSPL/TSPL2 言語対応状況は、[プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

引数	説明
ON	ティアリング機能を有効にします。
OFF	ティアリング機能を無効にします。

例

サンプルコード

```
REM ***TEAR FUNCTION ON***
SIZE 3,3
GAP 0.08,0
DENSITY 8
SPEED 4
DIRECTION 0
REFERENCE 0,0
SET CUTTER OFF
SET PEEL OFF
SET TEAR ON
CLS
TEXT 50,100, "3 ",0,1,1, "TEAR FUNCTION TEST "
PRINT 1
```

参考項目

SET PEEL, SET CUTTER

● SET GAP

説明

このコマンドは、ギャップセンサー感度の設定を行います。ポーズキーを押した状態で、プリンタの電源を立ち上げることで、ギャップセンサーの自動キャリブレーションを行うことができます。しかし、ラベル台紙の厚い場合や町マーク模様などプレ印刷が行われているラベルの場合、適切な調整ができない場合があります。そのようなケースでは、このコマンドを使って、トライ&エラー方式で最適なギャップセンサー感度に調整します。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET GAP n/AUTO/OFF/0,/REVERSE/OBVERSE

引数	説明
N	ギャップセンサー発光強度を指定します。設定範囲は、下記の表を参照ください。
AUTO	プリンタは、2~3枚のラベルをフィードして、ギャップセンサーの自動調整を行います。連続紙の場合、プリンタは10~20インチフィードした後、連続紙と判断します。
OFF	ギャップセンサー自動調整機能を無効にします。
0,	ギャップサイズ
REVERSE	この機能は、ブラックマークがラベルの前に位置しているため、ブラックマークセンサーによる自動検知が行えない場合に使用します。ギャップセンサーを通過する部分を印刷領域、それ以外がギャップであると判断します。
OBVERSE	SET GAP REVERSE 機能を無効にします。

プリンタ型式	ギャップセンサー 設定範囲	ブラックマークセンサー 設定範囲	SET GAP REVERSE SET GAP OBVERSE SET GAP AUTO
TTP-243 シリーズ, TTP-244ME シリーズ TDP-643 Plus シリーズ, TTP-342 シリーズ TTP-342M シリーズ	0~15	ON/OFF	V
TTP-243 Plus シリーズ, TTP-244 シリーズ TTP-244ME Plus シリーズ, TDP-643R Plus シリーズ TTP-342 Plus シリーズ	0~255	ON/OFF	V
TTP-243 Pro シリーズ, TTP-244 Plus シリーズ	0~63	ON/OFF	
TTP-245C シリーズ, TTP-225 シリーズ, TDP-225 シリーズ	0~31	0~3	V
TTP-245/343 シリーズ, TDP-245 シリーズ TTP-246M/344M シリーズ (non usb)	0~63	0~63	V
TTP-245 Plus/343 Plus シリーズ TDP-245 Plus シリーズ, TTP-247 シリーズ TDP-247 シリーズ	0~15	0~15	V
TTP-246M/344M シリーズ (usb)	0~31	0~31	V
TTP-246M Plus, TTP-2410M シリーズ TTP-344M Plus シリーズ, TTP-346M シリーズ TTP-384M シリーズ, TTP-644M シリーズ, ME240 シリーズ	0~7	0~3	V
TTP-2410M Pro シリーズ	0~7	0~7	V
TTP-248M シリーズ, M23 シリーズ	0~255	0~255	V
TA200 シリーズ	0~15	0~3	V
Alpha-4L シリーズ	0~15	0~7	V

例

下記の例は、DOS コマンドプロンプトで、パラレルポート経由でヘッドサイズ・ギャップ・センサー感度の調整を行っています。

```
C:¥>COPY CON LPT1<ENTER>
SIZE 4,2.5<ENTER>
GAP 0.12,0<ENTER>
SET GAP 1<ENTER>
<CTRL><Z><ENTER>
C:¥>
```

注意:

<ENTER>は、Enter キーを意味し、<CTRL>は、ctrl キーを意味します。

トラブルシューティング:

フィードキーを押して、ヘッドが正しくフィードされるかテストを行います。I/F LED が点滅して、ヘッドが正しくフィードされない場合は、0→1→2 のように、設定値を 1 ずつ上げて適切な値に調整します。

参考項目

SIZE, GAP, BLINE

● SET BLINE

説明

このコマンドは、センサー機能をリバース又はノーマルに設定します。

書式

SET BLINE REVERSE/OBVERSE

引数	説明
REVERSE	センサー機能をリバースに設定します。リバースに設定すると、反射領域がブラックライン、非反射領域がホワイトラインと認識されます。(通常は、反射=ホワイトライン、非反射=ブラックライン)
OBVERSE	センサー機能をノーマル(ノーマル)に設定します。

● SET HEAD

説明

このコマンドは、ヘッドオープンセンサーの設定を行います。ヘッドオープンセンサーを無効にした場合、ヘッドをオープンしてもエラーメッセージは送信されません。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。このコマンドは、TSPL2 言語対応プリンタでのみ有効です。

注意： TSPL/TSPL2 言語対応については、 [プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

書式

SET HEAD ON /OFF

引数	説明
ON	ヘッドオープンセンサーを有効にします。
OFF	ヘッドオープンセンサーを無効にします。

例

SET HEAD ON
SET HEAD OFF

● SET RIBBON

説明

このコマンドは、リボンセンサーの設定を行います。熱転写プリンタの場合、スタートアップ時にリボンの有無を検知し、熱転写モードと感熱モード(ダイレクトサーマルモード)の切り替えを行います。設定値は、不揮発性メモリには保存されません。

書式

SET RIBBON ON/OFF/INSIDE/OUTSIDE

引数	説明
ON	熱転写モードに設定します。
OFF	感熱モード(ダイレクトサーマルモード)に設定します。
INSIDE	内巻リボンに設定します。(TP-384Mのみに有効,V6.80EZ以降)
OUTSIDE	外巻リボンに設定します。(TP-384Mのみに有効,V6.80EZ以降)

例

サンプルコード

```
REM *****Disable ribbon detection sensor for direct thermal printing.
SET RIBBON OFF
SIZE 4,1
GAP 0,0
CLS
TEXT 10,10, « 3 « ,0,1,1, « Direct thermal printing. «
PRINT 1

REM *****Enable ribbon detection sensor for thermal transfer printing.
SET RIBBON ON
SIZE 4,1
GAP 0,0
CLS
TEXT 10,10, « 3 « ,0,1,1, « Thermal transfer printing. «
PRINT 1

REM *****For using ink-in ribbon in TTP-384M.
SET RIBBON INSIDE
SIZE 4,1
GAP 0,0
CLS
TEXT 10,10, « 3 « ,0,1,1, « TTP-384M is using ink-in ribbon. "
PRINT 1

REM *****For using ink-out ribbon in TTP-384M.
SET RIBBON OUTSIDE
SIZE 4,1
GAP 0,0
CLS
TEXT 10,10, « 3 « ,0,1,1, « TTP-384M is using ink-out ribbon. «
PRINT 1
```

● SET ENCODER

説明

このコマンドは、リネンコーダセンサの設定を行います。

書式

SET ENCODER ON/OFF

<u>引数</u>	<u>説明</u>
ON	リネンコーダセンサを有効にします。
OFF	リネンコーダセンサを無効にします。

例

SET ENCODER ON
SET ENCODER OFF

● SET RIBBONEND

説明

このコマンドは、リボンエンドセンサーの設定を行います。

書式

SET RIBBONEND ON/OFF

引数	説明
ON	リボンエンドセンサーを有効にします。
OFF	リボンエンドセンサーを無効にします。
注意: このコマンドは、V6.91EZ以降でサポートしています。	

例

SET RIBBONEND ON
SET RIBBONEND OFF

● SET COM1

説明

このコマンドは、COMポート(シリアルポート)の設定を行います。

書式

SET COM1 baud,parity,data,stop

引数	説明
baud	ポートを指定します。 24: 2400 bps 48: 4800 bps 96: 9600 bps 19: 19200 bps 38: 38400 bps 57: 57600 bps 115: 115200 bps
parity	パリティを指定します。 N: パリティ無し E: 偶数パリティ O: 奇数パリティ
Data	データビットを指定します。 8: 8 bits data 7: 7 bits data
stop	ストップビットを指定します。 1: 1 stop bit 2: 2 stop bits

例

下記の例は、DOSプロンプトでCOMポートの設定をパラレルポート経由で行っています。

```
C:¥>COPY CON LPT1<ENTER>  
SET COM1 19,N,8,1<ENTER>  
<CTRL><Z><ENTER>  
C:¥>
```

注意:

<ENTER>は、ENTERキー、<CTRL><Z>は、CTRLキーを押しながらZキーを押すことを意味します。

● SET PRINTKEY

説明

このコマンドは、ラベルを 1 枚印刷し、ラベルギャップをラベルを取りやすいフィード位置までフィードします。フィードボタンを押すと、次のラベル(又はバッチ)の印刷を行います。ラベルにリアルテキストやリアルバーコードが含まれる場合は、リアル番号が自動的に加付されます。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プリンタの電源を落としても消えることはありません。

書式

SET PRINTEKY OFF/ON/AUTO/<num>

引数	説明
OFF	この機能を無効にします。
ON	この機能を有効にします。
AUTO	この機能を有効(自動)にします。
<num>	フィードキー押下で印刷するラベル枚数を指定します。

注意: このコマンドは、TSPL2 言語対応プリンタのみで有効です。

例

サンプルコード SIZE 4,2.5 GAP 0.12,0 SET PRINTKEY ON SET COUNTER @0 1 @0= "0001" CLS TEXT 10,10, "5",0,1,1,@0 PRINT 1		
実行結果:		
書式	PRINT m を受信	印刷結果
SET PRINTKEY ON 又は	1.) PRINT 2	Label 1~2
SET PRINTKEY AUTO	2.) Press FEED key	Label 3~4
書式	PRINT m,n を受信	印刷結果
SET PRINTKEY ON 又は	1.) PRINT 1,2	Label 1, Label 1
SET PRINTKEY AUTO	2.) Press FEED key	Label 2, Label 2
書式	PRINT -1,n を受信	印刷結果
SET PRINTKEY ON 又は	1.) PRINT -1,2	Label 1, Label 1
SET PRINTKEY AUTO	2.) Press FEED key	Label 1, Label 1
書式	PRINT m を受信	印刷結果
SET PRINTKEY 5	1.) PRINT 2	Label 1~2
	2.) Press FEED key	Label 3~7
書式	PRINT m,n を受信	印刷結果
SET PRINTKEY 5	1.) PRINT 1,2	Label 1, Label 1
	2.) Press FEED key	Label 2~6
書式	PRINT -1,n	印刷結果
SET PRINTKEY 5	1.) PRINT -1,2	Label 1, Label 1
	2.) Press FEED key	Label 1, Label 1

● SET REPRINT

説明

このコマンドは、ペーパー切れ・リボン切れ・ヘッドカバーオープンエラーが発生した後の再印刷設定を行います。

書式

SET REPRINT OFF/ON

引数	説明
OFF	再印刷を無効にします。
ON	再印刷を有効にします。
注意：このコマンドは、TSPL2 言語対応プリンタのみで有効です。	

例

SET REPRINT ON

● SET FEED_LEN

説明

このコマンドは、フィードボタン押下でフィードする長さを指定します。設定値は、不揮発性メモリに保存されるため、プログラムの電源を落としても消えることはありません。初期値は、ラベル長です。

書式

SET FEED_LEN n

引数	説明
n	ドット単位でフィードする長さを指定します。
注意: このコマンドは、V5.10EZ以降でサポートしています。	

例

サンプルコード SET FEED_LEN 100
結果 この設定以降は、フィードボタンを押すと、100ドット分だけフィードします。

● GET SENSOR()

説明

このコマンドは、各センサーのステータス/AD 値を取得します。

書式

GETSENSOR(sensor\$[,intension])

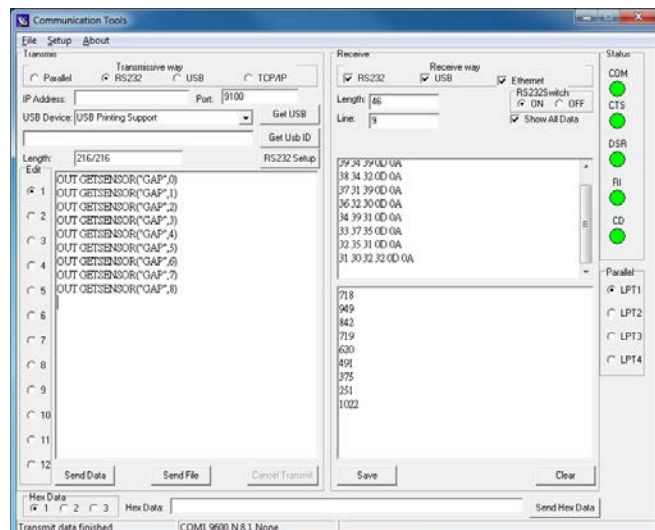
引数	説明														
sensor\$	センサータイプを指定します。 <table><tr><td>GAP</td><td>ギャップセンサー</td></tr><tr><td>BLINE</td><td>ブラックマークセンサー</td></tr><tr><td>RIBBON</td><td>リボンシートセンサー</td></tr><tr><td>PEEL</td><td>ピールセンサー</td></tr><tr><td>HEAD UP</td><td>サーマルプリントヘッドオープンセンサー</td></tr><tr><td>HEAD TEMP</td><td>プリントヘッド温度</td></tr><tr><td>HEAD VOLT</td><td>プリントヘッド電圧</td></tr></table>	GAP	ギャップセンサー	BLINE	ブラックマークセンサー	RIBBON	リボンシートセンサー	PEEL	ピールセンサー	HEAD UP	サーマルプリントヘッドオープンセンサー	HEAD TEMP	プリントヘッド温度	HEAD VOLT	プリントヘッド電圧
GAP	ギャップセンサー														
BLINE	ブラックマークセンサー														
RIBBON	リボンシートセンサー														
PEEL	ピールセンサー														
HEAD UP	サーマルプリントヘッドオープンセンサー														
HEAD TEMP	プリントヘッド温度														
HEAD VOLT	プリントヘッド電圧														
intension	センサー強度を指定します。 <table><tr><td>ギャップセンサー</td><td>プリンタ型式により異なります。SET GAP コマンドを参照ください。</td></tr><tr><td>ブラックマークセンサー</td><td>プリンタ型式により異なります。SET GAP コマンドを参照ください。</td></tr><tr><td>リボンシートセンサー</td><td>0 ~ 3</td></tr><tr><td>ピールセンサー</td><td>N/A</td></tr><tr><td>ヘッドオープンセンサー</td><td>N/A</td></tr><tr><td>ヘッド温度</td><td>N/A</td></tr><tr><td>ヘッド電圧</td><td>N/A</td></tr></table>	ギャップセンサー	プリンタ型式により異なります。SET GAP コマンドを参照ください。	ブラックマークセンサー	プリンタ型式により異なります。SET GAP コマンドを参照ください。	リボンシートセンサー	0 ~ 3	ピールセンサー	N/A	ヘッドオープンセンサー	N/A	ヘッド温度	N/A	ヘッド電圧	N/A
ギャップセンサー	プリンタ型式により異なります。SET GAP コマンドを参照ください。														
ブラックマークセンサー	プリンタ型式により異なります。SET GAP コマンドを参照ください。														
リボンシートセンサー	0 ~ 3														
ピールセンサー	N/A														
ヘッドオープンセンサー	N/A														
ヘッド温度	N/A														
ヘッド電圧	N/A														
戻り値	<table><tr><td>Gap</td><td>ギャップセンサーの AD 値</td></tr><tr><td>BLINE</td><td>ブラックマークセンサーの AD 値</td></tr><tr><td>RIBBON</td><td>リボンシートセンサーの AD 値</td></tr><tr><td>PEEL</td><td>0: ヘッドパース無し 1: ヘッドパース有り</td></tr><tr><td>HEAD UP</td><td>0: ヘッドクローズ 1: ヘッドオープン</td></tr><tr><td>HEAD TEMP</td><td>ヘッド温度</td></tr><tr><td>HEAD VOLT</td><td>ヘッド電圧</td></tr></table>	Gap	ギャップセンサーの AD 値	BLINE	ブラックマークセンサーの AD 値	RIBBON	リボンシートセンサーの AD 値	PEEL	0: ヘッドパース無し 1: ヘッドパース有り	HEAD UP	0: ヘッドクローズ 1: ヘッドオープン	HEAD TEMP	ヘッド温度	HEAD VOLT	ヘッド電圧
Gap	ギャップセンサーの AD 値														
BLINE	ブラックマークセンサーの AD 値														
RIBBON	リボンシートセンサーの AD 値														
PEEL	0: ヘッドパース無し 1: ヘッドパース有り														
HEAD UP	0: ヘッドクローズ 1: ヘッドオープン														
HEAD TEMP	ヘッド温度														
HEAD VOLT	ヘッド電圧														
注意: このコマンドは、V6.75EZ 以降でサポートしています。															

例 (ユーティリティ CommTool を利用して、RS-232 経由で各センサーデータを取得)

サンプルコード

```
OUT GETSENSOR("GAP", 0)
OUT GETSENSOR("GAP", 1)
OUT GETSENSOR("GAP", 2)
OUT GETSENSOR("GAP", 3)
OUT GETSENSOR("GAP", 4)
OUT GETSENSOR("GAP", 5)
OUT GETSENSOR("GAP", 6)
OUT GETSENSOR("GAP", 7)
OUT GETSENSOR("GAP", 8)
```

結果

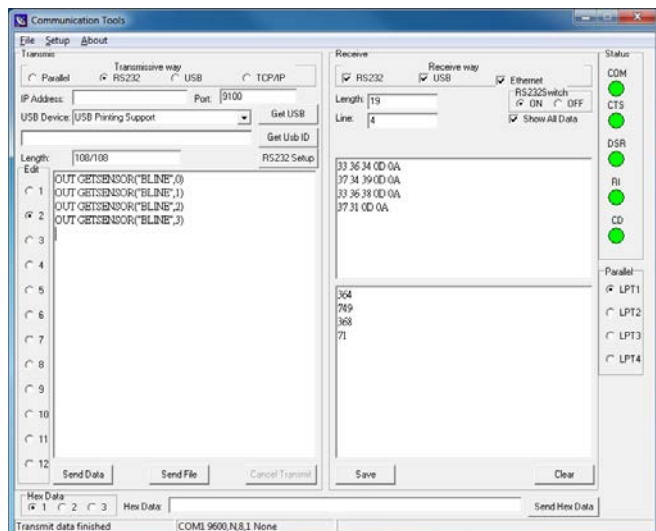


*異なるセンサー強度に設定して、値が変換する場合、センサーは機能していると判断できます。

サンプルコード

```
OUT GETSENSOR("BLINE", 0)
OUT GETSENSOR("BLINE", 1)
OUT GETSENSOR("BLINE", 2)
OUT GETSENSOR("BLINE", 3)
```

結果

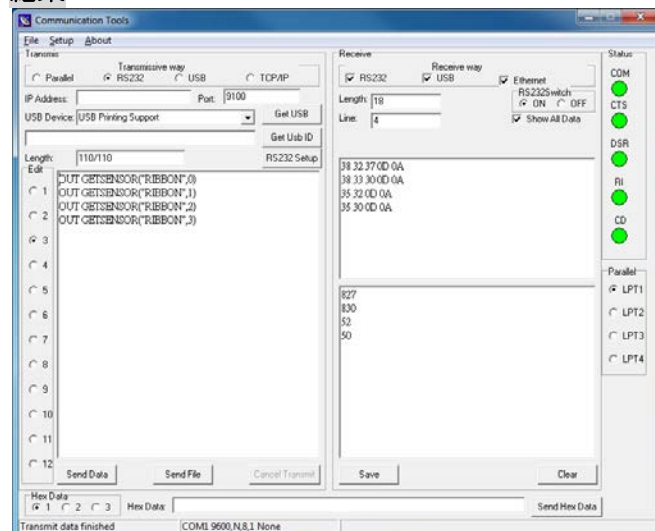


*異なるセンサー強度に設定して、値が変換する場合、センサーは機能していると判断できます。

サンプルコード

```
OUT GETSENSOR("RIBBON", 0)
OUT GETSENSOR("RIBBON", 1)
OUT GETSENSOR("RIBBON", 2)
OUT GETSENSOR("RIBBON", 3)
```

結果

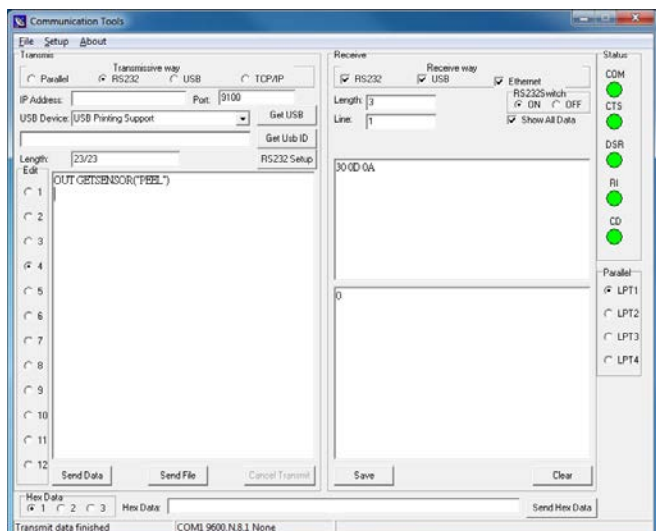


*異なるセンサー強度に設定して、値が変換する場合、センサーは機能していると判断できます。

サンプルコード

```
OUT GETSENSOR("PEEL")
```

結果



*0: センサー上にペーパー無し 1: センサー上にペーパー有り

● GET SETTINGS()

説明

このコマンドは、現在のプリンタ設定を取得します。

書式

GETSETTINGS\$ (app\$, sec\$, key\$[, default\$])

app\$	sec\$	key\$	説明
SYSTEM	INFORMATION	DPI	プリンタ解像度を取得
		MODEL	プリンタ型式を取得
		SERIAL	シリアル番号を取得
		VERSION	ファームウェアバージョンを取得
		CHECKSUM	ファームウェアチェックサムを取得
	RECORD	MILAGE	印刷マイルージを取得
		CUT COUNTER	カット回数を取得
FILE	DRAM	CAPACITY	DRAM 総容量を取得
		AVAILABLE	DRAM 空き容量を取得
	FLASH	CAPACITY	フラッシュ ROM 総容量を取得
		AVAILABLE	フラッシュ ROM 空き容量を取得
	CARD	CAPACITY	カード 総容量を取得
		AVAILABLE	カード 空き容量を取得
		INSTALLED	カードの挿入ステータスを取得(1=有り, 0=無し)
CONFIG	NET	MAC ADDRESS	MAC アドレスを取得
		IP ADDRESS	IP アドレスを取得
		SUBNET MASK	サブネットマスクを取得
		DEFAULT GATEWAY	デフォルトゲートウェイを取得
		RAW PORT	RAW ポートを取得
	WLAN	MAC ADDRESS	MAC アドレスを取得
		IP ADDRESS	IP アドレスを取得
		SUBNET MASK	サブネットマスクを取得
		DEFAULT GATEWAY	デフォルトゲートウェイを取得
		RAW PORT	RAW ポートを取得
	COM1	BAUD RATE	ボーレートを取得
		DATA BIT	データビットを取得
		PARITY	パリティを取得
		STOP BIT	ストップビットを取得
	SENSOR	SENSOR TYPE	センサータイプを取得
		CARRIAGE	ヘッドオープンセンサーのステータスを取得
		GAP INTENSION	ギャップセンサー強度を取得
		BLINE INTENSION	ブラックマーケセンサー強度を取得
		CONTINUOUS INTENSION	連続センサー強度を取得
	TSPL	PRINT MODE	印刷モードを取得
		DENSITY	印刷解像度を取得
		PAPER SIZE	ペーパーサイズを取得
		GAP SIZE	ギャップサイズを取得
		BLINE SIZE	ブラックマーケサイズを取得
		DIRECTION	印刷方向を取得
		MIRROR	ミラーステータスを取得
		RIBBON	リボンステータスを取得
		REPRINT	再印刷ステータスを取得
		PAPER WIDTH	ペーパー幅を取得
		LIMIT FEED	センサーキャリブレーションの最大フィード長を取得

	OFFSET	オフセット値を取得
	REFERENCE X	リファレンス X 値を取得
	REFERENCE Y	リファレンス Y 値を取得
	SHIFT X	シフト X 値を取得
	SHIFT Y	シフト Y 値を取得
	SPEED	印刷速度を取得
	COUNTRY CODE	カントリーコードを取得
	CODEPAGE	コードページを取得

引数

default\$

説明

Optional. Expression containing the value to return if no value is set in the key\$ setting. If omitted, default is assumed to be a zero-length string ("").

注意: このコマンドは、V6.72EZ 以降でサポートしています。

例

サンプルコード (ユーティリティ CommTool を使って、RS232 経由でプリンタ設定を取得)

```

OUT "DPI = ";GETSETTING$("SYSTEM","INFORMATION","DPI")
OUT " MODEL =";GETSETTING$("SYSTEM "," INFORMATION "," MODEL")
OUT "SERIAL = ";GETSETTING$("SYSTEM","INFORMATION","SERIAL")
OUT "VERSION = ";GETSETTING$("SYSTEM","INFORMATION","VERSION")
OUT "CHECKSUM = ";GETSETTING$("SYSTEM","INFORMATION","CHECKSUM")
OUT "MILAGE = ";GETSETTING$("SYSTEM","RECORD","MILAGE")
OUT "CUT COUNTER = ";GETSETTING$("SYSTEM","RECORD","CUT COUNTER")
OUT "DRAM CAPACITY = ";GETSETTING$("FILE","DRAM","CAPACITY")
OUT "DRAM AVAILABLE = ";GETSETTING$("FILE","DRAM","AVAILABLE")
OUT "FLASH CAPACITY = ";GETSETTING$("FILE","FLASH","CAPACITY")
OUT "FLASH AVAILABLE = ";GETSETTING$("FILE","FLASH","AVAILABLE")
OUT "CARD CAPACITY = ";GETSETTING$("FILE","CARD","CAPACITY")
OUT "CARD AVAILABLE = ";GETSETTING$("FILE","CARD","AVAILABLE")
OUT "CARD INSTALLED = ";GETSETTING$("FILE","CARD","INSTALLED")
OUT "Ethernet MAC ADDRESS = ";GETSETTING$("CONFIG","NET","MAC ADDRESS")
OUT "Ethernet IP ADDRESS = ";GETSETTING$("CONFIG","NET","IP ADDRESS")
OUT "Ethernet SUBNET MASK = ";GETSETTING$("CONFIG","NET","SUBNET MASK")
OUT "Ethernet DEFAULT GATEWAY = ";GETSETTING$("CONFIG","NET","DEFAULT GATEWAY")
OUT "COM1 BAUD RATE = ";GETSETTING$("CONFIG","COM1","BAUD RATE")
OUT "COM1 DATA BIT = ";GETSETTING$("CONFIG","COM1","DATA BIT")
OUT "COM1 PARITY = ";GETSETTING$("CONFIG","COM1","PARITY")
OUT "COM1 STOP BIT = ";GETSETTING$("CONFIG","COM1","STOP BIT")
OUT "SENSOR TYPE = ";GETSETTING$("CONFIG","SENSOR","SENSOR TYPE")
OUT "CARRIAGE = ";GETSETTING$("CONFIG","SENSOR","CARRIAGE")
OUT "GAP INTENSION = ";GETSETTING$("CONFIG","SENSOR","GAP INTENSION")
OUT "BLINE INTENSION = ";GETSETTING$("CONFIG","SENSOR","BLINE INTENSION")
OUT "CONTINUOUS INTENSION = ";GETSETTING$("CONFIG","SENSOR","CONTINUOUS
INTENSION")
OUT "PRINT MODE = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","PRINT MODE")
OUT "DENSITY = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","DENSITY")
OUT "PAPER SIZE = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","PAPER SIZE")
OUT "GAP SIZE = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","GAP SIZE")
OUT "BLINE SIZE = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","BLINE SIZE")
OUT "DIRECTION = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","DIRECTION")
OUT "MIRROR = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","MIRROR")
OUT "RIBBON = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","RIBBON")
OUT "REPRINT = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","REPRINT")
OUT "PAPER WIDTH = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","PAPER WIDTH")
OUT "LIMIT FEED = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","LIMIT FEED")
OUT "OFFSET = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","OFFSET")
OUT "REFERENCE X = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","REFERENCE X")
OUT "REFERENCE Y = ";GETSETTING$("CONFIG","TSPL","REFERENCE Y")

```

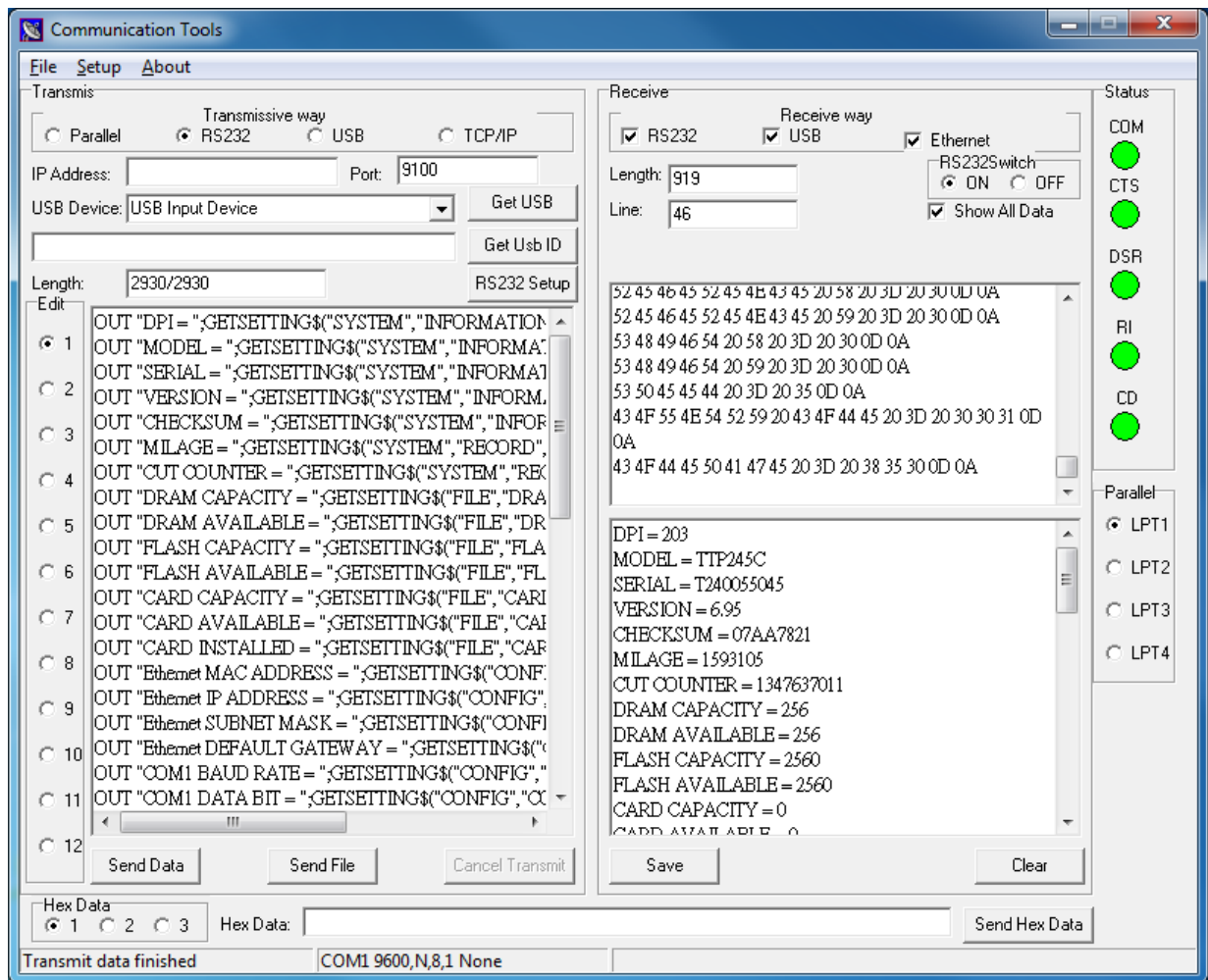


```

OUT "SHIFT X = ";GETSETTING$("CONFIG", "TSPL", "SHIFT X")
OUT "SHIFT Y = ";GETSETTING$("CONFIG", "TSPL", "SHIFT Y")
OUT "SPEED = ";GETSETTING$("CONFIG", "TSPL", "SPEED")
OUT "COUNTRY CODE = ";GETSETTING$("CONFIG", "TSPL", "COUNTRY CODE")
OUT "CODEPAGE = ";GETSETTING$("CONFIG", "TSPL", "CODEPAGE")

```

結果



サンプルコード (NET, WLAN)

```

OUT "Ethernet DEFAULT RAW PORT = ";GETSETTING$("CONFIG", "NET", "RAW PORT")

OUT "WLAN MAC ADDRESS = ";GETSETTING$("CONFIG", "WLAN", "MAC ADDRESS")
OUT "WLAN IP ADDRESS = ";GETSETTING$("CONFIG", "WLAN", "IP ADDRESS")
OUT "WLAN SUBNET MASK = ";GETSETTING$("CONFIG", "WLAN", "SUBNET MASK")
OUT "WLAN DEFAULT GATEWAY = ";GETSETTING$("CONFIG", "WLAN", "DEFAULT GATEWAY")
OUT "WLAN DEFAULT RAW PORT = ";GETSETTING$("CONFIG", "WLAN", "RAW PORT")

```

● SET USBHOST

説明

このコマンドは、キーボード又はバーコードリーダーを使用するためのUSBポート設定を行います。

書式

SET USBHOST KEYBOARD/SCANNER

引数	説明
KEYBOARD	USBキーボード (キーボード LCD へのプロンプト表示を有効にします)
SCANNER	USBバーコードリーダー (キーボード LCD へのプロンプト表示を無効にします)

注意:

- このコマンドは、V6.95EZ以降でサポートしています。
- このコマンドは、USBホスト機能を搭載したプリンタでのみ有効です。

例

サンプルコード

```
SET USBHOST KEYBOARD
DOWNLOAD "A.BAS"
LOOP:
SIZE 4,2
GAP 0,0
CLS
INPUT A$
TEXT 50,50, " 0 ",0,20,20,A$
PRINT 1
GOTO LOOP
EOP
A.BAS
```

● SET RS232_REWINDER

説明

このコマンドは、COMポートの CTS 制御信号 (PIN8) の動作を設定します。

書式

SET RS232_REWINDER "RASING" / "FALLING" / "OFF"

引数	説明
"RASING"	印刷実行中、High にします。
"FALLING"	印刷実行中、Low にします。
"OFF "	この機能を無効 (常に High) にします。 (デフォルト)

	No printing	Printing	Stop printing
RASING			
FALLING			
OFF			

注意:

- このコマンドは、V8.01EZ & A1.85EZ 以降でサポートしています。
- このコマンドは、RS232 コネクタを装備したプリンタでのみ有効です。

例

サンプルコード

SET RS232_REWINDER "RASING"

● SET AUTORUN

説明

This command redefines the BAS file which can be run automatically while switching on the printer. Default is AUTO.BAS.

書式

SET AUTORUN "filename"

引数	説明
filename	The file will be defined to AUTO-RUN file. Default is AUTO.BAS.

注意:

This command has been supported since V6.86 EZ and later firmware.

例

サンプルコード

```
REM *****Step1: Send the following command to redefine the auto-run file from
"\"AUTO.BAS\" to \"\"TEST.BAS\"
SET AUTORUN \"\"TEST.BAS\"

REM *****Step2: Send the following commands to download \"\"TEST.BAS\" file into
printer.
DOWNLOAD F, \"\"TEST.BAS\"
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
BLOCK 10,10,600,200, \"\"3 \"\",0,1,1,12, \"\"¥[ \"\"]TEST.BAS¥[ \"\"] is running automatically
while turning on the printer. \"
PRINT 1
EOP

REM *****Step3: Turn off and on the printer to run \"\"TEST.BAS\" automatically.
```

結果

\"TEST.BAS\" is running automatically
while turning on the printer.

● SET VERIFIER

説明

このコマンドは、印刷開始時及び印刷終了時に RS232 ポートへ指定データを送信します。

書式

SET VERIFIER ON/OFF
 VERIFYTRIGGER CHR\$()+CHR\$()...
 VERIFYEND CHR\$()+CHR\$()...

引数

ON

OFF

VERIFYTRIGGER

VERIFYEND

説明

ヘリファイ機能を有効にします。

ヘリファイ機能を無効にします。

印刷開始時送信するデータを指定します。

印刷終了時送信するデータを指定します。

注意:

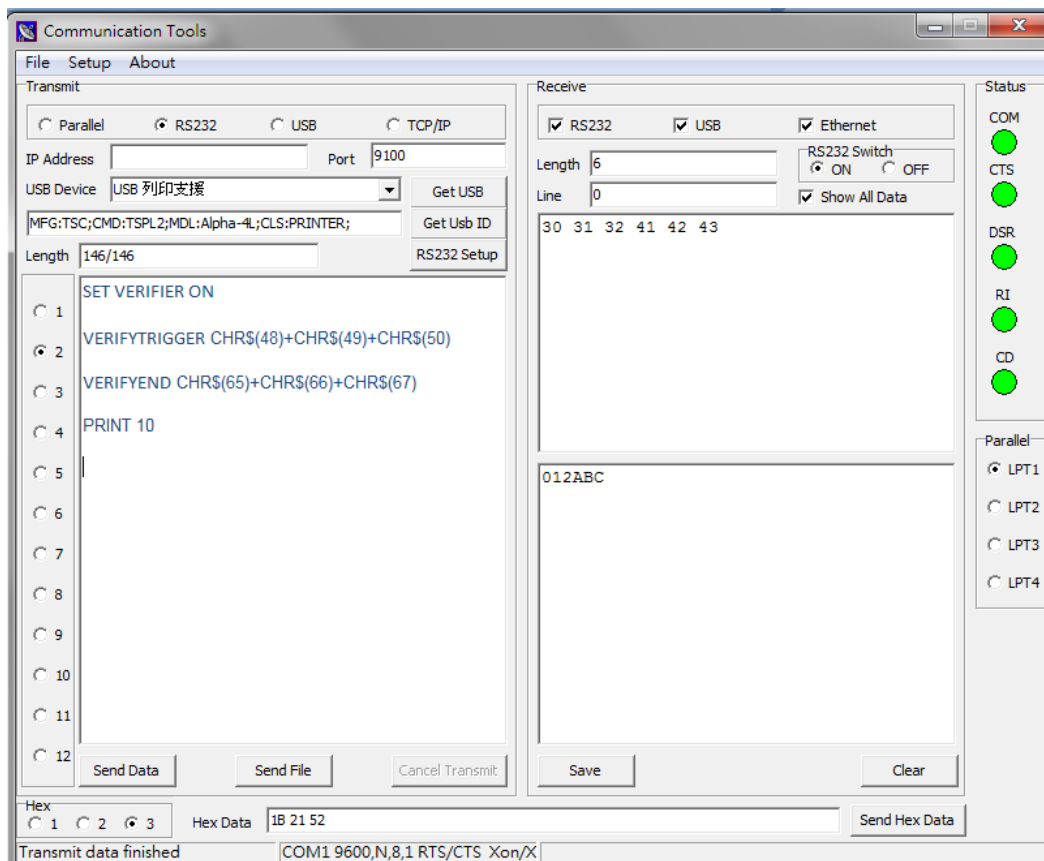
このコマンドは、V6.92EZ 以降でサポートしています。

例

サンプルコード

```
SET VERIFIER ON
VERIFYTRIGGER CHR$(48)+CHR$(49)+CHR$(50)
VERIFYEND CHR$(65)+CHR$(66)+CHR$(67)
PRINT 10
```

結果



● SET RESPONSE

説明

このコマンドは、印刷後に印刷ステータスを出力します。

書式

SET RESPONSE ["Job ID",] ON/OFF/BATCH

引数	説明
["Job ID"]	ジョブ ID を指定します。この引数は、オプションです。
ON	Response at the end of printing job
OFF	
BATCH	
ON	印刷ステータス出力を有効にします。
OFF	印刷ステータス出力を無効にします。(デフォルト)
BATCH	バッチ印刷終了後に出力します。

注意:
このコマンドは、V7.09EZ 以降でサポートしています。

出力フォーマット

{Status, #####, ID}

ステータス
[Hex 値]
00 ノーマル
01 ハットオープン
02 ペーパージャム
03 ペーパージャム & ハットオープン
04 紙切れ
05 紙切れ & ハットオープン
08 リボン切れ
09 リボン切れ & ハットオープン
0A リボン切れ & ペーパージャム
0B リボン切れ & ペーパージャム & ハットオープン
0C リボン切れ & 紙切れ
0D リボン切れ & 紙切れ & ハットオープン
10 ホース
20 印刷中
80 その他のエラー
#####: 00001 ~ 99999

例

サンプルコード

```
SET RESPONSE ON  
SIZE 4,2  
GAP 0,0  
PRINT 3
```

```
{00,00001}{00,00002}{00,00003}
```

サンプルコード

```
SET RESPONSE "ID1",ON  
SIZE 4,2  
GAP 0,0  
PRINT 3,2
```

```
{00,00001,ID1}{00,00002,ID1}{00,00003,ID1}{00,00004,ID1}{00,00005,ID1}{00,00006,ID1}
```

サンプルコード

```
SET RESPONSE "CCCC ",BATCH  
SIZE 4,2  
GAP 0,0  
PRINT 3,2
```

```
{00,00006,CCCC}
```

● SET DAYLIGHT_SAVE

説明

このコマンドは、サマータイムの設定を行います。

書式

SET DAYLIGHT_SAVE ON/OFF
SET DAYLIGHT_SAVE "Start", "End"

引数	説明
ON	サマータイムを有効にします。
OFF	サマータイムを無効にします。(デフォルト)
"Start"	指定された日時より 1 時間プラスしたサマータイムとします。
"End"	指定された日時より 1 時間マイナスした通常タイムとします。
月 "JAN", "FEB", "MAR", "APR", "MAY", "JUN", "JUL", "AUG", "SEP", "OCT", "NOV", "DEC" "JANUARY", "FEBRUARY", "MARCH", "APRIL", "MAY", "JUNE", "JULY", "AUGUST", "SEPTEMBER", "OCTOBER", "NOVEMBER", "DECEMBER"	
曜日 "SUN", "MON", "TUE", "WED", "THU", "FRI", "SAT" "SUNDAY", "MONDAY", "TUESDAY", "WEDNESDAY", "THURSDAY", "FRIDAY", "SATURDAY"	
週 "FIRST", "SECOND", "THIRD", "FOURTH", "LAST" "1ST", "2ND", "3RD", "4TH", "LAST"	
日 1~31	
時刻 0:00~23:00	
注意: このコマンドは、V8.03EZ 以降でサポートしています。	

例

サンプルコード

```
SET DAYLIGHT_SAVE ON
SET DAYLIGHT_SAVE OFF
SET DAYLIGHT_SAVE "MAR 1 4:00", "NOV 1 5:00"
SET DAYLIGHT_SAVE "MAR FIRST SUN 2:00", "NOV LAST SUN 3:00"
```


● PEEL

説明

このコマンドは、ピールセンサーのステータスを取得します。

書式

PEEL

戻り値	説明
0	ピールセンサー上にペーパーはありません。
1	ピールセンサー上にペーパーがあります。

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,1
GAP 0,0
SET PEEL OFF
SET KEY1 OFF
SET LED1 OFF
SET LED3 OFF
:START
LED1=0
LED3=0
IF KEY1=1 THEN GOTO A
GOTO START
:A
LED1=1
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "PEEL Function Test!! "
PRINT 1,1
:B
LED1=0
IF PEEL=1 THEN
LED3=1
GOTO B
ELSE
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "The label is removed from the PEEL sensor!! "
PRINT 1,1
GOTO START
ENDIF
EOP
DEMO
```

● LED1, LED2, LED3

説明

このコマンドは、LED の ON/OFF 制御を行います。このコマンドを使用する前にデフォルトの LED 機能を無効にする必要があります。SET LED コマンドを参照ください。

書式

LEDm = n

戻り値	説明
m	m=1, LED1 m=2, LED2 m=3, LED3
n	0: LED を OFF にします。 1: LED を ON (点灯) します。

プリンタ型式	LED1	LED2	LED3	LED4	LED5	LED6	LED7	LED2 & LED3
TDP-643 Plus/ 643R Plus シリーズ	ONLINE	ERROR	ERROR					
TTP-243/243 Plus/243 Pro シリーズ, TTP-244ME/244 ME Plus/244M Pro シリーズ, TTP-244/ 244 Plus シリーズ								
TTP-2410M/2410M Pro シリーズ, TTP-246M Plus/246M Pro シリーズ, TTP-268M シリーズ, TTP-384M シリーズ, ME240 シリーズ, MX240 シリーズ, MX240P シリーズ	POWER	ONLINE	ERROR					
TDP-245/247 シリーズ, TTP-245/247 シリーズ, TTP-245C シリーズ, TDP-225 シリーズ, TTP-225 シリーズ, DA200 シリーズ, TA200 シリーズ, TC210 シリーズ, TE200 シリーズ, MH シリーズ Note: For this シリーズ, the LED1=LED2	GREEN	GREEN	RED					ORANGE
Alpha-2R シリーズ, Alpha-3R シリーズ	GREEN	RED	BAT1	BAT2	BAT3	BT/WIFI		ORANGE
Alpha-4L シリーズ	GREEN	RED	BAT1	BAT2	BAT3	BT	WIFI	ORANGE

注意: [プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

例

```
サンプルコード

DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 3,3
GAP 0.12,0
SPEED 4
DENSITY 8
DIRECTION 1
REFERENCE 0,0
SET CUTTER OFF
SET PEEL OFF
SET LED1 OFF
SET LED2 OFF
SET LED3 OFF
LED1=0
LED2=1
LED3=0
EOP
DEMO
```

● KEY1, KEY2, KEY3

説明

このコマンドは、キーのステータスを取得します。

プリント型式	KEY0	KEY1	KEY2	KEY3	KEY4	KEY5	KEY6
TDP-643 Plus/ 643R Plus		PAUSE					
TTP-243/243 Plus/243 Pro シリーズ, TTP-244ME/244 ME Plus/244M Pro シリーズ, TTP-244/ 244 Plus シリーズ		PAUSE	FEED				
TDP-245/247 シリーズ, TTP-245/247 シリーズ, TTP-245C シリーズ, TDP-225 シリーズ, TTP-225 シリーズ, TA200 シリーズ, Alpha-3R, DA シリーズ, TE シリーズ, Alpha-2R		FEED					
TX200 シリーズ (with LCD), TC210 シリーズ (with LCD), TX600 シリーズ, MX240P シリーズ, MH シリーズ		FEED	MENU	UP	RIGHT	LEFT	DOWN
TTP-246M シリーズ		MENU	PAUSE	FEED	(UP)	(DOWN)	(SELECT)
TTP-248M シリーズ		MENU	PAUSE	FEED			
TTP-2410M/2410M Pro シリーズ, TTP-246M Plus/246M Pro シリーズ, TTP-268M シリーズ, TTP-384M シリーズ, ME240(LCD control panel) シリーズ		MENU	PAUSE	FEED	UP	DOWN	SELECT
ME240 シリーズ		FEED	PAUSE				
M23 シリーズ	FEED	LEFT	MID	RIGHT			
Alpha-4L		FEED	INFO	MENU			
MX240 シリーズ, TTP-2410MT/MU シリーズ		PAUSE	MENU	FEED	UP	SELECT	DOWN

書式

$KEYm = n$

Key	戻り値
KEY1 (MENU)	0: 押下無し 1: 押下有り
KEY2 (PAUSE)	0: 押下無し 1: 押下有り
KEY3 (FEED)	0: 押下無し 1: 押下有り

例

```
サンプルコード

DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 3,1
GAP 0,0
SPEED 4
DENSITY 8
DIRECTION 1
REFERENCE 0,0
SET LED1 OFF
SET KEY1 OFF
LED1=0
:START
IF KEY1=1 THEN
LED1=1
CLS
TEXT 100,10, "3",0,1,1, "KEY FUNCTION TEST"
PRINT 1,1
ELSE
LED1=0
ENDIF
GOTO START
EOP
DEMO
```

プリンタグローバル変数

● @LABEL

説明

このグローバル変数は、現在までに印刷されたラベル枚数を加算します。プリンタが初期化された場合でも値は保持されます。

書式

書き込み: @LABEL=n or @LABEL= "n"

読み取り: A=LABEL or A\$=STR\$(LABEL)

引数/戻り値	説明
n	印刷枚数を指定又は取得します。(0<=n<=999999999)

例

サンプルコード	結果
<pre>DOWNLOAD "DEMO.BAS" SIZE 4,2.5 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,50, "3",0,1,1,@LABEL TEXT 10,100, "3",0,1,1, "@LABEL="+STR\$(LABEL) TEXT 10,150, "3",0,1,1, "*****Statement 1*****" IF LABEL>1000 THEN TEXT 10,200, "3",0,1,1, "LABEL>1000" ELSE TEXT 10,200, "3",0,1,1, "LABEL<1000" ENDIF TEXT 10,250, "3",0,1,1, "*****Statement 1*****" A=LABEL IF A>1000 THEN TEXT 10,300, "3",0,1,1, "A>1000" ELSE TEXT 10,300, "3",0,1,1, "A<1000" ENDIF TEXT 10,350, "3",0,1,1, "*****Statement 3*****" A\$=STR\$(LABEL) IF VAL(A\$)>1000 THEN TEXT 10,400, "3",0,1,1, "VAL(A\$)>1000" ELSE TEXT 10,400, "3",0,1,1, "VAL(A\$)<1000" ENDIF PRINT 1,1 EOP DEMO</pre>	<pre>1661 @LABEL=1661 *****Statement 1***** LABEL>1000 *****Statement 1***** A>1000 *****Statement 3***** VAL(A\$)>1000</pre>

● YEAR

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の年を読み書きします。RTC は、4 桁年フォーマットを使用します。

書式

書き込み: YEAR = 02

読み取り: A = YEAR

範囲: 00~50 = 2000~2050; 51~99 = 1951~1999

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "SetYear.BAS"
REM *****Set Year to RTC*****
YEAR=13
EOP
SetYear
```

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Read YEAR from RTC*****
YEAR$=STR$(YEAR)
Y=YEAR

REM *****Print*****
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "YEAR1="+YEAR$
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "YEAR2="+STR$(Y)
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "YEAR3="+STR$(YEAR)
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
YEAR1=2013
YEAR2=2013
YEAR3=2013
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● MONTH

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の月を読み書きします。RTC は、2 桁月フォーマット(01~12) を使用します。

書式

書き込み: MONTH = 01

読み取り: A = MONTH

範囲: 01~12

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "SetMonth.BAS"
REM *****Set Month to RTC*****
MONTH=01
EOP
SetMonth
```

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Read Month from RTC*****
MONTH$=STR$(MONTH)
M=MONTH

REM *****Print*****
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "MONTH1="+MONTH$
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "MONTH2="+STR$(M)
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "MONTH3="+STR$(MONTH)
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
MONTH1=1
MONTH2=1
MONTH3=1
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● DATE

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の日を読み書きします。RTC は、2 桁日フォーマット(01~31) を使用します。

書式

書き込み: **DATE = 12**

読み取り: **A = DATE**

範囲: 01~31

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "SetDate.BAS"
REM *****Set Date to RTC*****
DATE=10
EOP
SetDate
```

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Read Date from RTC*****
DATE$=STR$(DATE)
D=DATE

REM *****Print*****
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "DATE1="+DATE$
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "DATE2="+STR$(D)
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "DATE3="+STR$(DATE)
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
DATE1=10
DATE2=10
DATE3=10
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● WEEK

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の曜日を読み取ります。曜日は、対応する 1桁の数字(1~7) を使用します。

書式

読み取り: **A = WEEK**

範囲: 1(日)~7(土)

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS "  
SIZE 4,1  
GAP 0,0  
DIRECTION 1  
CLS  
  
REM *****Read Week from RTC*****  
WEEK$=STR$(WEEK)  
W=WEEK  
  
REM *****Print*****  
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "WEEK1="+WEEK$  
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "WEEK2="+STR$(W)  
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "WEEK3="+STR$(WEEK)  
PRINT 1  
EOP  
DEMO
```

結果

```
WEEK1=5  
WEEK2=5  
WEEK3=5
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● HOUR

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の時を読み書きします。24 時間フォーマット(00~23)を使用します。

書式

書き込み: HOUR = 12

読み取り: A = HOUR

範囲: 00~23

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "SetHour.BAS"
REM *****Set Hour to RTC*****
HOUR=10
EOP
SetHour
```

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Read Hour from RTC*****
HOUR$=STR$(HOUR)
H=HOUR

REM *****Print*****
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "HOUR1="+HOUR$
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "HOUR2="+STR$(H)
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "HOUR3="+STR$(HOUR)
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
HOUR1=10
HOUR2=10
HOUR3=10
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● MINUTE

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の分を読み書きします。2桁フォーマット(00~59)を使用します。

書式

書き込み: **MINUTE = 12**

読み取り: **A = MINUTE**

範囲: 00~59

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "SetMinute.BAS"
REM *****Set Minute to RTC*****
MINUTE=27
EOP
SetMinute
```

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS"
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Read Minute from RTC*****
MINUTE$=STR$(MINUTE)
MIN=MINUTE

REM *****Print*****
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "MINUTE1="+MINUTE$
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "MINUTE2="+STR$(MIN)
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "MINUTE3="+STR$(MINUTE)
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
MINUTE1=27
MINUTE2=27
MINUTE3=27
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● SECOND

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の秒を読み書きします。2桁フォーマット(00~59)を使用します。

書式

書き込み: **SECOND = 12**

読み取り: **A = SECOND**

範囲: 00~59

例

サンプルコード

```
DOWNLOAD "SetSecond.BAS"
REM *****Set Second to RTC*****
SECOND=59
EOP
SetSecond
```

サンプルコード

```
DOWNLOAD "DEMO.BAS "
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS

REM *****Read Second from RTC*****
SECOND$=STR$(SECOND)
SEC=SECOND

REM *****Print*****
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "SECOND1="+SECOND$
TEXT 10,50, "3",0,1,1, "SECOND2="+STR$(SEC)
TEXT 10,90, "3",0,1,1, "SECOND3="+STR$(SECOND)
PRINT 1
EOP
DEMO
```

結果

```
SECOND1=59
SECOND2=59
SECOND3=59
```

参考項目

~!C, MONTH, DATE, DAY, HOUR, MINUTE, SECOND

● @YEAR

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の年を読み書きします。2桁年フォーマット(00~99)を使用します。
@YEAR グローバル変数は、BASIC 言語を介さず直接アクセスすることができます。

書式

書き込み: @YEAR = "01"

読み取り: @YEAR

範囲: 00~99

注意: このコマンドは、TSPL2 言語対応プリントでのみ有効です。[プリント型式リスト](#) を参照ください。

例

サンプルコード	結果		
<pre>REM *****Set @YEAR***** @YEAR="05" REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@YEAR" TEXT 210,10, "3",0,1,1, @YEAR PRINT 1</pre>	<table><tr><td>@YEAR</td><td>2005</td></tr></table>	@YEAR	2005
@YEAR	2005		

参考項目

~!C, @MONTH, @DATE, @DAY, @HOUR, @MINUTE, @SECOND

● @MONTH

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の月を読み書きします。2桁月フォーマット(01~12)を使用します。
@MONTHグローバル変数は、BASIC言語を介さず直接アクセスすることができます。

書式

書き込み: @MONTH = "01"

読み取り: @MONTH

範囲: 01~12

注意: このコマンドは、TSPL2言語対応プラットフォームでのみ有効です。[プリント型式リスト](#)を参照ください。

例

サンプルコード	結果
<pre>REM *****Set @MONTH***** @MONTH="12" REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@MONTH" TEXT 210,10, "3",0,1,1,@MONTH PRINT 1</pre>	<pre>@MONTH 12</pre>

参考項目

~!C, @YEAR, @DATE, @DAY, @HOUR, @MINUTE, @SECOND

● @DATE

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の日を読み書きします。2桁月フォーマット(01~31)を使用します。
@DATEグローバル変数は、BASIC言語を介さず直接アクセスすることができます。

書式

書き込み: @DATE = "12"
読み取り: @DATE
範囲: 01~31

注意: このコマンドは、TSPL2言語対応プリントでのみ有効です。[プリント型式リスト](#)を参照ください。

例

サンプルコード	結果
<pre>REM *****Set @DATE***** @DATE="31" REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@DATE" TEXT 210,10, "3",0,1,1,@DATE PRINT 1</pre>	@DATE31

参考項目

~!C, @YEAR, @MONTH, @DAY, @HOUR, @MINUTE, @SECOND

● @DAY

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の曜日を読み取ります。曜日に対応する数字 1~7 で表現します。
@DAY グローバル変数は、BASIC 言語を介さず直接呼び出すことができます。

書式

読み取り: @DAY
範囲: 1(日)~7(土)

注意: このコマンドは、TSPL2 言語対応プリンタでのみ有効です。[プリンタ型式リスト](#) を参照ください。

例

サンプルコード	結果
<pre>REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@DAY" TEXT 210,10, "3",0,1,1,@DAY PRINT 1</pre>	@DAY7

参考項目

~!C, @YEAR, @MONTH, @DATE, @HOUR, @MINUTE, @SECOND

● @HOUR

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の時を読み書きします。24 時間フォーマット(00~23)を使用します。
@HOUR グローバル変数は、BASIC 言語を介さず直接アクセスすることができます。

書式

書き込み: @HOUR = "12 "
読み取り: @HOUR
範囲: 00~23

注意: このコマンドは、TSPL2 言語対応プリントでのみ有効です。[プリント型式リスト](#) を参照ください。

例

サンプルコード	結果
<pre>REM *****Set @HOUR***** @HOUR="23" REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@HOUR" TEXT 210,10, "3",0,1,1,@HOUR PRINT 1</pre>	@HOUR23

参考項目

~!C, @YEAR, @MONTH, @DATE, @DAY, @MINUTE, @SECOND

● @MINUTE

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の分を読み書きします。2桁分フォーマット(00~59)を使用します。
@MINUTEグローバル変数は、BASIC言語を介さず直接アクセスすることができます。

書式

書き込み: @MINUTE = "12"
読み取り: @MINUTE
範囲: 00~59

注意: このコマンドは、TSPL2言語対応プリンタでのみ有効です。[プリンタ型式リスト](#)を参照ください。

例

サンプルコード	結果
<pre>REM *****Set @MINUTE***** @MINUTE="59" REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@MINUTE" TEXT 210,10, "3",0,1,1,@MINUTE PRINT 1</pre>	@MINUTE59

参考項目

~!C, @YEAR, @MONTH, @DATE, @DAY, @HOUR, @SECOND

● @SECOND

説明

このグローバル変数は、リアルタイムクロック(RTC)の秒を読み書きします。2桁秒フォーマット(00~59)を使用します。
@SECONDグローバル変数は、BASIC言語を介さず直接アクセスすることができます。

書式

書き込み: @SECOND = "12"
読み取り: @SECOND
範囲: 00~59

注意: このコマンドは、TSPL2言語対応プリントでのみ有効です。[プリント型式リスト](#)を参照ください。

例

サンプルコード	結果
<pre>REM *****Set @SECOND***** @SECOND = "59" REM *****Print***** SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "@SECOND" TEXT 210,10, "3",0,1,1,@SECOND PRINT 1</pre>	<pre>@SECOND 59</pre>

参考項目

~!C, @YEAR, @MONTH, @DATE, @DAY, @HOUR, @MINUTE

● **_MODEL\$**

説明

このグローバル変数は、読み取り専用でプリンタの型式情報を保持しています。

書式

_MODEL\$

例

サンプルコード

```
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Model: " + _MODEL$
TEXT 10,60, "3",0,1,1, "Serial No.: " + _SERIAL$
TEXT 10,110, "3",0,1,1, "F/W Version: " + _VERSION$
PRINT 1
```

結果

```
Model: TDP247
Serial No.: D452350388
F/W Version: 7.00
```

参考項目

_SERIAL\$, **_VERSION\$**

● **_SERIAL\$**

説明

このグローバル変数は、読み取り専用でプリンタのシリアル番号情報を保持しています。

*プリンタのシリアル番号情報は、工場出荷時にプログラムされています。

書式

_SERIAL\$

例

サンプルコード
<pre>SIZE 4,1 GAP 0,0 DIRECTION 1 CLS TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Model: " + _MODEL\$ TEXT 10,60, "3",0,1,1, "Serial No.: " + _SERIAL\$ TEXT 10,110, "3",0,1,1, "F/W Version: " + _VERSION\$ PRINT 1</pre>
結果
<pre>Model: TDP247 Serial No.: D452350388 F/W Version: 7.00</pre>

参考項目

_MODEL\$, _VERSION\$

● **_VERSION\$**

説明

このグローバル変数は、読み取り専用でプリンタのファームウェアバージョン情報を保持しています。

書式

_SERIAL\$

例

サンプルコード

```
SIZE 4,1
GAP 0,0
DIRECTION 1
CLS
TEXT 10,10, "3",0,1,1, "Model: " + _MODEL$
TEXT 10,60, "3",0,1,1, "Serial No.: " + _SERIAL$
TEXT 10,110, "3",0,1,1, "F/W Version: " + _VERSION$
PRINT 1
```

結果

```
Model: TDP247
Serial No.: D452350388
F/W Version: 7.00
```

参考項目

_MODEL\$, **_VERSION\$**

外付 Wi-Fi モジュール設定コマンド

● WLAN OFF

説明

このコマンドは、WiFi モジュールを無効にします。コマンド実行後は、プリンタのリスタートが必要です。

書式

WLAN OFF

注意:

WLAN ステータスのチェックは、SELFTEST WLAN コマンドで行えます。SSID は、空です。

例

コマンド	結果
WLAN OFF SELFTEST WLAN	<pre>----- WLAN SETTING ----- MAC ADDR: 001DC9-908397 MODE: INFRASTRUCTURE SSID: DHCP: OFF IP ADDR: 0.0.0.0 SUBNET: 0.0.0.0 GATEWAY: 0.0.0.0 PORT: 9100 -----</pre>

参考項目

WLAN SSID

● WLAN SSID

説明

このコマンドは、WiFi モジュールに SSID を設定します。コマンド実行後は、プログラムのリスタートが必要です。

書式

WLAN SSID "ssid"	
引数	説明
ssid	インフラストラクチャモードの場合は、WLAN ネットワークの SSID を指定し、アドホックモードの場合は、WiFi モジュールの SSID を指定します。
注意: SSID は、大文字・小文字の区別がされ、最大 32 バイトまでとなります。	

例

サンプルコード	結果
WLAN SSID "TEST-AP" SELFTEST WLAN	<pre>----- WLAN SETTING ----- MAC ADDR: 001DC9-908397 MODE: INFRASTRUCTURE SSID: TEST-AP DHCP: OFF IP ADDR: 0.0.0.0 SUBNET: 0.0.0.0 GATEWAY: 0.0.0.0 PORT: 9100 -----</pre>

参考項目

WLAN OFF

● WLAN WPA

説明

このコマンドは、WPA セキュリティモードを設定します。キーの値が正しいかのチェックは行われません。コマンド実行後は、プログラムのリスタートが必要です。

書式

```
WLAN WPA OFF
WLAN WPA "key"
```

引数	説明
OFF	WPA セキュリティモードを無効にします。
Key	セキュリティキーを指定します。 Key = パスフレーズ(8~63バイトの文字列)又はプレザードキー(HEX 値表記の 32 バイトキー)

例

```
サンプルコード

WLAN WPA OFF
WLAN WPA "123456789"
```


● WLAN WEP

説明

このコマンドは、WEP セキュリティモードを設定します。キーの値が正しいかのチェックは行われません。コマンド実行後は、ファクトリタのリストートが必要です。

書式

WLAN WEP OFF

WLAN WEP n, "key"

引数	説明
OFF	WEP セキュリティモードを無効にします。
N	キーインデックスを指定します。(1~4)
Key	暗号化キーを 5 又は 13 キャラクタで指定するか、10 又は 26 桁の HEX 値で指定します。

例

サンプルコード

WLAN WEP OFF

WLAN WEP 1, "ABCDE"

WLAN WEP 2, "ABCDE"

WLAN WEP 3, "ABCDE"

WLAN WEP 4, "4142434445"

● WLAN DHCP

説明

このコマンドは、DHCPモードを設定します。コマンド実行後は、プリンタのリスタートが必要です。

書式

WLAN DHCP

例

サンプルコード	結果
WLAN MODE INFRASTRUCTURE WLAN SSID "TEST-AP" WLAN WPA "123456789" WLAN DHCP WLAN PORT 9100 SELFTEST WLAN	----- WLAN SETTING ----- MAC ADDR: 001DC9-908397 MODE: INFRASTRUCTURE SSID: TEST-AP DHCP: ON IP ADDR: 10.0.10.138 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 10.0.10.252 PORT: 9100 -----

参考項目

WLAN IP

● WLAN IP

説明

このコマンドは、固定 IP アドレスを設定します。

書式

WLAN IP “ip”, “mask”, “gateway”

引数	説明
ip	IP アドレスを指定します。
Mask	サブネットマスクを指定します。
Gateway	デフォルトゲートウェイを指定します。

例

サンプルコード	結果
<pre>WLAN MODE INFRASTRUCTURE WLAN SSID "TEST-AP" WLAN WPA "123456789" WLAN IP "10.0.10.138", "255.255.255.0", "10.0.10.252" WLAN PORT 9100 SELFTEST WLAN</pre>	<pre>----- WLAN SETTING ----- MAC ADDR: 001DC9-908397 MODE: INFRASTRUCTURE SSID: TEST-AP DHCP: OFF IP ADDR: 10.0.10.138 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 10.0.10.252 PORT: 9100 -----</pre>

参考項目

WLAN DHCP

● WLAN PORT

説明

このコマンドは、WiFi モジュールのポート番号を設定します。コマンド実行後は、プログラムのリスタートが必要です。

書式

WLAN PORT number

引数	説明
number	ポート番号を指定します。デフォルトは、9100 です。

例

サンプルコード	結果
WLAN MODE INFRASTRUCTURE WLAN SSID "TEST-AP" WLAN WPA "123456789" WLAN IP "10.0.10.138", "255.255.255.0", "10.0.10.252" WLAN PORT 8000 SELFTEST WLAN	----- WLAN SETTING ----- MAC ADDR: 001DC9-908397 MODE: INFRASTRUCTURE SSID: TEST-AP DHCP: OFF IP ADDR: 10.0.10.138 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 10.0.10.252 PORT: 8000 -----

内蔵イーサネット設定コマンド

● NET DHCP

説明

このコマンドは、DHCPモードを設定します。コマンド実行すると、プリンタはリスタートします。

書式

NET DHCP

例

サンプルコード	結果
NET DHCP SELFTEST ETHERNET	----- ETHERNET SETTING ----- NAME: PS-600002 MAC ADDR: 001B82-600002 DHCP: ON IP ADDR: 192.168.0.107 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 192.168.0.1 PORT: 9100 -----

参考項目

NET IP

● NET IP

説明

このコマンドは、固定 IP アドレスを設定します。コマンド実行すると、プログラマはリスタートします。

書式

NET IP "ip","mask","gateway"

引数	説明
ip	IP アドレスを指定します。
mask	サブネットマスクを指定します。
gateway	デフォルトゲートウェイを指定します。

例

サンプルコード
NET IP "192.168.10.40","255.255.255.0","192.168.10.252" SELFTEST ETHERNET
結果
----- ETHERNET SETTING ----- NAME: PS-600002 MAC ADDR: 001B82-600002 DHCP: OFF IP ADDR: 192.168.10.40 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 192.168.10.252 PORT: 9100 -----

参考項目

NET DHCP

● NET PORT

説明

このコマンドは、イーサネットのポート番号を設定します。コマンド実行すると、プリンタはリスタートします。

書式

NET PORT number	
引数	説明
number	ポート番号を指定します。デフォルトは、9100 です。

例

サンプルコード	結果
NET PORT 9100 SELFTEST ETHERNET	----- ETHERNET SETTING ----- NAME: PS-600002 MAC ADDR: 001B82-600002 DHCP: OFF IP ADDR: 192.168.10.40 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 192.168.10.252 PORT: 9100 -----

● NET NAME

説明

このコマンドは、プリンタサーバ名を設定します。

書式

NET NAME "printerserver"

引数	説明
printerserver	プリンタサーバ名を指定します。

例

サンプルコード	結果
NET NAME "TEST" SELFTEST ETHERNET	----- ETHERNET SETTING ----- NAME: TEST MAC ADDR: 001B82-600002 DHCP: OFF IP ADDR: 192.168.10.40 SUBNET: 255.255.255.0 GATEWAY: 192.168.10.252 PORT: 9100 -----

NFC 設定コマンド

● NFC FEATURE

説明

このコマンドは、NFC に関する情報を取得します。(Alpha-2R で NFC がインストールされている場合に限る)

書式

NFC FEATURE	
引数	説明
無し	N/A
戻り値	
N/A	NFC に対応していない。
not present	NFC 対応プリンタだが、NFC はインストールされていない。
present	NFC がインストールされている。

例

サンプルコード	結果
NFC FEATURE	例 by CommTool: <pre>present</pre>

● NFC STATUS

説明

このコマンドは、NFC リーダーのステータスを取得します。

書式

NFC STATUS

引数	説明
無し	N/A
戻り値	
Idle	リーダーは使用されていません。(又はアクティブでない)
in progress	パレージョを実行中です。
timed out	パレージョがタイムアウトしました。
successful	パレージョを正常終了しました。

例

サンプルコード NFC STATUS	結果 例 by CommTool: <pre>in progress</pre>
--	---

● NFC TIMEOUT

説明

このコマンドは、リード / ライトオペレーションのタイムアウトを 0~3600 秒の範囲で設定します。0 に設定すると、タイムアウトは無効になります。

書式

NFC TIMEOUT m

引数	説明
m	秒単位でタイムアウトを指定します。(0~3600)

注意:

- デフォルト値は、10 秒です。
- プリンタはタイムアウトが発生すると、ビープを鳴動します。

例

サンプルコード

NFC TIMEOUT 20

● NFC READ

説明

このコマンドは、読み取った NFC カードデータ(最大 2048 バイト)を取得します。

書式

NFC READ	
引数	説明
無し	N/A

例

サンプルコード
NFC READ

● NFC WRITE

説明

このコマンドは、NFCカードへの書き込みデータ(最大 2048 バイト)を設定します。

書式

NFC WRITE “content”

引数	説明
content	書き込みデータを指定します。

例

サンプルコード
NFC WRITE “Test”

● NFC MODE

説明

このコマンドは、NFC リーダー/ライターにリード またはライトの開始を指示します。

書式

NFC MODE OFF/READ/WRITE

引数	説明
OFF	オフにします。
READ	リードを開始します。
WRITE	ライトを開始します。
注意:	
・デフォルトは、オフ状態です。リード またはライトが終わると(正常終了・失敗・タイムアウト)、オフ状態に戻ります。	

例

サンプルコード

<u>タイムアウト有りデータ書き込み</u> NFC MODE OFF NFC TIMEOUT 3 NFC WRITE "Test" <u>タイムアウト有りデータ読み取り</u> NFC MODE OFF NFC TIMEOUT 3 NFC READ	<u>タイムアウト無しデータ書き込み</u> NFC MODE WRITE NFC TIMEOUT 0 NFC WRITE "123456789" <u>タイムアウト無しデータ読み取り</u> NFC MODE READ NFC TIMEOUT 0 NFC READ
--	--

Alpha-2R 専用設定コマンド

● SET PRINTQUALITY

説明

このコマンドは、Alpha-2R シリーズプリンタの印刷モード（印刷品質）設定を行います。

書式

SET PRINTQUALITY DRAFT/STANDARD/OPTIMUM

引数	説明
DRAFT	低解像度・高速印刷
STANDARD	標準解像度・標準速度印刷
OPTIMUM	印刷内容(バーコード・テキスト・グラフィックなど)により最適化

注意:
デフォルトは、"STANDARD" です。

例

サンプルコード
SET PRINTQUALITY DRAFT SET PRINTQUALITY STANDARD SET PRINTQUALITY OPTIMUM

● SET STANDBYTIME

説明

このコマンドは、Alpha-2R シリーズプリンタのスタンバイ時間設定を行います。

書式

SET STANDBYTIME OFF/XXXXX

引数	説明
OFF	無効
XXXXX	0 ~ 625534 (秒)

注意:
デフォルトは、"**SET STANDBYTIME 120**"です。

例

サンプルコード

```
SET STANDBYTIME OFF
SET STANDBYTIME 480
```


● GETSETTING\$()

説明

このコマンドは、プリントモード (プリント品質) 又は Alpha-2R のスタンバイタイムを取得します。
(対応プリンタ: Alpha-2R シリーズ)

書式

```
GETSETTING$( "SYSTEM", "INFORMATION", "PRINTQUALITY" )  
GETSETTING$( "SYSTEM", "INFORMATION", "STANDBYTIME" )
```

引数	説明
無し	N/A
戻り値	
PRINTQUALITY	DRAFT, STANDARD, OPTIMUM
STANDBYTIME	OFF 又は 数字

GPIO 設定コマンド

● SET GPIO

説明

このコマンドは、GPIO 信号の出力を行います。

書式

SET GPIO n signal state, delay0, pulse0, delay1, pulse1, function condition

引数	説明																						
n	出力ピン番号を指定します。(n=1~7)																						
Signal state	<table><tr><td>HIGH</td><td>下記に示す条件を検出すると、Highレベル信号を出力します。</td></tr><tr><td>LOW</td><td>下記に示す条件を検出すると、Lowレベル信号を出力します。</td></tr><tr><td>POS</td><td>下記に示す条件を検出すると、正(+)レベル信号を出力します。</td></tr><tr><td>NEG</td><td>下記に示す条件を検出すると、負(-)レベル信号を出力します。</td></tr></table>	HIGH	下記に示す条件を検出すると、Highレベル信号を出力します。	LOW	下記に示す条件を検出すると、Lowレベル信号を出力します。	POS	下記に示す条件を検出すると、正(+)レベル信号を出力します。	NEG	下記に示す条件を検出すると、負(-)レベル信号を出力します。														
HIGH	下記に示す条件を検出すると、Highレベル信号を出力します。																						
LOW	下記に示す条件を検出すると、Lowレベル信号を出力します。																						
POS	下記に示す条件を検出すると、正(+)レベル信号を出力します。																						
NEG	下記に示す条件を検出すると、負(-)レベル信号を出力します。																						
Delay0	下記に示す条件検出後、TRUE 信号を出力するまでの待ち時間をミリ秒単位で指定します。(最大 32000)																						
Pulse0	TRUE 信号のレベル幅をミリ秒単位で指定します。(最大 32000) レベル出力では無効です。																						
Delay1	下記に示す条件検出後、FALSE 信号を出力するまでの待ち時間をミリ秒単位で指定します。(最大 32000)																						
Pulse1	FALSE 信号のレベル幅をミリ秒単位で指定します。(最大 32000) レベル出力では無効です。																						
Function condition (warning, error, control...)	<table><tr><td>FAULT</td><td>プリンタ異常時に出力します。</td></tr><tr><td>FAULT RIBBON</td><td>リボン切れ時に出力します。</td></tr><tr><td>FAULT PAPER</td><td>ペーパー切れ又はペーパー詰ま時に出力します。</td></tr><tr><td>FAULT CARRIAGE</td><td>キャリッジオープン時に出力します。</td></tr><tr><td>FAULT MEMORY</td><td>メモリー時に出力します。</td></tr><tr><td>FAULT CUTTER</td><td>カッターエラー時に出力します。</td></tr><tr><td>FAULT OVERHEAT</td><td>ステッピングモータ又はプリントヘッドがオーバーヒート時に出力します。</td></tr><tr><td>PAUSE</td><td>ホースステータス時に出力します。</td></tr><tr><td>TAKELABEL</td><td>ラベル取り待ち時に出力します。</td></tr><tr><td>IDLE</td><td>プリンタアイドル時に出力します。</td></tr><tr><td>PRINT</td><td>印刷中に出力します。</td></tr></table>	FAULT	プリンタ異常時に出力します。	FAULT RIBBON	リボン切れ時に出力します。	FAULT PAPER	ペーパー切れ又はペーパー詰ま時に出力します。	FAULT CARRIAGE	キャリッジオープン時に出力します。	FAULT MEMORY	メモリー時に出力します。	FAULT CUTTER	カッターエラー時に出力します。	FAULT OVERHEAT	ステッピングモータ又はプリントヘッドがオーバーヒート時に出力します。	PAUSE	ホースステータス時に出力します。	TAKELABEL	ラベル取り待ち時に出力します。	IDLE	プリンタアイドル時に出力します。	PRINT	印刷中に出力します。
FAULT	プリンタ異常時に出力します。																						
FAULT RIBBON	リボン切れ時に出力します。																						
FAULT PAPER	ペーパー切れ又はペーパー詰ま時に出力します。																						
FAULT CARRIAGE	キャリッジオープン時に出力します。																						
FAULT MEMORY	メモリー時に出力します。																						
FAULT CUTTER	カッターエラー時に出力します。																						
FAULT OVERHEAT	ステッピングモータ又はプリントヘッドがオーバーヒート時に出力します。																						
PAUSE	ホースステータス時に出力します。																						
TAKELABEL	ラベル取り待ち時に出力します。																						
IDLE	プリンタアイドル時に出力します。																						
PRINT	印刷中に出力します。																						

例

サンプルコード

```
SET GPIO1 HIGH,100,0,100,0,FAULT RIBBON
SET GPIO2 LOW,100,0,100,0,FAULT PAPER
SET GPIO3 POS,100,100,100,100,PAUSE
SET GPIO4 NEG,100,50,100,50,IDLE
```

● SET GPI

説明

このコマンドは、GPIO 信号の入力ステータスを取得します。

書式

SET GPI n signal, pulse, function

引数	説明																						
n	入力ピン番号を指定します。(n=1~7)																						
Signal	<table><tr><td>HIGH</td><td>Highレベル信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。</td></tr><tr><td>LOW</td><td>Lowレベル信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。</td></tr><tr><td>POS</td><td>正(+)パルス信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。</td></tr><tr><td>NEG</td><td>負(-)パルス信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。</td></tr></table>	HIGH	Highレベル信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。	LOW	Lowレベル信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。	POS	正(+)パルス信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。	NEG	負(-)パルス信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。														
HIGH	Highレベル信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。																						
LOW	Lowレベル信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。																						
POS	正(+)パルス信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。																						
NEG	負(-)パルス信号を検出すると、下記に示すプリンタ機能を実行します。																						
Pulse	除外したいパルス幅をミリ秒単位で指定します。これにより、パルス信号を除外することができます。(最大 32000)。																						
Function (control)	<table><tr><td>PAUSE</td><td>ホースステータスをリセットします。</td></tr><tr><td>PAUSE ON</td><td>ホースステータスに入ります。</td></tr><tr><td>PAUSE OFF</td><td>ホースステータスをキャンセルします。</td></tr><tr><td>PRINT</td><td>ラベルのバッチ印刷を行います。</td></tr><tr><td>PRINT n</td><td>n 枚のラベルを印刷します。(最大 32000)</td></tr><tr><td>CUT</td><td>カッターを動作させます。</td></tr><tr><td>FEED n</td><td>n ドット分ラベルをフィードします。(最大 32000)</td></tr><tr><td>BACKFEED n</td><td>n ドット分ラベルをバックフィードします。(最大 32000)</td></tr><tr><td>FORMFEED</td><td>1 ラベル分フィードします。</td></tr><tr><td>BACKLABEL</td><td>印刷開始位置までバックフィードします。</td></tr><tr><td>INPUT n</td><td>n には、テキストまたはマントを指定します。n は、プリンタに対するトリガとなります。(*) n=最大 15 バイト</td></tr></table>	PAUSE	ホースステータスをリセットします。	PAUSE ON	ホースステータスに入ります。	PAUSE OFF	ホースステータスをキャンセルします。	PRINT	ラベルのバッチ印刷を行います。	PRINT n	n 枚のラベルを印刷します。(最大 32000)	CUT	カッターを動作させます。	FEED n	n ドット分ラベルをフィードします。(最大 32000)	BACKFEED n	n ドット分ラベルをバックフィードします。(最大 32000)	FORMFEED	1 ラベル分フィードします。	BACKLABEL	印刷開始位置までバックフィードします。	INPUT n	n には、テキストまたはマントを指定します。n は、プリンタに対するトリガとなります。(*) n=最大 15 バイト
PAUSE	ホースステータスをリセットします。																						
PAUSE ON	ホースステータスに入ります。																						
PAUSE OFF	ホースステータスをキャンセルします。																						
PRINT	ラベルのバッチ印刷を行います。																						
PRINT n	n 枚のラベルを印刷します。(最大 32000)																						
CUT	カッターを動作させます。																						
FEED n	n ドット分ラベルをフィードします。(最大 32000)																						
BACKFEED n	n ドット分ラベルをバックフィードします。(最大 32000)																						
FORMFEED	1 ラベル分フィードします。																						
BACKLABEL	印刷開始位置までバックフィードします。																						
INPUT n	n には、テキストまたはマントを指定します。n は、プリンタに対するトリガとなります。(*) n=最大 15 バイト																						

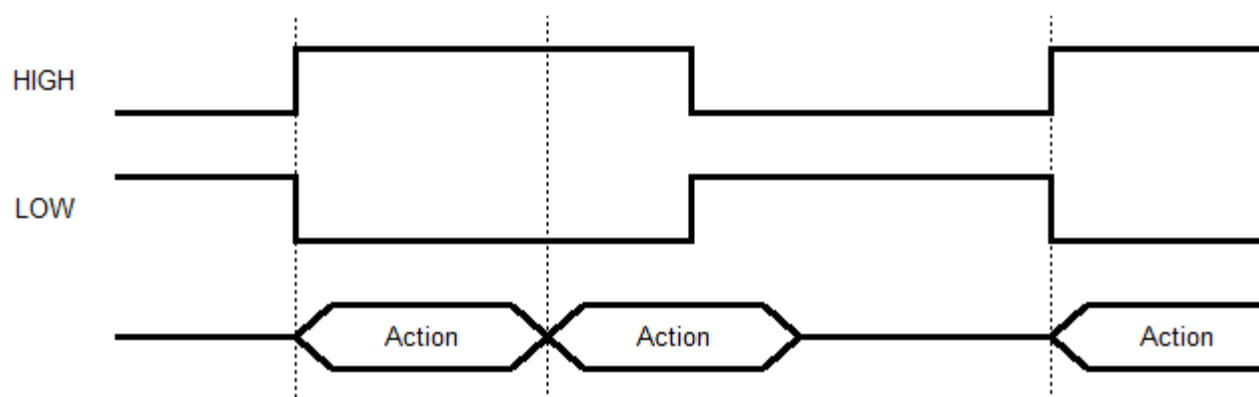
例

```
サンプルコード

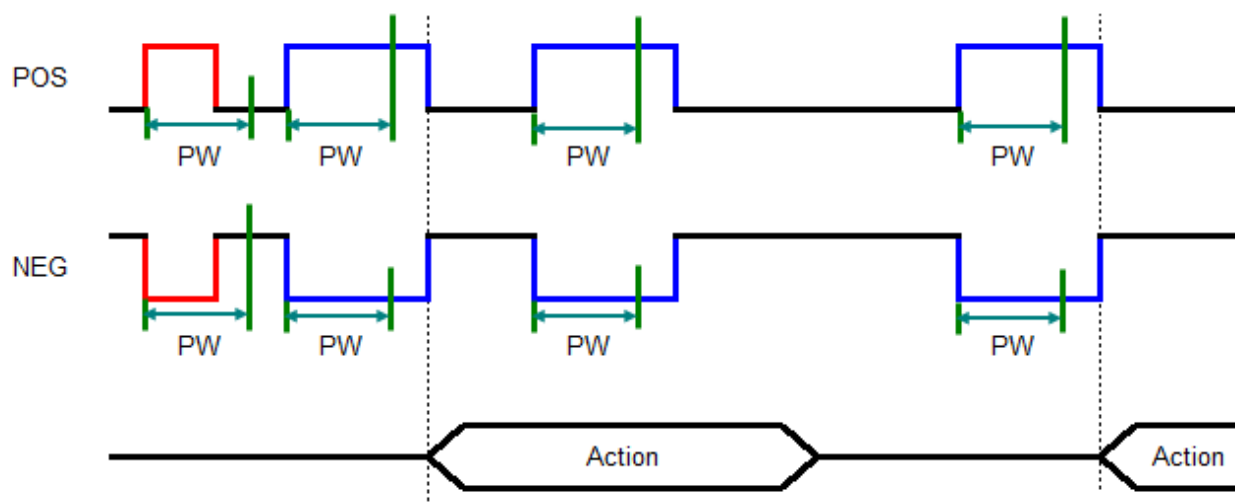
SET GPI1 NEG,10,PAUSE
SET GPI2 NEG,100,PRINT
SET GPI3 NEG,100,CUT
REM TEST.BASを実行
SET GPI4 NEG,100,INPUT "TEST.BAS"+CHR$(13)+CHR$(10)
```

GPIO Waveform

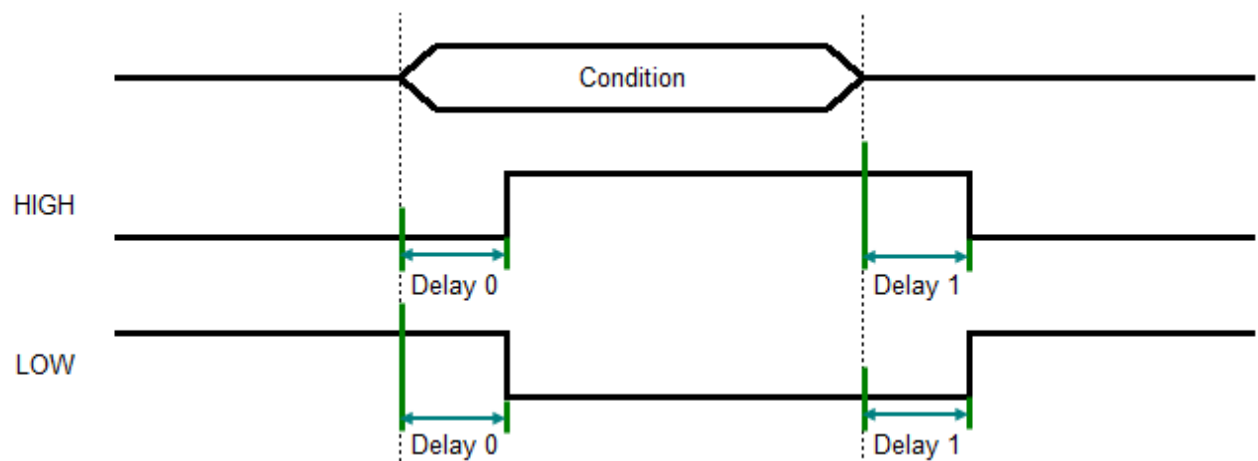
GPI パルス信号：連続アクション(ホスト→プリンタ)



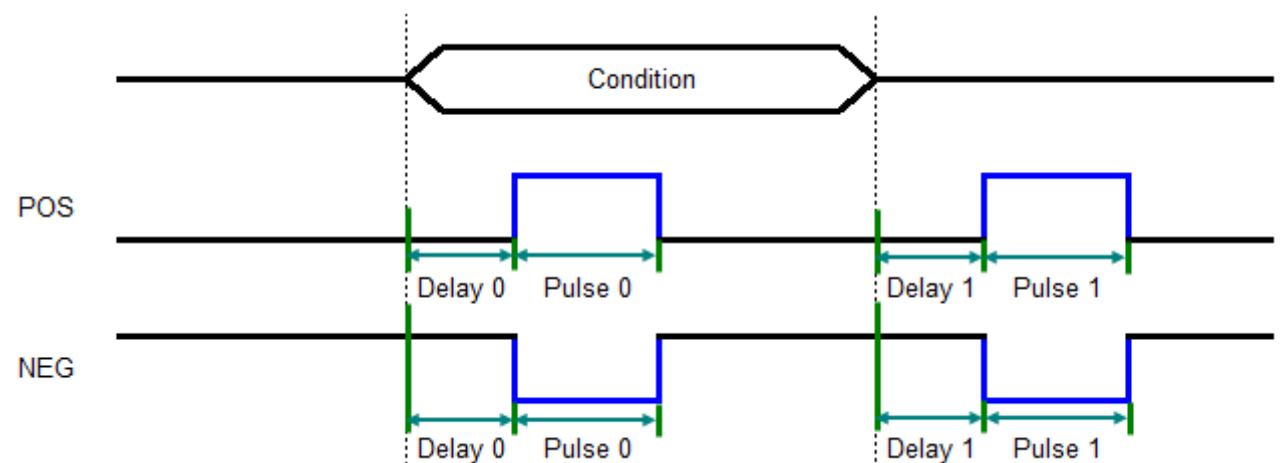
GPI パルス信号：1パルスにつき1アクション(ホスト→プリンタ)



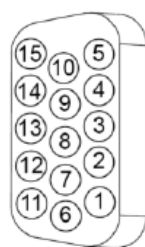
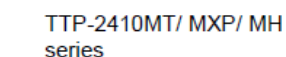
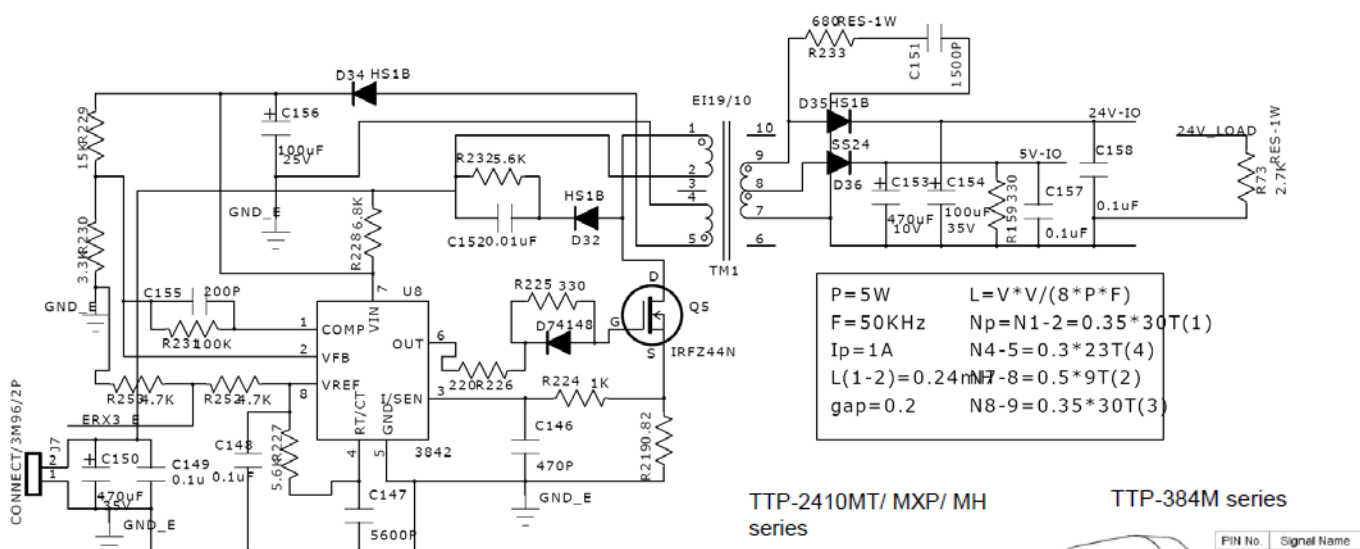
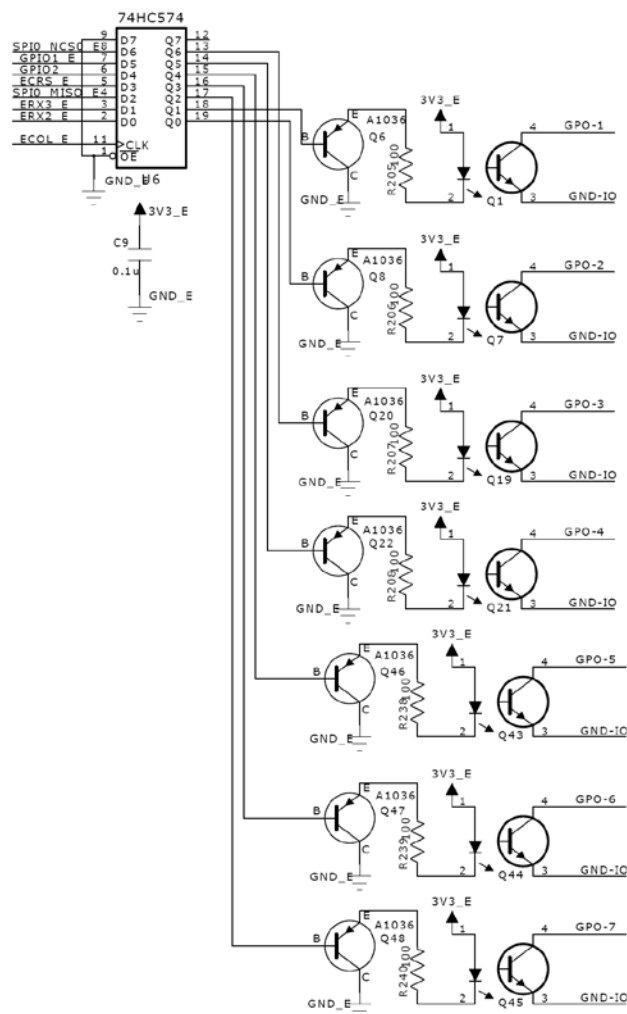
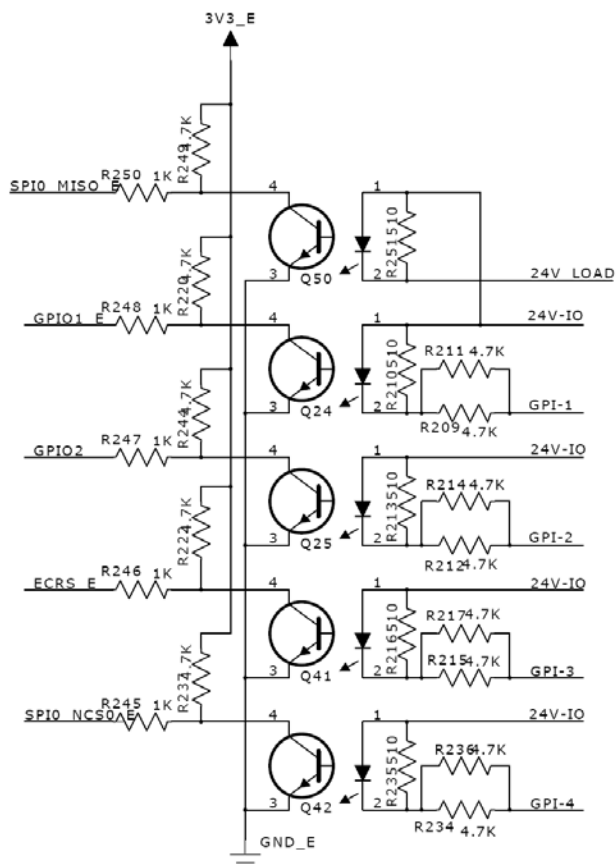
GPO パルス信号 : 連続条件(プリンター→ホスト)



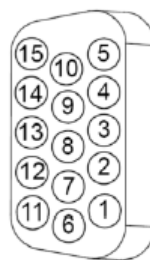
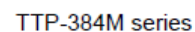
GPO パルス信号 : 1パルスにつき1条件(プリンター→ホスト)



IO 回路図



PIN No.	Signal Name
1	GN-D-IO
2	5V-IO
3	GPI-1
4	GPI-2
5	GPI-3
6	GPI-4
7	24V-IO
8	GN-D-IO
9	GPO-1
10	GPO-2
11	GPO-3
12	GPO-4
13	GPO-5
14	GPO-6
15	GPO-7



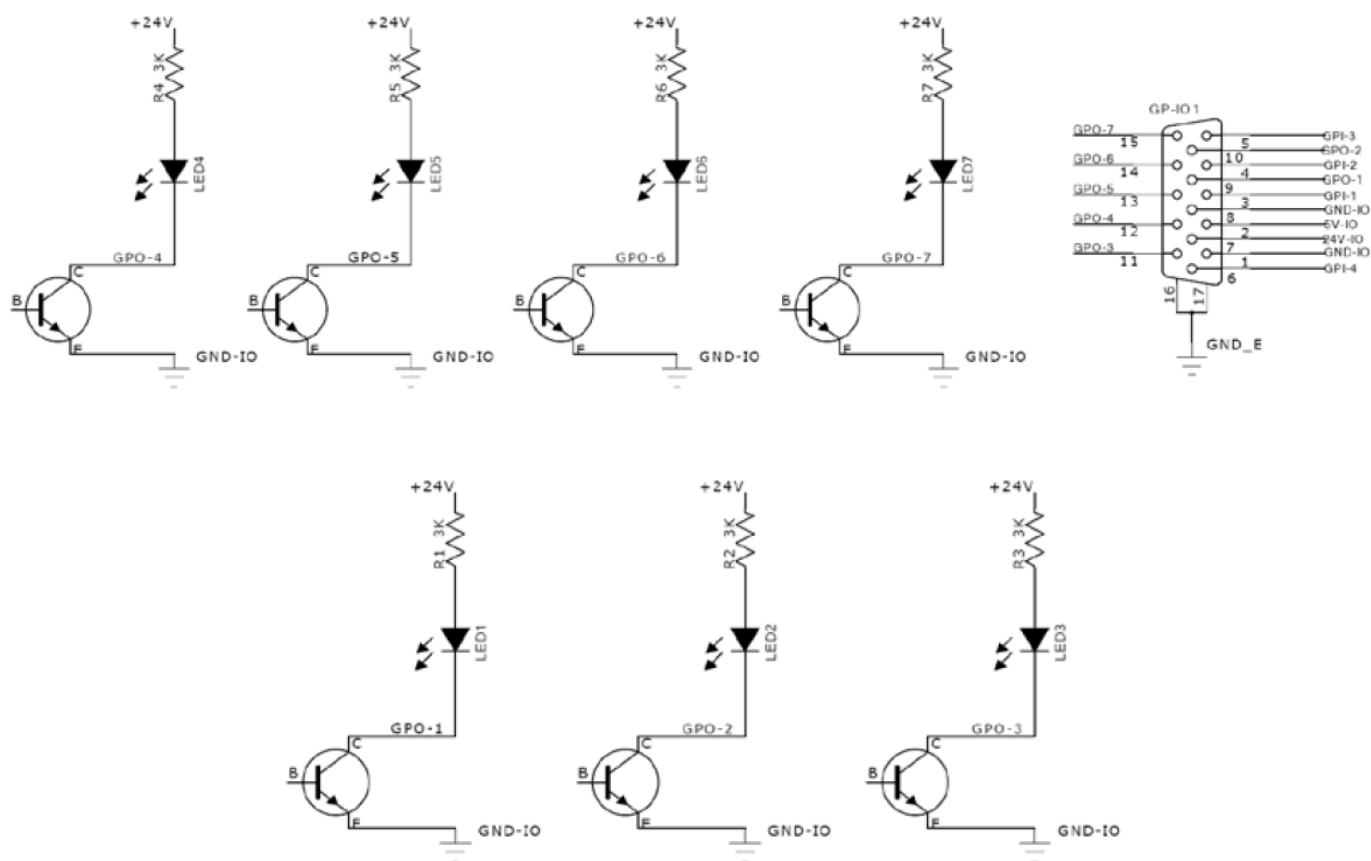
PIN No.	Signal Name
1	GND-IO
2	5V-IO
3	GP1-1
4	GP1-2
5	N/A
6	N/A
7	24V-IO
8	GND-IO
9	N/A
10	N/A
11	N/A
12	GPO-4
13	GPO-5
14	N/A
15	GPO-7

GPO ピン番号 1~7 応用例:

GPO ピン番号 1~7 にそれぞれ LED が接続されていて、各ピンの出力によって、各 LED が ON/OFF します。

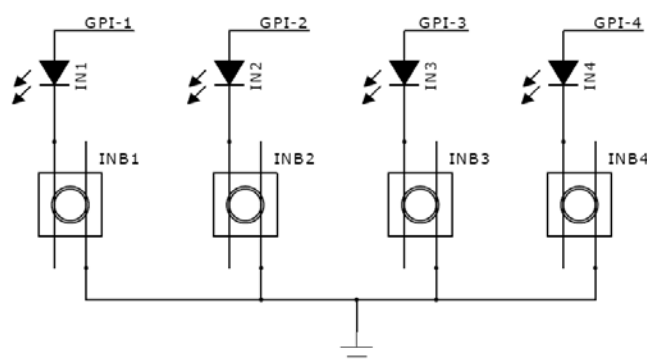
*NPN 出力仕様

コレクタ-エミッタ電圧	V_{CE0}	35 V
エミッタ-コレクタ電圧	V_{CE0}	6 V
コレクタ電流	I_C	最大 50 mA
*1 コレクタ電力消失	P_C	150 mW



GPI ピン番号 1~4 応用例:

GPI ピン番号 1~4 にそれぞれボタンキーを接続し、各ボタン押下に応じて、指定のプリンタ機能を実行します。入力信号電流の推奨値は、20mA です。



改訂履歴(英語原文)

Date	Content	Editor
2007/07/13	Revise some typos	Phil
2007/12/25	Revise FREAD\$() 例	Camille
2008/04/10	Add update history list	Camille
2009/01/17	Add GAPDETECT command	Ken
2009/05/18	Add CIRCLE command	Phil
2009/06/24	Add RSS command	Phil
2010/07/06	Revise bar command section	Camille
2010/10/25	Revise some sections	Camille
2011/01/06	Add CODE 11 barcode	Ernest
2011/01/06	Add AZTEC barcode	Ernest
2011/01/06	Revise sensor intension table in SET GAP command	Ernest
2011/01/10	Add BLINEDetect command	Ernest
2011/01/10	Add AUTODETECT command	Ernest
2011/01/10	Add BASIC function FORMAT\$()	Ernest
2011/01/10	Add BASIC function NOW\$()	Ernest
2011/01/10	Add BASIC function TRIM\$()	Ernest
2011/01/10	Add BASIC function LTRIM\$()	Ernest
2011/01/10	Add BASIC function RTRIM\$()	Ernest
2010/01/10	Add BASIC function STRCOMP()	Ernest
2010/01/10	Add BASIC function INSTR()	Ernest
2011/01/25	Modify TSC address	Camille
2011/03/04	Revise, TTP-248M doesn't support mirror function	Ernest
2011/03/04	Add sensor range of TTP-225/ TDP-225 in command SET GAP	Ernest
2011/12/09	Add some command spec in RSS barcode.	Ernest
2012/11/20	Add command SET USBHOST KEYBOARD/SCANNER	Ernest
2012/11/20	Revise STRCOMP() 例	Ernest
2012/11/20	Revise TRIM\$(), LTRIM\$(), RTRIM\$() 例.	Ernest
2012/11/20	Add <ESC>!P command.	Ernest
2012/11/20	Add <ESC>!O command.	Ernest
2012/11/20	Revise OUT command.	Ernest
2012/11/20	Add SET BLINE command.	Ernest
2012/11/20	Add ELLIPSE command.	Ernest
2012/11/20	Add SET RIBBONEND command.	Ernest
2012/11/20	Add SET ENCODER command.	Ernest
2012/11/21	Revise TEXT command.	Ernest
2012/11/21	Revise speed table of SPEED command.	Ernest
2012/11/21	Revise AZTEC command.	Ernest
2012/11/21	Add BLOCK command.	Ernest
2012/11/21	Add PUT command.	Ernest
2012/11/21	Add GET command.	Ernest
2012/11/21	Add INP() command.	Ernest
2012/11/22	Revise PUTBMP command. Support grayscale printing in direct thermal printing.	Ernest
2012/11/22	Revise BARCODE command. New support barcode TELEPEN, TELEPENN, PLANET, CODE49, DPI, DPL.	Ernest
2012/11/23	Add TLC39 barcode.	Ernest
2012/11/23	Add CODABLOCK command (F mode only).	Ernest
2012/11/23	Add SELFTEST PATTERN command.	Ernest
2012/11/23	Revise the supported CODEPAGE table and 例.	Ernest
2012/11/23	Add global variable NOW.	Ernest
2012/11/26	Add DATEADD() command.	Ernest
2012/11/26	Add SET AUTORUN command.	Ernest
2012/11/26	Add LOC() command.	Ernest
2012/11/26	Add NOW\$() command.	Ernest
2012/11/26	Revise SET RIBBON command.	Ernest
2012/11/26	Revise SET COUNTER command.	Ernest
2012/11/26	Add <ESC>!C command.	Ernest
2012/11/26	Add <ESC>!Q command.	Ernest
2012/11/26	Add <ESC>!S command.	Ernest
2012/11/26	Add OUTR command.	Ernest
2012/11/26	Add <ESC>!D command.	Ernest
2012/11/26	Add ~!E command.	Ernest
2012/11/27	Add LOB() command.	Ernest
2012/11/27	Add WHILE ... WEND command.	Ernest
2012/11/27	Add DO ... LOOP command.	Ernest
2012/11/27	Add TEXTPIXEL() command.	Ernest
2012/11/27	Add BARCODEPIXEL() command.	Ernest
2012/11/27	Add GETSENSOR() command.	Ernest
2012/11/27	Add GETSETTING() command.	Ernest
2012/11/28	Revise SET CUTTER command.	Ernest
2012/11/28	Revise OPEN command.	Ernest
2012/11/28	Revise FOR ... NEXT LOOP command.	Ernest
2012/11/28	Add CLOSE command.	Ernest
2012/11/28	Add COPY command.	Ernest
2012/11/28	Add MPDF417 command for Micro PDF 417 barcode.	Ernest

2012/11/30	Add E0J command.	Ernest
2012/11/30	Add DELAY command.	Ernest
2012/11/30	Add DISPLAY command.	Ernest
2012/11/30	Add XOR\$() command.	Ernest
2012/11/30	Add _MODEL\$ variable.	Ernest
2012/11/30	Add _SERIAL\$ variable.	Ernest
2012/11/30	Add _VERSION\$ variable.	Ernest
2012/11/30	Revise LIMITFEED command.	Ernest
2012/11/30	Revise BOX command.	Ernest
2012/11/30	Add SET FEED_LEN command.	Ernest
2012/12/20	Add external Wi-Fi module setting commands.	Ernest
2012/12/20	Add Ethernet setting commands.	Ernest
2012/12/24	Revise DMATRIX command.	Ernest
2012/12/24	Revise LIMITFEED command.	Ernest
2012/12/24	Revise SELFTEST command	Camille
2013/2/5	Add sample 結果 for each section	Camille
2013/2/6	Add CODEPAGE 864 (Arabic) ; since F/W V7.0	Camille
2013/2/26	Add <ESC>!F command.	Camille
2013/2/26	Add <ESC>!. Command.	Camille
2013/6/25	Modify カラール for PUTPCX command	Camille
2013/12/13	Modify GAP and BLINE command	Camille
2014/1/22	Add INITIALPRINTER command	Camille
2014/3/28	Modify カラール for SET COUNTER command	Samuel
2014/4/15	Add GPIO setting commands	Camille
2014/6/11	Modify SPEED section	Camille
2014/6/12	Modify BACKFEED & BACKUP section	Camille
2014/6/12	Modify DIRECTION section	Camille
2014/6/12	Modify SHIFT section	Camille
2014/6/12	Modify HOME section	Camille
2014/6/12	Modify BARCODE section	Camille
2014/6/12	Modify PUTBMP section	Camille
2014/6/12	Modify PUTPCX section	Camille
2014/6/12	Modify QRCODE section	Camille
2014/6/12	Modify TEXT section	Camille
2014/6/12	Modify ~!T section	Camille
2014/6/12	Modify DOWNLOAD section	Camille
2014/6/12	Modify KILL section	Camille
2014/6/12	Modify RUN section	Camille
2014/6/13	Add <ESC> Y command	Camille
2014/6/13	Add <ESC> Z command	Camille
2014/6/13	Modify IF...THEN...ELSE...ENDIF LOOP section	Camille
2014/6/13	Modify GETKEY() section	Camille
2014/6/13	Modify SET PARTIAL_CUTTER section	Camille
2014/6/17	Modify SET BACK section	Camille
2014/6/18	Modify SET KEY1, SET KEY2, SET KEY3 section	Camille
2014/6/18	Modify TEAR & SETSTRIPER section	Camille
2014/6/18	Modify SET HEAD section	Camille
2014/6/18	Modify SET PRINTKEY section	Camille
2014/6/18	Modify SET REPRINT section	Camille
2014/6/18	Modify KEY1, KEY2, KEY3 section	Camille
2014/6/18	Modify @YEAR, @MONTH, @DATE, @DAY, @HOUR, @MINUTE and @SECOND sections	Camille
2014/6/19	Modify SET LED1, SET LED2, SET LED3 section	Camille
2014/6/19	Modify LED1, LED2, LED3 section	Camille
2014/6/19	Modify SET GAP section	Camille
2014/6/20	Modify printer model list	Camille
2014/8/1	Modify GPO 例	Camille
2014/10/14	Modify GPO function (Add PRINT)	Camille
2014/11/28	Modify printer model list	Camille
2014/11/28	Add SET REWIND section	Camille
2015/3/11	Modify printer model list	Camille
2015/4/10	Modify SPEED section	Camille
2015/5/11	Modify <ESC>!S command section (Add Print head error)	Camille
2015/5/15	Revise OFFSET command section	Camille
2015/9/11	Revise GETSETTING\$() section	Camille
2015/10/29	Modify SHIFT section Modify SET KEY section Modify PUTBMO section Add SET RESPONSE section	Camille
2015/10/30	Modify GPIO section	Camille
2015/11/18	Add DIAGONAL command Modify SET USBHOST section	Camille
2015/11/19	Modify DISPLAY section	Camille
2015/11/24	Add FSEARCH() command Add SET VERIFIER command	Camille
2015/11/25	Add TOUCHPRESS() command	Camille
2015/12/8	Modify DMATRIX section (add a# 引数)	Camille
2015/12/17	Add SET RS232 REWINDER command	Camille
2016/2/4	Add RECORDSET\$() command	Camille
2016/4/11	Add FNC カラール on DMATRIX section	Camille

2016/7/11	Modify SET KEYn section	Camille
2016/7/11	Update printer model list	Camille
2016/9/26	Update GETSETTING\$() section	Camille
2017/1/18	Add SET DAYLIGHT_SAVE command	Camille
2017/1/18	Add rectangular shape サツブ ル-ド on DMATRIX section	Camille
2017/1/18	Add LABELRATIO command	Camille
2017/2/15	Add NFC setting Command section	Camille
2017/3/8	Modify BLOCK section	Camille
2017/4/5	Modify SET KEYn section	Camille
2017/4/5	Modify KEY1, SET KEY2, SET KEY3 section	Camille
2017/4/5	Update printer model list	Camille
2017/4/5	Modify SPEED section	Camille
2017/4/6	Modify SET LEDn section	Camille
2017/4/6	Modify LED1, LED2, LED3 section	Camille
2017/4/11	Modify KEY1, SET KEY2, SET KEY3 section	Camille
2017/4/14	Add smart phone data string on QRCODE section	Camille
2017/4/17	Modify FORMAT\$() section (sample code)	Camille
2017/5/16	Add setting command section for Alpha-2R	Camille
2017/6/7	Add new parameters for QRCODE command	Camille
2017/6/8	Add MENU command	Camille
2017/6/8	Add sample code for [fit] parameter on BLOCK section	Camille
2017/6/8	Add sample code for (") on RECORDSET\$() section	Camille
2017/7/21	Add EAN128M to BARCODE section	Camille
2017/8/17	Add new parameters for SET REWIND command	Camille
2017/9/15	Add new parameters & examples for FORMAT\$() command	Camille
2017/10/16	Add the standard symbol sizes for DataMatrix 2D barcode on DMATRIX section	Camille
2017/10/23	- Modify the <ESC>!S section (#2: warning) - Add a parameter for SET GPI command	Camille
2017/11/22	Remove WLAN MODE (Ad-hoc)	Camille
2018/1/19	Update GPIO info.	Camille
2018/2/6	Add a sample for RSS command	Camille
2018/2/7	Add the new parameter for GETSETTING command	Camille
2018/2/12	Add the QRcode sample code for smart phone data string	Camille



ウェルコムデザイン株式会社

本 社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本社 & SDC]
(※) SDC stands for Support and Delivery Center

U R L : www.e-welcom.com 東 京 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル
e-mail: welcom@e-welcom.com TEL. 03-3836-9411 (代) FAX. 03-3836-9412

TSC

The Smarter Choice.

TSC Auto ID

Corporate Headquarters

9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)
TEL: +886-2-2218-6789
FAX: +886-2-2218-5678
Web site: www.tscprinters.com
E-mail: printer_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze Plant

No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)
TEL: +886-3-990-6677
FAX: +886-3-990-5577